

# 地方史情報

120  
2014年8月

藩地域の農政と学問・金融

福澤 徹三

2005年以降、「藩地域論」として三冊の論集が刊行された。藩地域論の方法的特徴は、論集ごとに中核的テーマを定め、そのテーマを集中的に検討することにある。第一集は裁判を、第二集は政策主体を、第三集は領政機構をテーマに掲げてきた。この方法を、深谷克己は「極めて野心的な方法」と評価している。藩地域論をもって近世史全体に大きな問題を投げかける「広い裾野を擁しつつ、山は高く聳えている必要がある」とする、編者渡辺尚志の意図を理解してのものであった。

第四集は『藩地域の農政と学問・金融』とした。そもそも、藩地域という概念は、地域社会論に上位権力の問題を組み込み、総合型の議論であった「世直し状況」論を如何に乗り越えるのか、という研究史上の必要から要請されたものである。(中略)

以上、第三集と共通する領政(農政)機構分析が進んだからこそ、領政機構と地域社会双方に影響を与える、浸潤する学問と、金融市場の分析が課題として浮かび上がった。そして、これらを一言でまとめるとすれば、ダイナミズムという用語が適切であろう。地域社会論を論じる方法として、いずれの論者にも共通していたのは、歴史を動かす要因をもとに、ダイナミックにその過程を明らかにすることだと私は理解している。そして、その乗り越える対象としてあった、「世直し状況」論においては、小前層(半プロ)・豪農・領主の三者の副次的矛盾と本源的矛盾が設定されていたが、その背景にあったのは商品・貨幣経済の進展であった。そして、これ自体は共通の遺産として、現在でも有効性は失っていない。

このように、社会全体に影響を与える要因を社会のすみずみまで視界に収めて検討していくために、藩地域研究は有効性を発揮するのではないか。換言すれば、ダイナミズムの要因として、中核的テーマを取り上げる、ということになる。本書で取り上げた農政・学問・金融は、その要因としての位置づけを持ち、藩地域研究はこれらの要因の解明を当面の課題とするのである。ダイナミズムは派手である必要はない。歴史を動かす要因をきちんとつかみ、それを構造的に把握して、時間の経過とともに起こる変化を明らかにすることが重要なのである。

(福澤・渡辺編『藩地域の農政と学問・金融—信濃国松代藩地域の研究IV』  
2014.3、小社刊、「序章」より)

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

### ◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 Tel.011-299-6834 年5000円

◇48 2013.10 B5 8p

第48回アイヌ語地名研究会終わる 研究発表1「オベレベレケブから帯広へ」早田国光／研究発表2-1「アイヌ語正典」—真義への研究 打田元輝／研究発表2-2「蝦夷地全沿岸の古地名比較」打田元輝

探訪 札幌・円山公園 渡辺 隆  
円山方面探訪資料  
円山のこと 渡辺 隆  
円山地区の植物のアイヌ語 藤村 久和  
大阪からの新入り会員です。 加藤 昌彦  
武四郎の由仁足跡をたどる 渡辺 隆  
「アイヌ語地名」看板の紹介  
「古武井川」

### ◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 Tel.011-299-6834 年5000円  
1998年創刊

◇16 2013.12 B5 90p 1600円

オベレベレケブから帯広へ 早田 国光  
東大雪山系のアイヌ語地名  
—特に東大雪を中心にして 秋山 秀俊  
アイヌ語地名「厚別」の呼称と語源 横平 弘  
アイヌ語地名 千島 クナシリ(2)

伊藤せいち／本田克代

### 談話室

アイヌ語ですか? 渡辺 隆  
異分析事例 ri kun pet は rik un pet が本当 伊藤せいち  
「ない」・「知らない」から出たまこと 伊藤せいち

### ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目かでの2・7ビル9階 Tel.011-231-4111  
hokkaido-bunkazai.jp

◇340 2013.11 B4 4p

道文化財保護功労賞の受賞者が決定 個人 田中實(石狩市)／団体 名寄SL排雪列車(キマロキ)保存会(中田一良)、麒麟獅子舞う会(畑宮宗聡)、林家文書解説ボランティアの会(駒木根恵蔵)  
「北海道文化賞」等 受賞者決定  
文化財講演会(抄録) 新島襄・八重夫妻と交流のあった北海道の人達 阿部 敏夫  
ハバロフスクにおける榎本武揚 舟山 廣治  
北東北みちのく文化財の旅—世界遺産をめざす縄文遺産を中心に  
古代中世から近代の歴史と文化を訪ねる 「増えた…」 たかやまじゅん  
世界文化遺産への登録をめざして(16) 北海道教育庁文化・博物館課  
屏風に見る百五十年前の標津 小野 哲也  
西村一平コレクションについて 長谷山隆博

### 読者の声

北海道文化財保護協会 道内文化財めぐり(空知地区)印象記

山田 大隆

日本遺跡学会へ参加して 高久 忠明

### ◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館  
〒093-0042網走市潮見309-1 Tel.0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇91 2013.12 A4 8p

### 表紙

白樺樹皮製ベリー採集用容器  
第28回北方民族文化シンポジウム  
環境変化と先住民の生業文化—  
家畜飼育・牧畜の生業文化 第1部: 牧畜の諸相／第2部: モンゴルにおける牧畜／第3部: シベリアにおけるトナカイ牧畜／第4部: 東シベリアにおけるトナカイ牧畜 中田 篤  
講習会 シベリアのサケ餃子—ペリメニづくり 講師: 渡部裕 渡部 裕  
講座 民族学と考古学—学問の系譜 講師: 岡田淳子 山田 祥子  
講習会 結城伸子とつくるグリーンランドのリストウォーマー 講師: 結城伸子氏 笹倉いる美  
講座 北極海の捕鯨民 イヌピアットの一年の暮し 講師: 岸上伸啓氏 笹倉いる美  
ロビー展 オホーツクシリーズ4 キッズ・アート・イン・オホーツク 笹倉いる美  
ロビー展 オホーツクシリーズ5 北の状景から 笹倉いる美  
イベント 第5回はくぶつかんまつり 山田 祥子

コンサート 野花南—馬頭琴と語りの夕べ 笹倉いる美  
移動展 サーミの工芸—サーミ民族ハンドクラフト展示 笹倉いる美  
ロビー展 温暖化するシベリアの自然と人、ロビー展 世界と日本の美しいけん玉

### ◆八戸地域史 八戸歴史研究会

〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19  
三浦忠司方 Tel.0178-38-7376 1982年創刊

◇50 2013.12 A5 56p 800円

口絵 北野天満宮所蔵の刊本『自然真常道』  
奥州南部流鎧馬史(2)  
—八戸藩の流鎧馬 黄綿 昶行  
八戸地方の大小暦 斎藤 潔  
八戸藩の天保飢饉における五万両貸出政策 三浦 忠司  
みじか史 江戸期八戸藩領の鴉 大岡 達夫  
書評 三浦忠司編『現代八戸の歴史と経済・文化の展望』工藤欣一著作集 全二巻 稲葉 克夫  
「八戸地域史」発行目録(第1号より第49号まで)

### ◆とりら

ふるさと岩手の芸能とくらし研究会  
〒020-0113岩手県盛岡市上田堤2-22-5  
飯坂方 Tel.019-662-4513 2007年創刊  
www.h3.dion.ne.jp/iwagei/torira.htm  
◇7 2013.11 B5 42p 500円  
いわて芸能ごよみ  
2013.11~2014.5  
未来へ! 白澤鹿子踊 “神の森  
どろの木” へかける夢 東梅 英夫  
笹崎に生まれて良かった  
—仰山流笹崎鹿踊仲立として 佐藤 孝也

儀礼から芸能へ  
 一鳥舞・御神楽・師子六舞 吉田 隆一  
 マンガ いわずみ物語(2)  
 津波と川人と鱒 杉山 明弘  
 念仏剣舞の伝播と派生について 安田 隼人  
 高館剣舞、馬の古道を行く 飯坂 真紀  
 森口多里フォトギャラリー(6)  
 角浜駒蹄 種市町(現洋野町)

◆道鏡を守る会 道鏡禅師を知ろう

道鏡を守る会  
 〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35  
 本田義幾方 TEL0229-22-7364  
 年3000円 1985年創刊

◇35 2013.11 B5 80p 1000円

2012年10月13日 道鏡勉強会  
 道鏡禅師供養祭(4月7日)  
 栃木市方面探訪旅行(6月8日)  
 旅行を担当としての記 片岡 秀雄  
 茂木町町田の顕正板設置・除幕式

(9月21日)  
 誌上交流  
 意見交換1 伝承に関して  
 史実(歴史)と伝承(民俗)―栃  
 木勉強会での問題提起を箇  
 条書で 小林 吉一

道鏡にかんする伝説、伝承の  
 行く末 平山 和昭  
 茂木・御前山一帯の孝謙・道  
 鏡伝承 吉村 光右  
 栃木県内の孝謙・道鏡伝承か

ら考える―旧大平町と小山  
 市の伝承を取り上げて 本田 義幾  
 意見交換2 女帝・左遷・男根の  
 用語使用に関して

大塚泰二郎／本田義幾／石川和子  
 意見交換3 道鏡さんの顔  
 (会員アンケート)

道鏡登場の背景 飯沼 賢司  
 道鏡さんは写経熱心(栃木勉強会  
 で) 本田 義幾  
 医者道鏡 中西 喜次  
 孝謙天皇の御製(栃木勉強会講演  
 より) 小林 吉一

禅譲と寵愛―孝謙と道鏡に関して  
 本田 義幾  
 道鏡皇胤系図の紹介 田中 弘善  
 孝謙帝と道鏡のエロ話の淵源 川島 恂二  
 敬われるべき道鏡塚 内山 正之  
 道鏡禅師三題 久佐野 昭

有間皇子と弓削道鏡―『万葉集』  
 編者のやさしさまなざし 船生 史郎  
 道鏡さんが早く亡くなっていたら  
 田村新太郎  
 奈良豆彦神社 田中 龍夫  
 『奈良朝の政変と道鏡』(吉川弘文

館)に接し 本田 義幾  
 私の道鏡感 森本 裕之  
 「一隅を照らす」を胸に 久佐野 昭  
 宇都宮勉強会に取り組んで 高橋 昭夫  
 追悼 中神秀夫様との思い出 片岡 秀雄  
 大沢顕正板設置を機に思う 澤村 康男  
 道鏡と清麻呂の関係 和気 正芳  
 宇都宮講演会速報

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大  
 学大学院文学研究科 TEL022-795-6022  
 2005年創刊

◇8・9 2013.12 A5 118p  
 明治三陸大海嘯における宗教者の  
 活動について 佐藤 千尋  
 天理教における親神・天理王命の  
 神名 澤井 治郎  
 新宗教教団による巫者養成とその  
 解釈 高棹 健太

韓国の天理教における入信の過程  
 とその分析―おもに月刊機関誌  
 の記事を中心として 陳 宗炫  
 戊辰戦死者慰霊の成立と展開  
 一平安会の事例より 芳野 貴典

◆東北文化研究所紀要

東北学院大学東北文化研究所  
 〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1  
 TEL022-264-6430 1969年創刊

◇45 2013.12 B5 25+95p  
 京都歳時記の中の「みちのく」―  
 「みやことみちのく」補遺2 野崎 準  
 中世後期近江国蒲生下郡・上郡・  
 〈境界地域〉と佐々木六角氏 若林 陵一

「日露和親条約」がカラフト島を  
 両国の雑居地としたとする説は  
 正しいか? 榎森 進  
 伝統漁撈をめぐる社会化(下・10、  
 完) 大江 篤志

近代宮城の裁縫教育と朴澤三代治  
 一裁縫雛形を用いた一斉教授法 菊池 慶子  
 山形県高島町時沢集落におけるブ  
 ドウ施設栽培の展開 酒井宣昭／太田伸佳

◆ナジェージダ(希望)

石巻若宮丸漂流民の会  
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23  
 大島幹雄方 TEL045-773-4643  
 homepage2.nifty.com/deracine/

◇31 2013.12 A4 48p  
 グロヴニン事件解決200年記念  
 函館ツアー&講演会報告  
 函館・松前ツアー体験記 稲垣 滋子  
 講演会「魯西亜から来た日本人  
 一善六と函館」要旨 大島 幹雄  
 「漂流民たちはオーロラを見たか」

河内牧栄さん講演会報告 本間 英一  
 書籍紹介『被災地で生きる・見る  
 ・思う』 谷川 正明  
 津太夫は語り始める 第三回 春名 徹  
 漂流民の見た洋式航海術 佐藤三寿夫  
 はるかエトロフークナシリ水道を

行く 河元由美子  
 私の旅 大内宿 酒見 謙三  
 シベリア鉄道旅日記 木村 成忠  
 「世界史の中の宮城―高校生フォ  
 ーラム in 仙台―」の試み 高島 邦俊

ダメじゃん小出の語り芸「我にナ  
 ジェージダあり」石巻・東京  
 公演  
 若宮丸漂流民異聞『7000キロを突  
 っ走れ』 高橋 寿之  
 地域情報誌『りらく』2013年8月  
 号への寄稿 高橋 寿之

「奥松島」の風景  
 一雑誌『奥松島物語』創刊 西脇 千瀬  
 震災土蔵 修復完了報告 本間 英一  
 同封資料「地域学習を通じて育ん  
 だ郷土愛」について 高砂 宏之

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文  
 学部 日本史研究室 TEL022-217-6064  
 年4000円 1949年創刊

www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/  
 ◇121 2013.10 A5 151p 2100円  
 神子柴・長者久保石器群における  
 石器機能研究―福島県林口遺跡

鹿又 喜隆  
 須恵器からみた横穴墓と官衙―多  
 賀城以前の仙台平野南部につい  
 て 川口 亮  
 文武朝における「薩摩隼人」の征  
 討と唱夷国の成立 熊谷 明希

徳川家康年忌法会への天台僧参仕  
 一出羽国村山郡の事例から 田中 大輔  
 与謝野晶子の「経済的独立」論再  
 考—第一次大戦下の生活意識と  
 個人の倫理的独立 小嶋 翔  
 書評  
 金森正也著『藩政改革と地域社  
 会—秋田藩の「寛政」と「天  
 保」— 横山 昭男  
 菊池勇夫著『東北から考える近  
 世史—環境・災害・食料、そ  
 して東北史像— 荒武賢一朗  
 安達宏昭著『「大東亜共栄圏」  
 の経済構想—圏内産業と大東  
 亜建設審議会— 手嶋 泰伸

◆秋田歴史協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
 〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出  
 版内 TEL018-864-3322 1996年創刊  
 akita-nct.ac.jp/wakino/rekiken.html

◇54 2013.12 B5 24p

特集 秋の歴史フォーラム  
 米代川・子吉川の舟運  
 銅と木材の川路 米代川 渡部 紘一  
 本荘湊と子吉川 半田 和彦  
 研究ノート 『渋江和光日記』に  
 みる武芸稽古 塩谷 順耳  
 用語解説 舟運に関する用語 半田 和彦  
 歴史情報  
 全国放映された神宮寺相馬家文  
 書—露寇ウボストフ事件 神宮 滋  
 自著紹介 一般財団法人民族芸  
 術研究所編『秋田民謡育ての  
 親 小玉曉村』 小田島清朗  
 文献情報／催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内尾桜1-5-55  
 古四王神社事務所内 TEL018-845-0333  
 1981年創刊  
 w2.amn.ne.jp/sugae/masumi.html

◇81 2013.12 B5 16p

研究会の更なる発展のために  
 一会員の増加に努めよう 田口 昌樹  
 学習会に思う 田口 久義  
 菅江真澄学習会一覧表  
 寄稿 アヤオジロの研究 佐藤 博文  
 真澄の一枚(13) 東美濃の二人掬  
 『粉本稿』より(大館市立中央図  
 書館提供) 菊地 利雄  
 真澄短信  
 図書紹介 『菅江真澄の見た仙台』、  
 『生あるかぎり言葉を集め』神  
 戸、この街で一わが心の自叙伝  
 秋田市周辺の景勝地案内板 岨谷  
 峡、伏伸の滝／菅江真澄の「富  
 士図」

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会

〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2  
 河田正治方 TEL0186-62-0242  
 年2000円 1977年創刊

◇69 2013.12 A4 79p 1000円

巻頭言 多くの成果を挙げた地方  
 史研の実践—一年間の歩みを振  
 り返って 照内 捷二  
 英泉の『高氏景隆翁墓誌并銘』に  
 ついて—天保五年「支流源姓高  
 久氏系譜」からの考察 千葉 克一  
 「世界の先覚」の原点は綴子と坊  
 沢だった—近年解明された昌益  
 から 武藤 琢司  
 史、資料を読む(2) 永井 高道  
 総会講演会

北秋田市の菅江真澄の足跡 田口 正樹  
 歴史教室  
 古文書・古記録の解明から  
 北秋田の地域社会づくり 澤田 昌治  
 旧営林署の森林軌道について 上田 正光  
 クマの生態とマタギ 小松 武志  
 現地研修  
 「蔵の町」を訪ねて 桜田 俊  
 増田町の蔵めぐり 斎藤 春夫  
 明利又の古に思いを馳せる—第  
 二回現地研修会参加報告 中嶋 俊彦  
 七日市小郡部地区めぐり  
 一史跡探訪 澤田 昌治  
 随想 長崎久先生の追慕 小塚 嘉七  
 ひろば  
 曾祖父・21代与五左エ門と祖父  
 ・忠蔵にみる「隠居制度」に  
 ついて 中嶋 忠輝  
 「脚氣」について 石田 眞  
 お役御免・飛騨高山で余生を送  
 る獅子頭 上田 正光  
 教育者・木村文助氏を知る 佐藤喜美雄  
 戦中の少年の記(1) 嶺脇 勉  
 陣馬岱巡り 桜田 俊  
 足から探る下駄の文化 小塚 嘉七  
 つがる衆 吉岡 興

◆置賜の民俗 置賜民俗学会

〒992-1122山形県米沢市万世町梓山1603-3  
 梅津幸保方 TEL0238-28-5036 1965年創刊

◇20 2013.12 A5 142p 900円

《特集 置賜三十三観音信仰の今》  
 巻頭言 庶民信仰の行方 梅津 幸保  
 基調講演 参詣と巡礼・順礼 原 淳一郎  
 シンポジウム概要  
 パネリストの発言  
 パネリスト資料  
 置賜三十三観音巡礼について

一始まりと札所の変遷 渡邊 敏和  
 置賜三十三観音札所 御詠歌 渡邊 敏和  
 置賜三十三観音札所 所在地地図  
 置賜三十三観音札所一覧  
 民俗聞き書き 梅津 幸保  
 会員の研究レポート

江戸大火の際の米沢藩江戸回村  
 の搬出経路について 守谷 英一  
 宮内七夕の復興 高岡 亮一  
 「高い山」と「登高」 菅原 健治  
 お鷹ぼっぼと蘇民将来について  
 清野 春樹  
 大町庚申堂の「観音賢菩薩行法  
 経」の塔—米沢市大町庚申堂  
 の塔・碑を中心に 加藤 和徳

民俗短信

置賜地区民俗芸能団体懇話会設  
 立 梅津 幸保  
 平山獅子踊りについて 新野 清一  
 日本唯一か 小屋の筆司塔 梅津 幸保  
 干支の話 午年について 関谷 良寛  
 置賜の民俗を訪ねる  
 高島・民話のふるさと巡り 清野 春樹  
 置賜民俗学会の動向  
 訃報 井上俊雄前会長を悼む 大富 國雄

◆まんだら 東北文化友の会会報

東北芸術工科大学東北文化研究センター  
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-  
 2168 年10000円 1999年創刊  
 gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇54 2013.12 B5 28p

対談 布が織りなす大地の記憶  
 辻けい／謝黎  
 コラム 謝黎コレクション展 北  
 の南の混淆—旗袍に隠された近  
 代中国の歴史  
 ルポ 再発見!米沢の街並み—山

形県立米沢東高等学校総合大学  
体験学習  
フィールドの風  
文化的景観と観光業 竹原 万雄  
町で、吊う 蛸原 一平  
フィールドワークの現場から  
参加学生の声  
第5回阿仁根子調査(8月) 小松 諒  
日向洞窟遺跡発掘調査(9月) 千尋 美紀  
日向洞窟遺跡発掘調査(9月) 徳永 司  
「前田村文書」研究報告会に参  
加して(10月) 櫛引 理沙

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会  
〒990-0826山形市霞城町1-8 山形県立博物  
館 秋葉正任気付 1987年創刊  
◇27 2013.11 A5 80p 900円  
置賜の百足獅子  
一川西町犬川地区を主として 渡邊 敏和  
研究ノート 米沢藩内の青学生産  
一長井地域を中心に 菊地 和博  
暮らしのなかの太陽信仰・山の神  
とオコゼ 清野 春樹  
山形県内の分骨信仰  
一歯骨納骨習俗を中心に 野口 一雄  
鹿沼の「古峯ヶ原」にみる王祇神  
構造—山形周辺の「古峯神社」  
に関する一管見 大江 良松  
埋め墓の塔婆供養  
一朝日町大谷字粧坂の事例 村田 弘  
書評 『近世庚申塔の考古学』  
石神裕之著 加藤 和徳  
県内の主な民俗関係出版物  
山形県民俗研究協議会関連記事

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報  
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8  
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇198 2013.12 B5 10p  
宮内熊野大社おほえ書(11) 須崎 寛二  
2013年7月の水害 須崎 寛二  
2013年(平成25) 会報総目次

◆米沢史学 米沢史学会  
〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1  
山形県立米沢女子短期大学日本史学科内  
TEL0238-22-7330  
◇29 2013.10 B5 136p  
葉山修験再考—近世期に展開した  
る大円院末派について 関口 健  
「前衛」岡本太郎の位置—1940年  
代後半から1950年代初頭におけ  
る変遷 志賀 祐紀  
肥後国海東郷における名主座(ジ  
ンガ)について 菌部 寿樹  
戦後における戦死者遺族の天皇観  
とその変遷—終戦後から昭和天  
皇死去後まで 柴 佳緒里  
南海道の名主座について(補遺)  
菌部 寿樹  
史料紹介 武田勲家文書『略日記』  
高橋拓/佐藤由美

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団  
〒960-8116福島市春日町5-54  
TEL024-534-9193 2002年創刊  
www.history-archives.fks.ed.jp  
◇37 2013.10 A4 4p  
霊山神社宮司となった西郷頼母  
明治31年11月1日付霊山神社創  
建発企人資格永続規定 渡邊 智裕  
県庁文書に残る会津藩分限帳 小野孝太郎  
江戸時代の村の休日 小野孝太郎  
大正時代の恵隆寺観音堂の修復 渡邊 智裕  
被災歴史資料救出の現状 本間 宏  
地域研究会活動情報

熱塩加納郷土史研究会 大澤 君一

関 東

◆茨城史林  
茨城地方史研究会(発売:筑波書林)  
〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14  
年3000円 1972年創刊  
◇特集号 2013.12 A5 133p  
《創立60周年記念特集号》  
発刊にあたって 佐久間好雄  
茨城地方史研究会六十年の歴史 久信田喜一  
創立六十周年に寄せて  
創立六十周年に寄せて 瀬谷 義彦  
研究会発足当時の思い出 佐久間好雄  
今ふり返って想うこと 鈴木 暎一  
「農間渡世」 小松 徳年  
古文書学習の思い出 植田 敏雄  
茨城地方史研究会六十周年に寄  
せて 小室 昭  
研究会の思い出とちょっとした  
提言 田中日出夫  
会員であることの幸せ 野上 平  
私を育ててくれた史料調査 橘 松寿  
茨城地方史研究会と私 齋藤 茂  
史料調査で学びながら 木村 宏  
瀬谷先生との出会い、思い出 大貫 孝子  
瀬谷先生との思い出 小河 邦男  
茨城地方史研究会と私 栃木 敏男  
研究会六十周年に寄せて  
—一会員のお礼と思い 笹岡 明  
原点を忘れずに 大藤 修  
創立六十周年に寄せて  
—学恩に感謝 久信田喜一  
導かれて四十周年 野内 正美  
茨城地方史研究会との出会い、  
そして期待 近江 礼子  
茨城地方史研究会の六十年 並木 克央  
『茨城史林』から

「創刊の辞」(創刊号) 瀬谷 義彦  
「研究会の歩み」(創刊号) 寺門 守男  
「史料調査の思い出」(創刊号)  
佐久間好雄/海野幹雄  
「地方史を学ぶ」(第8号) 瀬谷 義彦  
「茨城地方史研究会の発足に想  
う」(第9号) 瀬谷 義彦  
「『茨城史林』第10号発刊に当っ  
て」(第10号) 瀬谷 義彦  
「茨城地方史研究会の発展を願  
う」(第14号) 瀬谷 義彦  
「茨城地方史研究会の前進に向  
けて」(第15号) 佐久間好雄  
「資・史料の保存について思う」  
(第16号) 佐久間好雄  
「二十年の歩みに想う」(第20号)  
佐久間好雄  
「研究会の歩みに想う」(第20号)  
瀬谷 義彦  
「公文書館の設立を望む」(第24  
号) 佐久間好雄  
「『茨城の歴史』三巻の出版につ  
いて」(第27号) 佐久間好雄  
茨城地方史研究会六十年の歩み  
研究例会・研究発表会の歩み/  
地方史公開セミナーの歴史/他  
の研究団体との連携/史料調査  
の歩み/古文書教室の歩み/  
『茨城史林』発行の歩み/『茨城  
史林』総目次

◆茨城の民俗 茨城民俗学会  
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16  
今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円  
1963年創刊 www.minzoku.net  
◇52 2013.11 B5 94p  
《創立50周年記念号》  
特集 私の乗り物体験

乗り物雑学・私の乗り物体験 今瀬 文也  
 茨城交通バス成沢線について 飯村 保  
 乗り物に関する思い出いろいろ 清水 亨桐  
 徒歩・自転車・車 松崎健一郎  
 新四国相馬霊場の開創者光音像を  
 奉造した修験者「秀音」 近江 礼子  
 茨城県内の太々神楽 河野 弘  
 縄文語由来の地名の痕跡  
 アタゴ山 野北 舜介  
 古文書からみる年中行事 富田ゆか子  
 奇妙な奥久慈の子守唄 堀江 文男  
 寛永期大日如来石仏研究目録  
 一『茨城の民俗』五十年から 飯村富美子  
 創立五十周年記念のひとつこと  
 創立五十周年おめでとう 藤田 稔  
 五十年の軌跡の中で 飯塚 信久  
 社会学的視点から見た茨城の将  
 来 今瀬 文也  
 茨城県に、茨城民俗学会あり！  
 入江 宣子  
 念仏や念仏講に関心 植野 英夫  
 伝承の過程 内山 雅子  
 わが家の年中行事 海老沢正孝  
 民俗記録の重要性を痛感 近江 礼子  
 民俗学が心を豊かに 大久保景明  
 茨城の民俗に興味・関心 大関 武  
 このごろ思うこと 大津 忠男  
 入会当初の出会い 大森 政美  
 創立一〇〇年を目指し 川崎 定信  
 外山善八さんを偲ぶ 高堀 宏幹  
 幻をみて終わりたい 小松崎智子  
 石仏との出会い 佐藤不二也  
 民俗文化に陶醉 重実 光  
 かすみがうら市の民俗に学ぶ 清水 亨桐  
 民俗に視点をもつ幸せ 平 宗子  
 五十周年を迎えて 高信 幸男  
 地名が面白い 田口 守

常陸野を考える 千歳 竜彦  
 昔話の話者に感銘 鶴尾 能子  
 民俗学講座の思い出 鶴田 廣一  
 柳田國男館を訪れて思うこと 照山 洋  
 新講座に期待 戸嶋 禮助  
 鈴虫放出「二〇一三匹」 中村 彦蔵  
 五十周年・茨城を原点に回帰 西海 賢二  
 この頃寂しい茨城民俗学会 堀切 武  
 柳田國男体験 松崎健一郎  
 わが家で祀る二体のオシンメサ  
 マ 三浦 清  
 民俗調査で思わぬ出会い 三輪 京子  
 大きな拍手を 御供 文範  
 視野を広げて調査・研究 宮田 妙子  
 会報は素晴らしい 向谷地由行  
 難しい伝統芸能の維持 柳貴家勝蔵  
 風土記講座の全日程を学び歩く 渡辺 一夫  
 『茨城の民俗』は宝物 渡辺 敦子  
 茨城民俗学会の五十年  
 会のあゆみ  
 茨城民俗学会一年のあゆみ  
 第53号特集「私の収集自慢」 松崎健一郎  
 創立五十周年記念号の発刊を終え  
 て 今瀬 文也  
 ◆近代史料研究 日本近代史研究会  
 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1  
 筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内  
 TEL029-853-4066 2001年創刊  
 ◇13 2013.10 A5 90p  
 投書欄にみる大正地方青年の言論  
 空間—雑誌『第三帝国』を例と  
 して 水谷 悟  
 紀州藩古学館と小中村清矩—幕末  
 期考証派国学の一側面 大沼 宜規  
 地方官官制の制定と公文書管理—  
 岩手県永年保存文書を手がかり

として 山田 英明  
 行政調査会の設置と高等試験制度  
 改正審議 中野目徹／日向玲理／長谷川貴志  
 ◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所  
 〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5  
 TEL0299-24-0595 1987年創刊  
 ◇47 2013.12 A5 118p 1048円  
 長者山遺跡と「高播満」—古代常  
 陸国北部の駅家と水運 笹岡 明  
 『和名抄』みえる常陸国筑波郡の  
 郷について(3)—方穂・渚蒲両  
 郷を中心に 久信田喜一  
 佐竹支族宇留野氏の系譜について 安達 和人  
 水戸藩の海防政策 河野 弘  
 新選組岸澤鴨と下村嗣次について 箱根紀千也  
 水戸藩諸生派残影 市村 真一  
 牛久沼沿岸の新四国霊場「高須大  
 師」の成立と変遷 近江 礼子  
 ◆水戸史学 水戸史学会  
 〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42  
 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊  
 ◇79 2013.11 A5 114p  
 会沢正志斎先生歿後百五十年に当  
 たりて—明治維新を導いた憂国  
 の教育者 安見 隆雄  
 香川敬三と茨城(下) 上野 秀治  
 「藤田神童」の展開 梶山 孝夫  
 『大日本史』孝徳天皇紀の基礎的  
 研究 堀井 純二  
 義公の足跡を訪ねて(26) 住谷 光一  
 著書紹介 阿部邦男氏著「蒲生君  
 平の『山陵志』撰述の意義」—  
 前方後円墳の名付け親の山陵研

究の実態 宮田 正彦  
 ◆鹿沼史林 鹿沼史談会  
 〒322-0031栃木県鹿沼市陸町287-14 鹿沼  
 市立図書館内 TEL0289-64-9523 年3000円  
 1954年創刊 tochigi-vnpo.net  
 ◇53 2013.11 A4 43p  
 足尾銅山第六鉄索 安生 信夫  
 光太寺の「笠塚」について 中島 正  
 島田家の木像について 中島 正  
 古文書に見る庶民の生活(1) 高岡 正之  
 随想 わたしのたけくらべ  
 幼き日の楽しい追憶 大野富士男  
 小学校仮入学 高岡 正之  
 史談会だより 2013年  
 ◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会  
 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26  
 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346  
 1993年創刊  
 ◇41 2013.11 AB 40p  
 《高崎市倉賀野町・新町地域特集》  
 歴史を掘る 高崎市下佐野遺跡 I  
 地区A区4号前方後方形周溝墓  
 出土内行花文鏡 右島 和夫  
 本会設立20周年を記念して 横山 巖  
 本会の設立準備と20年の歩みの概  
 要  
 一般財団法人群馬県文化事業振興  
 会 20年の歩み  
 発掘情報 渋川市金井東裏遺跡で  
 発見された甲を着た古墳人 桜岡 正信  
 図録 ぐんまの文化財 高崎市倉  
 賀野町の歴史と文化財—近世宿  
 駅と舟運の町を歩く 横倉 興一  
 ぐんまの歴史入門講座  
 第145講  
 倉賀野・佐野地区の古墳 右島 和夫

第146講 神流川合戦の実像 久保田順一  
第147講  
中水道・新町宿の成立 川村 康雄  
第148講 J R高崎線の開業当時の状況と新町・倉賀野 大島登志彦  
第149講 高崎市倉賀野町石造文化財 石造文化財の見方(30) 秋池 武

古文書解説入門講座(28)古文書から歴史を読む 烏川の倉賀野河岸と廻米・払い米 岡田 昭二

地域づくりと文化遺産 『よみがえれ！新町紡績所の会』の活動 川村 康雄

ぐんまのくらしと民俗  
倉賀野町の農休みと饅頭 横田 雅博

ぐんまの地方豪族  
倉賀野淡路守と十六騎 久保田順一

ぐんまの川と生活  
高崎の大動脈・烏川 澤口 宏

ぐんまの人物誌 わが国実験心理学の祖 松本亦太郎と養父松本勘十郎 今井 英雄

ぐんまの郷土芸能  
東音頭と盆踊り 横田 雅博

ぐんまの地名 高崎市新町の地名 今井 英雄

研究・学習サークル活動紹介  
よみがえれ！新町紡績所の会 片桐 庸夫

出版情報  
『榛名町誌 全八巻』完成 清水 喜臣

ぐんまの自然と風土  
チョウゲケンボウ 谷畑 藤男

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会  
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2  
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊  
geocities.yahoo.co.jp/gi/gunmabunka/

◇316 2013.10 A5 84p  
国衙領の形成と開発  
一上野国高井郡と石上氏 久保田順一

近世村落の宗教施設  
一上野国那波郡茂呂村の場合 時枝 務

赤城山南麓における藤沢川の「不自然な」流路の検討—灌漑用水遺構・女堀の取水・引水経路の問題に関連して 飯島 義雄

動向「群馬地域史懇話会」20年の歩み 藤井 茂樹

文化財レポート  
甲を着た古墳人の出現  
一金井東裏遺跡 桜岡 正信  
下南室太々神楽「養蚕の舞」 今井 郁男

群馬県指定重要文化財「松平大和守家歴代藩主画像 附その他画像10幅」 宮沢 竜一

新刊紹介  
内田和義著『日本における近代農学の成立と伝統農法—老農船津伝次平』 田中 修  
新井小枝子著『絹のことは』 横田 雅博  
時枝務・由谷裕哉・久保康顕・佐藤喜久一郎著『近世修験道の諸相』 関口 功一

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編『自然災害と考古学—災害・復興をぐんまの遺跡から探る—』 藤森健太郎

石井里枝著『戦前期日本の地方企業—地域における産業化と近代経営』 丑木 幸男

佐藤孝之著『近世山村地域史の研究』 藤井 茂樹

野口周一著『ぐんまの社会教育—永杉喜輔のあゆみ—』 阿久津 聡

口絵 上杉景勝書状—群馬県立歴

史博物館蔵品資料(117) 築瀬 大輔

◆上州文化 群馬県教育文化事業団  
〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22  
TEL027-224-3960 1980年創刊  
www.gunmabunkazigyodan.or.jp

◇136 2013.11 A4 14p  
巻頭言 世の中に光明を 鈴木 猷仙  
ぐんまミュージアム散歩(8) アーツ前橋 市街地に生まれた芸術文化の発信拠点 桑原 高良  
上野東歌探訪 北川 和秀

群馬県教育文化事業団 INFORM ATION 第37回県民芸術祭参加事業  
地域文化をつなぐ  
多くの力が支える、伝統文化 小林 雅夫  
私の絵画制作 今井 充俊  
カフェの隅から パウリスタ 竹田 朋子

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1979年創刊

◇136 2013.12 B5 4p  
石仏の魅力と道祖神 鈴木 英恵  
「管郷捌拾陸、驛家戸肆」 関口 功一

◆那須文化研究 那須文化研究会  
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1  
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949  
1987年創刊

◇27 2013.12 B5 149p  
温泉神社考—温泉神社の読み方と祀られる祭神から分かること 中山 晶壹  
絵葉書で見る那須地方の昔(5)—那須湯本温泉の玄関口「旭橋」長谷川 操  
<那須塩原市黒磯地区プロジェクト調査報告書>

那須山麓に棲むオオタカ (*Accipiter gentilis*) 大滝 孝久  
会津中街道「三斗小屋宿」について 高根沢広之  
て 高根沢広之  
蘆屋道満の墓—那須野が原に残された伝承世界の一考察 木村 康夫  
絵葉書で見る那須地方の昔(6)  
—三斗小屋温泉 長谷川 操  
写真で見る戦後の黒磯駅周辺 久留生利美  
大名家文書(大関家文書)は語る(12)  
—「練武園懸札」について 新井 敦史  
地方文書は語る(12)—会津中街道往還荷物馬次ぎ一件文書について 高根沢広之  
新刊紹介 黒羽芭蕉の館平成24年度企画展「近世黒羽の林政家興野隆雄と興野家文書の世界」 中村 悟  
那須地区通信 西那須野地区／大田原地区／湯津上地区／黒羽地区／那須町／黒磯地区／塩原地区  
栃木県文献一覧(2012追録)(2013)

◆日本の石仏  
日本石仏協会(発売：青娥書房)  
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29  
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊  
www.3ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html

◇148 2013.12 A5 80p 2100円  
巻頭随想  
“連帯のエネルギー”を考える 坂口 和子  
《特集 石造物と古文書》  
石仏をめぐる古文書覚書 時枝 務  
庚申塔造立一件 渡邊三四一  
古文書が語る碑 市村 幸夫  
古文書からみた石仏の建立 門間 勇  
古文書に見る水神塔・鳥居・石灯籠建立の背景 近江 礼子

『大悲願寺日記』と石造物 内山 孝男  
 石塔造立禁令について 入谷 雄二  
 任随和尚の自刻した石造地藏尊像 南川 光一  
 古文書に見る「移し霊場の諸経費」 井戸 寛  
 あ・ら・か・る・と一私の石仏案内  
 戸隠・公明院の秋葉大神 中森 勝之  
 長野県戸隠・越水ヶ原 肥後国の神社銘がある招魂社碑 茨城県土浦市中央2丁目・千手院 佐藤不二也  
 海外石仏研修報告  
 台湾に望郷の石仏を訪ねる 小島 隆司  
 第99回石仏見学会報告  
 日光街道千住宿周辺の石仏 初田 瑞宏  
 会員の広場  
 コンクリート製の楠木正成像 町田 茂  
 スリランカ仏頭 たなかよしゆき  
 群馬県吾妻郡中之条町市域の「お三夜さま」 角田 尚士  
 石仏と石工 久野 秀晴  
 「生首持ち型」青面金剛 大島 洋一  
 杣中の浅間石仏 黄瀬 三朗  
 弘前市の変った庚申塔 中森 勝之  
 コラム  
 四臂の異形像 門間 勇  
 山梨・甲斐駒ヶ岳石仏造立願い 田中 英雄  
 嶋二郎先生の逝去を悼む  
 ◆我孫子市史研究センター会報  
 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17  
 岡本方 TEL04-7149-6404  
 www.geocities.jp/abikosisiken/  
 ◇141 2013.11 A4 12p  
 歴史探訪部会バス見学会「大山詣&日向薬師探訪」に参加して

茂木 勝己  
 大山不動豆知識 鉄の不動明王が  
 何故錆びないのか 原田 慶子  
 歴史探訪部会〈座学〉の案内  
 伊勢講と伊勢参り 飯白 和子  
 歴史探訪部会11月の活動 長谷川秀也  
 12月歴史探訪部会研修一部変更  
 野田市周辺をめぐる  
 我孫子市の社寺を訪ねて2  
 一台田・根戸新田 近江 礼子  
 井上家文書研究部会  
 質地証文(1) 清水 紀夫  
 歴史部会10月の活動と11・12月の予定 関口 一郎  
 合同部会11月の活動(11/16) 中澤 雅夫  
 ◇142 2013.12 A4 12p  
 新年おめでとございます 柴田 弘武  
 我孫子市民フェスタ2013に参加して  
 茂木 勝己  
 歴史探訪部会12月「野田市周辺めぐり」参加の記 大杉 榮一  
 歴史探訪部会12月の活動 長谷川秀也  
 我孫子市の社寺を訪ねる3  
 一久寺家 中川 健治  
 茸不合神社と鶴戸神宮 三谷 和夫  
 井上基家文書の研究  
 質地証文(2) 清水 紀夫  
 歴史部会11月の活動と今後の活動  
 予定 関口 一郎  
 市史研・字誌の研究活動が11月30日付の朝日新聞に掲載されました  
 井上家文書研究部会11月の活動 長谷川 一  
 自普請関係文書まとめ 延享元年～寛延元辰年の概況  
 合同部会11月の活動(11/16) 中澤 雅夫

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報  
 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6  
 野村忠男方 TEL043-487-1033  
 年2000円 2012年創刊  
 ◇5 2013.10 A4 6p  
 地名に学ぶ(3)  
 海隣寺と千葉宗家の人々 野村 忠男  
 佐倉の大師参り 六崎組十善講 伊藤 清  
 野村会長の「城下町・佐倉」近況  
 報告『日本地名研究所通信』に掲載される  
 谷川健一氏逝去  
 ご挨拶(谷川彰英)  
 平成25年度佐倉市民文化祭・協賛行事 ミニ・シンポジウム「佐倉の古い地名を語る」及び資料展示会／志津公民館祭／臼井老幼の館 老幼まつり  
 第32回全国地名研究者発表大会  
 地名は警告するーその1 津波災害と地名(谷川彰英)、自然災害に関係深い地名について(古谷尊彦)、自然災害と地名(太宰幸子) 田中 征志  
 地名研究会短信 陸軍砲兵射撃学校の境界石発見!／小坂氏『志津村誌』複製本作る  
 ◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会  
 〒276-0046千葉県八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506  
 年3000円 1976年創刊  
 ◇38 2013.11 B5 107p  
 《創立40周年記念号》  
 巻頭グラビア 写真で見る40年・研究会の活動記録  
 八千代市郷土歴史研究会創立40周年祝辞 秋葉 就一

ご挨拶 牧野 光男  
 郷土史研40年の歩みー初めのころ 村田 一男  
 40年のあゆみ 八千代市郷土歴史研究会40年のあゆみ／40年間のトビックス  
 〈特集 旧村上村・旧下市場村の総合研究Ⅱ〉  
 「旧村上村絵図面」の考察 牧野 光男  
 旧村上村の研究  
 旧村上村の人々の姿  
 ー「旧村上村構成表」から 菅野 貞男  
 村明細帳から見る江戸時代の村上村  
 村上村の面積について 斎藤 惇  
 村上村の新田開発と村高の変遷 青田博之／小林詔三  
 村上村の税(年貢) 小林詔三／青田博之  
 村上村の神社と寺院について 村杉スミ子  
 鎮守の森「七百所神社」 畠山 隆  
 村上宮内地区の太くて強いきずな 鈴木 康彦  
 旧下市場村の研究  
 下市場村の概要 平塚 胖  
 延宝6年建立「壺挺切念仏講回向」の念仏供養塔 村田 一男  
 下市場村の村域と変遷 佐藤 二郎  
 江戸時代の下市場村の屋敷位置 菅野 貞男  
 下市場村のオビシヤと辻切り 石田 広道  
 むかしの村上を探る  
 八千代市内の古墳について 田中 巖  
 村上込ノ内遺跡と同遺跡出土の長頸瓶(壺G)について 巖 由美  
 八千代市の「阿蘇」地名と製鉄遺跡との関連 佐久間弘文  
 女人講と石造物ー浅間内遺跡出土の十九夜塔の考証 巖 由美

受賞おめでとうございます  
創立40周年記念行事  
平成25年度活動記録・活動予定

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室 1985年創刊

◇31 2013.10 B5 4p

調査報告 田中区有文書および用水組合文書 日暮 義晃  
史料調査参加記 第5次下小野区有文書(香取市下小野)調査 伊能茉莉美

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111  
年4000円 1982年創刊  
chibareki.blog.fc2.com

◇63 2013.11 A5 100p

巻頭随想 「通史」への疑問 三宅 明正  
歴史随想

佐倉藩の儒者 村上來助世範 土佐 博文  
近世寺院による救済歎願の社会的背景—近世後期成田山新勝寺の事例から 林 保奈美

西山卯三の住宅学を支えた思想と行動 三村 達也

大会講演 自由民権運動から福島東電原発事件を考える 安在 邦夫  
書評 竹井英文著『織豊政権と東国社会 「惣無事令」論を越えて』 宮川 展夫

新刊紹介

荒川善夫編著『下総結城氏』 市野澤 永  
黒田基樹編著『伊勢宗瑞』 伊藤 拓也  
浅倉直美編著『玉縄北条氏』 渡辺 翔太  
村上直著(馬場憲一編)『論集 代官頭大久保長安の研究』 筑紫 敏夫

野中和夫著『江戸・東京の大地震』 一牛ゆかり

三枝一雄編・三浦茂一監修・中澤恵子翻刻『三枝俊徳日記』小田 真裕

松本一夫著『栃木県ゆかりの歴史群像 日本史上の人物と地域との関わり』 石橋 一展

下畠知志著『南原繁の共同体論』 仙石 和道

資料保存活動 千葉歴史・自然資料救済ネットワーク総会「あれから2年、そのときあなたは！

これからあなたは？」 野口 陽子

参加記 千葉歴史・自然資料救済ネットワーク第3回勉強会に参加して 市川 超大

見学会 房総自由民権資料館 上田 浄

千葉歴史学会 第32回総会・大会報告

◆利根川文化研究 利根川文化研究会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学史資料センター 阿部裕樹方  
TEL03-3296-4329 1991年創刊  
www.7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/

◇37 2013.12 B5 84p

《特集 流域の文化的景観》

趣旨説明 川名 禎  
前橋市総社町山王集落の民家と塹

ぐね景観 戸所 隆  
邑楽・館林地域の葦原景観 岡屋 英治

国選定重要文化的景観「利根川・渡良瀬川合流域の水場景観」—

群馬県板倉町 宮田裕紀枝  
織部・足利を支えた渡良瀬川舟運

と猿田河岸 阿由葉 司  
渡良瀬遊水池のヨシ焼き文化と自然環境 白井 勝二

茨城県東海村の文化的景観 宮田裕紀枝  
土浦市「冢塚の里山」の価値

一里山の宝と保全活動 及川ひろみ  
武蔵野台地の文化的景観 須田 大樹

利根運河の文化・歴史・自然景観 新保 國弘

巡検参加記 川越市立博物館企画展「新河岸川舟運と川越五河岸

のにぎわい」見学 稲松 朋子  
手賀沼の自然・文化景観の現在 中村 勝

川との折り合いのなかで生まれた景観—利根川下流・布鎌地域の文化的景観 金子 祥之

「ちば遺産」「ちば文化的景観」と千葉県の取り組み 渡辺 修一

重要文化的景観選定を受け入れた地域社会の論理—滋賀県高島市

針江集落を事例として 野田 岳仁

活動紹介 地域史研究とまちづくり—実践としての吉岡まちかど

博物館 村越 博茂  
施設紹介 NPO法人 中帰連平

和記念館 芹沢昇雄/青木敏雄  
書評・新刊紹介

川名登著 船の科学館叢書7 『船鑑』 松井 哲洋

野中和夫著『江戸・東京の大地震』 阿部 裕樹

丹治健蔵著『近世関東の水運と商品取引—渡良瀬川・荒川・多摩川流域を中心に—』 筑紫 敏夫

新保國弘著『コウノトリの舞う

まで—ガン・ツル・コウノトリに見る野田の自然史—』 鶴見みや古

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20 松田孝史方 TEL047-342-1764 年5000円

1961年創刊 www.matsudoshidankai.net  
◇53 2013.11 B5 120p

松戸市制70周年に思う 松田 孝史  
武田万千代と秋山夫人そして大村

家 田嶋 昌治  
松戸駅・東口界限 “記憶する原風景” (2) 陸軍「工兵学校」と、

国立「千葉大学」 池田 眞也  
高木両陣屋と鎮守 花輪 茂道

短信(1) 日暮に小林一茶の句碑 (塩尻)  
松戸と阪神タイガース 宇田川 正

原爆に遭う 石井 賢二  
松戸の道祖神について 松田 孝史

短信(2) 馬橋・王子神社境内を散策 (塩尻)

私が出会った最後の「老・工兵(88歳)」 松戸「陸軍・工兵学校」

最後の証言 佐藤敬一郎

短信(3) 松戸の発掘60年史 (塩尻)  
松戸と映画と競輪と 古木 均

富士山が世界文化遺産に登録されて もう一つの富士登山 勝部 建一

短信(4) 行人台から消えた石祠 (塩尻)  
萬満寺・一月堂の緑蔭坐禅会 小野塚利雄

千葉氏由縁の地名考 (三ヶ月と三日月)—松戸の三ヶ月・みこぜ 國定美津子

短信(5) 「関さんの森・古文書の会」 (塩尻)

短信(6) 新松戸駅に「北馬橋」名盤が (塩尻)

会員のひろば 二つの河川 古木 均

鮮魚街道を歩くに参加して 中野 敏男  
史談会に入会して 田沼 國男

近況報告 木村 旭志  
トピックス

伊藤新教育長就任の弁 伊藤 純一  
社会知性フォーラム

一まつど・今昔物語 勝部 建一  
 松戸史談会ホームページについて 大倉 竜一  
 て 古木 均  
 第64回松戸市文化祭参加(文化講演)要旨 文化講演 源頼朝と千葉常胤について 若菜 三郎  
 第64回文化祭風景と第65回開催のお知らせ 編集委員  
 松戸史談会講演会(要旨) 松戸の旧石器時代について 千葉 寛  
 松戸史談会総会講演会(要旨) 松戸の歴史街道が出て来る五街道分間絵図 岡 隆雄  
 松戸史談会会員勉強会(要旨) 仏教と仏像のいろいろについて 松田 孝史  
 八ヶ崎風土記“映像で見る金谷寺の歴史とその周辺”―松戸八ヶ崎の史跡と歴史考 沖 福松  
 奥州藤原政権と源頼朝の奥州遠征―『吾妻鏡』で遊ぼう そのⅢ 棚井 行隆  
 松戸史談会主催史跡めぐり(記録と解説) 平成24(2012)年4月～平成25(2013)年3月 松戸史談会幹事  
 松戸史談会年間活動記録

◆アーカイブズ

独立行政法人国立公文書館  
 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2  
 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp  
 ◇51 2013.10 A4 65p  
 〈特集 開かれたアーカイブズを目指して〉  
 公文書館の意義を理解していただくために 石田 耕一  
 北海道立文書館における普及啓発の取組 山田 正  
 「開かれたアーカイブズを目指し

て」大阪府公文書館の取り組み 大倉 竜一  
 開かれたアーカイブズを目指して 山口県文書館の場合 山口県文書館  
 豊田市の情報公開と行政文書の管理 岡田 俊樹  
 市民とともに歩む尼崎市立地域研究史料館の取り組み 辻川敦/久保庭萌  
 札幌市公文書館の開館 安藤 友明  
 名古屋大学大学文書資料室の現在とこれから 堀田慎一郎  
 大阪大学アーカイブズの設置 菅 真城  
 神戸大学附属図書館大学文書史料室の設置経緯及び活動状況について 野邑理栄子  
 英国国立公文書館のアーカイブ施設認定標準について 中島康比古  
 平成25年度全国公文書館長会議及び「国際アーカイブズの日」記念講演会の開催/公文書管理研修Ⅰ、公文書管理研修Ⅱ及びアーカイブズ研修Ⅰを開催 国立公文書館

◆あしなか 山村民俗の会

〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17  
 サトービル TEL03-5663-6748  
 年5000円 1939年創刊  
 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/  
 ◇299 2013.10 B5 20p  
 表紙解説 北前船・日本海域の船 絵馬(秋田象潟・戸隠神社蔵) 塩野谷明夫  
 「悪戸」地名雑考 一東北の地・歴史への仰慕 塩野谷明夫  
 東北を巡る(6) 「カンデッコあげ」と「かんかけ」 杉崎満寿雄  
 「小串鉾山物故者追悼の標」の話 鷺頭 隆

中丸子羽黒権現と日光山―江戸南・多摩川渡し口の前立神 岡倉 捷郎  
 旅の草ぐさ(13) 高島平田聞記 一ある老農夫から聞いた話 荒井 俊昭  
 会員著書 両神山風土記―山案内人・山中宗助の山語り 飯野頼治著

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
 TEL03-3620-9393 1996年創刊  
 www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chiihibunka/hakubutsukan/  
 ◇65 2013.10 A4 4p  
 特別展 大千住展一町の繁栄と祝祭 平成25年11月6日(水)～平成26年1月26日(日)  
 大千住展関連イベント 巡回パネル展「千住歴史大全」/「千住の巢兆」展/「大千住展」講演会  
 博物館からのお知らせ  
 博物館の映画会  
 収蔵浮世絵展 タテモノとマチナミ―都市と建築の画像を読みとく 平成26年2月25日(火)～5月6日(火・祝)

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局  
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
 ◇549 2013.11 A4 4p  
 大千住展へ 千住ネギの大東まるき 郷土博物館  
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(12) 戦時下の鹿浜の子供たちの遊び(3) 小川誠一郎  
 よみがえる千住四丁目氷川神社の

山車 鈴木 志乃  
 ◇550 2013.12 A4 4p  
 手にとりたいジモト本 郷土史出版最新線 郷土博物館  
 大阪の増田健一さん、本を出版 『懐かしくて新しい 昭和レトロ家電』  
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(13) 戦時下の鹿浜の子供たちの遊び(4) 小川誠一郎  
 『おくのほそ道』と千住 櫛原 文夫  
 ◇551 2014.1 A4 4p  
 大千住展の新資料 再評価と紹介 郷土博物館 多田 文夫  
 千住四丁目氷川神社山車の解体について 郷土博物館  
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(14) 戦時下の鹿浜の子供たちの遊び(5) 小川誠一郎  
 節分と初午の行事 郷土博物館

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
 ◇308 2013.11 A4 8p  
 合衆国首府「ワシントンの桜」(14) 「東京都公園協会 昭和26年刊」 東京市、ワシントンにむけて桜を贈る(5)  
 復刻・郷土史料 「足立」昭和26年刊、「郷土のあゆみ」昭和28年、「足立区史資料集・足立史考」昭和31年/「戦国期東武蔵の戦乱と信仰」加増啓二著  
 足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」から 有形文化財(歴史資料) 天保餓死者と千住遊女供養塔 2基、解剖人塚

1基、関谷天満宮碑 1基、大正記念道碑 1基  
 史談大学(第五講ちょっとだけ)  
 足立の仏像と美術 早稲田大学・真田尊光先生/「大正記念道碑」地盤補修工事/史談会の皆様へ  
 榛名講と足立(2) 竹内 秀夫  
 足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」13号(昭和27年)「舎人と醫師弘田真澄」田邊彌太郎  
 舎人小学校開校70周年記念誌から(昭和38年)「創立七十周年に思う」PTA会長 弘田晋也  
 ◇309 2013.12 A4 8p  
 合衆国首府「ワシントンの桜」(14) 病虫害のため、寄贈のサクラことごとく焼却される(1)  
 足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」から 有形文化財(歴史資料) 神すき碑 1基、石出常軒の碑 1基、荒川堤五色桜碑 1基  
 北鎌倉から歩く/巢井展、学童疎開を語る会、12月探訪報告  
 榛名講と足立(3) 竹内 秀夫  
 ◇310 2014.1 A4 8p  
 後世に伝えなくてはならないものに力を尽くしたい 堀川 和夫  
 合衆国首府「ワシントンの桜」(15) 病虫害のため、寄贈のサクラことごとく焼却される(2)  
 足立を知る本・資料  
 史談会が復刻  
 足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形文化財(歴史資料) 一啓斎路川句碑 1基、多坂梅里翁碑 1基、

松本子邦碑 1基  
 足立史談カルタ紹介 「な」名倉は千住の接骨医、「ら」落語家 円朝の石灯籠、「む」昔新田十三ヵ村  
 伝統芸能・感想 区民教養講座/谷中掃苔散歩  
 千住町と私の家の由来/金玉金に関する福沢諭吉の書簡  
 ◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館  
 〒183-0026東京都府中市南町6-32  
 TEL042-368-7921 1987年創刊  
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/  
 ◇106 2013.12 A4 8p  
 多摩川と府中(3)  
 歌枕としての「調布玉川」 小野 一之  
 ボランティアによる歳時記展  
 神酒口&消防のむかし 佐藤 智敬  
 NOTE アイソソ彗星来る! 本間 隆幸  
 知る人ぞ知る! 府中ゆかりの人物  
 (11) 野村瓜州 花木 知子  
 最近の発掘調査 ちょっと一服!  
 甲州街道府中宿 宮西町2丁目 荒井 健治  
 連載 天文・宇宙の最新動向(3)  
 電波で宇宙を見る、アルマ望遠鏡(1) インタビュー:平松正顕氏 本間 隆幸  
 ◆板橋史談 板橋史談会  
 〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104  
 TEL03-5398-2682 1966年創刊  
 ◇278 2013.11 A5 29p  
 表紙写真解説 「大門餅つき」 乗蓮寺(赤塚五丁目) 井上 富夫  
 向原の昔(6) 水源、水路と水田 三原寿太郎  
 高齢者大学校(グリーンカレッジ)の設立にかかわって 石塚 輝雄

一枚の写真から(10)終  
 板橋史談会は私の学校だった 泉 貞代  
 ◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより  
 八王子市総合政策部市史編さん室  
 〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3  
 TEL042-666-1511  
 www.city.hachioji.tokyo.jp/seisaku/13570/  
 ◇11 2013.10 A4 8p  
 『新八王子市史』資料編1 原始・古代 及び資料編3 近世1などを刊行しました  
 専門部会の動きと計画  
 受贈図書・資料  
 地域からの声(6) 八王子市上恩方町 草木照義さん 渡部 恵一  
 チャレンジインターンシップ体験記 チャレンジインターンシップから学んだこと 水谷 啓太  
 歴史の窓(11) 聞き取り調査からたどる近世の洪水 鈴木 直樹  
 ◆奥武蔵 奥武蔵研究会  
 〒350-1301埼玉県狭山市青柳63  
 新佐山ハイツ4-504  
 ◇394 2013.11 B5 25p  
 嗚呼 鈴木はつ乃さん 加藤 恒彦  
 両神山へ古のルートから 吉田美知子  
 小瀬名に墜落機の慰霊碑があった 町田 尚夫  
 奥武蔵・秩父の獅子舞(49)  
 一朝日根の暴れ獅子 関口 洋介  
 62回式年遷宮 お白石持ち行事 岡野 守  
 追悼 山の名物お母さん  
 はつ乃さんのこと 藤本 一美  
 山行報告  
 続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
 (4) 高谷砦・四津山城・奈

良梨館 小泉 重光  
 鹿島槍ヶ岳と爺ヶ岳 齊藤 慶広  
 外秩父七峰(1)  
 官ノ倉山、笠山 関口 洋介  
 大楠から西行杉 関口 洋介  
 花咲山 加藤 恒彦  
 続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
 (5) 越畑城、杉山城 岡野 守  
 京王線沿線を歩く(1)  
 笹塚から塚山公園 関口 洋介  
 外秩父七峰(2)  
 堂平山、剣ヶ峰、大霧山 成川 茂雄  
 京王線沿線を歩く(2)  
 八幡山から実篤記念館 関口 洋介  
 秋祭り諏訪神社とユガテ探訪 町田尚夫/関口洋介  
 ◆北区史を考える会会報  
 〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10  
 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊  
 ◇110 2013.11 B5 16p  
 飛鳥山碑文と王子田楽 ほか雑記  
 その1 高木 基雄  
 第366回 講演会  
 豊島郡衙の発掘と成果 中島 広顕  
 第369回 月例研究会 明治維新後の東京近郊農村における農民の変貌—特に北区を中心とした荒川流域 倉木 常夫  
 第370回 講演会 近世都市江戸の水害とその対策—郭内・郭外の区分と神田川右岸堤防の構築 鳥越多工摩  
 第368回 見学会 理化学研究所板橋分所 素形材工学研究室 馬場 永子  
 北区にあった映画館—昭和37年 林 健一  
 ◆季刊 Collegio 之 潮  
 〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505

TEL042-328-1503 2005年創刊  
www.collegio.jp

◇54 2013.11 B6 72p 300円  
高知県幡多郡黒潮町入野地域の地  
震環境 松田 磐余  
長谷川潔に出会うころ 河野 保雄  
大岡信さんと僕 遠藤 茂  
フランス古地図音楽散歩(36)  
サントレノ通り・続 関根 敏子  
縄文遺跡と地形  
一品川区大森貝塚 安孫子昭二  
坂とCMが出会うとき(1) 渡邊 一夫  
せたがや中世拾い歩き(5) 塚め  
ぐりー「境界」への小さな旅 谷山 敦子

◆個人誌 散歩の手帖 木村成生  
〒197-0023東京都福生市志茂113-2  
rakkodou.cside.com

◇26 2013.10 A5 45p  
鳥勸進の起源 第2部  
鳥勸進にみる西日本と東日本 木村 成生

◆駒沢史学 駒沢史学会  
〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1  
TEL03-3418-9272

◇81 2013.12 A5 152p  
「伝説」と「史実」のあいだー明  
治神宮・「清正井」・井伊直弼を  
めぐる歴史認識 小泉 雅弘  
近世前・中期における東海道三島  
宿の常備人馬数の変遷 厚地 淳司  
近世における旗本家本貫地の形成  
と特質ー相模国を事例として 澤村 怜薫  
摂丹境永沢寺の僧録支配とその変  
遷についてー特に姫路領の曹洞  
宗支配を中心に 永井 俊道  
史料紹介 南洋群島開発調査委員  
会の設置と廃止についてー制度

的位置と性格に焦点をあてて 川島 淳  
書評  
新井浩文著『関東の戦国期領主  
と流通ー岩付・幸手・関宿一』  
長谷川幸一  
木村康裕著『戦国期越後上杉氏  
の研究』 佐藤 貴浩

◆城郭だより 日本城郭史学会会報  
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私  
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇83 2013.10 A4 6p  
豊臣期大坂城石垣天端再出土ー二  
年後の豊臣時代石垣公開にむけ  
て  
城下町から陣屋町・宿場町へ  
ー兵庫県佐用町平福の変遷 岩佐 悟  
最近の城郭ニュースから 津山城  
天守が仮復元／京御土居の発掘  
調査／第五台場の遺構  
最近の注目される城郭関係図書か  
ら アクロス福岡文化誌『福岡  
県の名城』、丸山雍成著『邪馬  
台国・魏使が歩いた道』、山田  
邦明著『日本史のなかの戦国時  
代』、鳥取市教育委員会『史跡  
鳥取城附太閤ヶ平発掘調査報告  
書』  
各地の城郭研究会活動から／日本  
城郭史学会活動から

◆JOMON NPO法人国際縄文学協会  
〒105-0003東京都港区西新橋1-17-15  
北村ビル2階 TEL03-3591-7070  
2011年創刊 www.jomon.or.jp

◇3 2013.12 A4 64p  
2020年縄文革命 西垣内堅佑  
新たな縄文の国宝

国宝 縄文の女神  
コラム  
「国宝 西ノ前遺跡出土の土偶」  
を読み解くー第二の道具とし  
ての土偶 小林 達雄  
函館市縄文文化交流センター5  
つの物語 阿部 千春  
縄文文化と植生(3) 関 俊彦

◆杉並郷土史会会報  
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9  
新村康敏方 1973年創刊  
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/  
◇242 2013.11 A4 8p 400円  
大円寺 松平忠尚家の墓 新村 康敏  
東京文化財ウィーク2012例会記  
旧桃園川流域(阿佐ヶ谷村、馬橋  
村、高円寺村)の史跡を訪ねて 大河原善雄  
羅漢さんに呼ばれて長泉寺へ 伊東 勝  
私の本棚から(47)  
「隅っの四季」出久根達郎著 原田 弘

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会  
〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男  
方 TEL03-3844-2008 1987年創刊  
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/  
◇54 2013.10 A4 22p  
はじめに  
隅田川 むかし・いまに思う 片田 宏一  
平成25年度・隅田川市民交流実行  
委員会総会報告 片田 宏一  
追悼 糸井守理事長 篠田 裕  
総会記念講演会 環境行政の新動  
向と河川の新しい役割ー隅田川  
水系の水辺機能向上を目指して  
講師：糸井守 篠田 裕  
隅田川大学公開講座  
都心河川の親水化動向ー隅田川

の親水化の在り方を含めて  
講師：土屋十園氏 坂元 俊久  
セミナー 隅田川文化の発祥  
“向島百花園” 講師：佐原滋  
元氏 猪狩 達夫  
活動報告 隅田川クリーン大作戦  
活動報告 糸井 守  
隅田川大学公開講座  
文化実践講座4 向島百花園を  
散策し、俳句を創ろう！ 講  
師：岡部恒雄  
フィールドワーク(FW)24 多  
摩川河川敷散策に参加して 後藤 安子  
フィールドワーク(FW)25  
東京湾三番瀬の観察と交流 末永公一郎  
健康とウォーキング 金子 恵一  
隅田川おどり 四万十の日実行委  
員会 隅田川を訪問 片田 宏一  
会員便り  
神多野幸次氏 京橋で初の個展  
開催 糸井 守  
川と私・雑感 小堀 郁恵  
勝海舟フォーラム2013に参加し  
て 馬場 永子  
佐藤武レポート かつての絶滅危  
惧種 キンギヤツリを隅田川・  
桜橋下に植栽  
交流コーナー  
「水辺・緑地ウォーク」のあし跡  
(2013年1月～4月) 小木曾淑子  
第29回鮭の稚魚放流会 川野 守弘

◆西郊民俗 西郊民俗談話会  
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1  
大島方 年2000円 1957年創刊  
www11.ocn.ne.jp/~oinari/  
◇225 2013.12 B5 33p  
江島杉山神社の信仰 大島 建彦

民俗学から見る縄文文化の一端  
(上)―土偶・岩偶・上野原人・  
他 下野 敏見  
茨城県取手市小堀地区の川施餓鬼  
近江 礼子  
山形県酒田市立光丘文庫に収蔵さ  
れた「申渡」のアイヌ語日本語  
訳文に確認された交差対句につ  
いて 大喜多紀明  
兵庫の天狗像―昔話・伝説・世間  
話からの考察 高橋 成  
波照間島のクリヨン 小池 淳一

#### ◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク  
ハウス赤坂水川102 TEL03-3583-8290  
年2000円 1995年創刊 www.jpfaa.jp

◇73 2013.10 A4 24p

太地の鯨踊り

和歌山県東牟婁郡太地町

ユネスコ「無形文化遺産保護条約  
採択10周年記念シンポジウム」  
報告／「鹿島みろく」調査報告  
書／太田良達男理事ご逝去

日本の祭り in 2013 雄勝法印神  
楽保存会に地域伝統芸能大賞／  
平成25年度民俗芸能学会飯田大  
会／平成25年度第33回伝統文化  
ポラ賞

東日本大震災・郷土芸能復興支援  
のプロジェクト事業 報告 民  
俗芸能で広がる子どもの世界／  
感想文／第3次支援活動報告  
祭暦 2013 10月下旬～2014 1  
月中旬

かながわ伝統芸能祭 地芝居2014  
2014年3月2日(日)／南魚沼市民  
会館25周年記念 南魚沼市歌舞

伎公演 南魚沼市の農村歌舞伎  
競演報告／追悼 下條歌舞伎保  
存会(長野県)小池恒久会長逝く  
地芝居探訪(48) 湖西歌舞伎公演  
／大桃の舞台公演／戸沢花湖蝶  
歌舞伎／青柳歌舞伎の夕べ／黒  
沢尻歌舞伎／祇津東町歌舞伎  
地芝居見聞(12) 秋川歌舞伎あき  
る野座 しょうが祭／飛騨・美  
濃歌舞伎大会えな2013 北河 直子  
地芝居あれこれ(12) 伴走する人  
々―西塩子の回り舞台から 蒲池 卓巳  
地芝居公演情報 10月下旬～12月  
「マレの会」が行く韓国芸能交流  
の旅 マレの会、韓国・高敞農  
業と出会う！ 参加記 山下 正美  
秋～冬の芸能イベント情報 2013  
民俗楽器(49) 『百鬼夜行絵巻』の  
付喪神―手足が生えた琵琶と箏  
山本 宏子  
紙上講座

ヨーロッパに残る中世の名残 中坪 功雄  
会員紹介 獅子たちの里 三木 筒井 敏行

#### ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146  
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇257 2013.11 A4 2p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業

◇258 2013.12 A4 2p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業(2)

◇259 2014.1 A4 2p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業(3)

#### ◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1  
梶原方 1991年創刊

tamatiken.web.fc2.com

◇108 2013.10 B5 14p

第82回例会報告 史跡玉川上水の  
発掘調査―小平都市計画道路  
3・4・23号国立駅大和線の整備  
に伴う発掘調査 梶原 勝

新刊案内 『下宅部遺跡Ⅳ 漆工  
関連資料調査報告書』

地域史情報室 平成25年度東村山  
考古学講演会／平成25年度豊島  
区立郷土資料館歴史講座「中世  
豊島氏とその周辺」

#### ◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52  
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊  
www.tamashin.or.jp

◇152 2013.11 A5 126p

《特集 多摩の炭焼き》

多摩の製炭業の歴史―南多摩にお  
ける製炭のあゆみ、産業として

の変遷 山口 慶一

多摩ニュータウン遺跡からみた江  
戸近郊の炭焼き 長佐古真也

近世小野路村小島家における炭焼  
き 福田 敏一

多摩丘陵産のブランド・黒川炭を  
焼く―最後の伝承者・市川家の

見聞録 村田 文夫

多摩の炭―近世の市と中世の火鉢  
齋藤 慎一

狭山茶づくりと炭の活用  
工藤宏／三浦久美子

洋風建築への誘い(41) 小平のラ  
ンドマークと呼びたい―がす資

料館 伊藤 龍也  
建物随想記(36)  
多摩に復元された赤煉瓦 酒井 哲

多摩の食文化誌(13)

雑穀栽培と都市化 増田 昭子

多摩のみほとけ(15) 国立市南養  
寺 木造千手観音坐像 齊藤 経生

本の紹介

横浜市歴史博物館編『特別展  
島山重忠―横浜・二俣川に散

った武蔵武士―』 菊池 紳一

五十嵐濱藻・梅夫研究会編『翻  
刻 八重山吹―武州大谷村

女流俳人五十嵐濱藻の連句集  
―』 佛淵 健悟

福生市教育委員会編『文化財総  
合調査報告書第三十四集 福

生の砂利線・渡船』 山田 淳一

まちの情報ハブ・図書館(15)  
檜原村立図書館 永田 治代

情報 多摩の博物館だより

◆地方史研究  
地方史研究協議会(発売:岩田書院)

〒111-0032東京都台東区浅草5-33-1-2F  
年6600円 1951年創刊 chihoshi.jp

◇365 (63-5) 2013.10 A5 132 1143円

《大会特集Ⅱ  
“伝統”の礎―加賀・能登・金沢の地域史》

会告 2013年度 第64回(金沢)大  
会・総会

第64回大会を迎えるにあたって  
“伝統”の礎―加賀・能登・金沢

の地域史  
常任委員会／第64回大会実行委員会  
(問題提起)

古代北加賀地域における内水面交  
通の様相 和田 龍介

「倭の玉器」とコシ 河村 好光  
板碑研究の現状と課題―珠洲市野  
々江本江寺遺跡出土の木製板碑

をめぐって 三浦 純夫  
能登国守護に関する一考察—中世  
の伝統的職制の確立とその変遷  
北村 周士  
加賀藩の産物方政策と諸産業 袖吉 正樹  
加賀藩十村の政治能力と蔵書文化  
工藤 航平  
「伊能忠敬測量日記」の活用と歴  
史教育 河崎 倫代  
日記にみる幕末期の十村 高堀伊津子  
士族福祉論の系譜—「救貧より防  
貧」の思潮を生んだ加賀百万石  
リストラ士族たちの意地 平野 優  
加賀門末の真宗信仰 太多 誠  
工芸の「伝統」  
—阿部碧海の生涯にみる 森 仁史  
論文 嘉永・安政期における京都  
紅花問屋の取引—最上屋喜八家  
文書を中心として 森田 昌一  
動 向  
理論と実務が交わる場—日本ア  
—カイブズ学会2013年度大会  
参加記 中臺 綾子  
「ピースおおさかのリニューア  
ルに市民・府民の声を！シン  
ポジウム」参加記 田中 はるみ  
「ピースおおさかのリニューア  
ルに市民・府民の声を！シン  
ポジウム」と「ピースおおさ  
か見学会」に参加して 西村 健  
伊予史談会創立百周年を迎えて  
高須賀康生  
加能地域史研究会スプリングセ  
ミナー参加記 田中 丈敏  
展示批評  
館山市立博物館平成24年度特別  
展「幕末の東京湾警備」を観  
て 神谷 大介

大磯町郷土資料館企画展「大磯  
の災害—かつてこの地で起き  
たこと」を見学して 水野 保  
書評 地方史研究協議会 第62回  
(庄内)大会成果論集『出羽庄内  
の風土と歴史像』 齊藤 和輝  
研究例会報告要旨 2013年5月11  
日例会要旨 富士山宝永噴火と  
その復興過程—相模国千津島村  
・皆瀬川村を中心に 辻林 正貴  
問題提起(再掲載) 中世加賀国倉  
月荘の「村」—「伝統」が生まれ  
る場の成り立ち 若林 陵一  
◆伝 え 日本口承文芸学会  
〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25  
白百合女子大学 間宮史子研究室  
Tel.03-3326-5144 年4000円 1987年創刊  
ko-sho.org  
◇53 2013.10 B5 10p  
口承文芸学会のこれから 間宮 史子  
第64回日本口承文芸学会例会報告  
テーマ「二年目の「3.11」から「聴  
く」「語る」そして記す：「伝え  
る／伝わる」をめぐって」  
第37回日本口承文芸学会大会  
公開講演報告1 間宮史子氏「二  
〇〇歳を迎えたグリム童話—  
その現代における意義—」 齊藤 君子  
公開講演報告2 酒井正子氏「哭  
きからウタへ—琉球と日本本  
土の葬送歌をめぐって—」 鈴木 寛之  
公開講演報告3 民俗資料の口  
承文芸と基層をなす神話—大  
島建彦氏の講演「江戸東京の  
民俗信仰」を拝聴して 廣田 収  
研究発表報告1 山田栄克氏「香  
川県三豊市の浦島伝説」、川

島理想氏「現代伝説・伝承考  
—インターネットにおける現  
代伝説の考察—」、田畑博子  
氏「棄老説話(難題型)の源流」  
飯倉 義之  
研究発表報告2 楊静芳氏「中  
日昔話における蛇婿の比較—  
蛇婿と姉妹型を中心に—」、  
山口建治氏「武神とは何だ  
ったのか—五道(大)神から五  
頭天王・牛頭天王へ—」 立石 展大  
研究発表報告3 大谷洋一氏「カ  
ムイかにアイヌへの意思伝達  
について」、深澤美香氏「加  
賀家文書「菊のかんざしみだ  
れ髪」からの眺め 蝦夷通詞  
によるアイヌ語版「お吉清三」  
口説」 丹菊 逸治  
研究発表報告4 荻原真子氏「ア  
イヌの叙事詩『メノコユカラ』  
をめぐって」、熊野谷葉子氏  
「短詩型歌謡の機能抱合カー  
ロシアのチャストゥーシカを  
例に一」 志賀 雪湖  
シンポジウム報告 「口承文芸」  
「民俗」研究の可能性を問う  
—昭和初期からの照射 根岸 英之  
公開語りセミナー 「江戸・深  
川のくらしと語り—七不思議  
・相撲の話など—」 高塚さより  
◆東京産業考古学会 NEWSLETTER  
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403  
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火  
止4-8-43 袖須紘一方 FAX048-479-7490  
tias3.web.fc2.com  
◇103 2013.11 A4 6p  
「岩手・宮城の産業遺産の被災状

況とその動向」研究会開催  
報告 研究会 岩手・宮城の産業  
遺産の被災状況とその動向 平井 東幸  
研究発表募集のお知らせ  
短信 大戦時の航空機エンジン 袖須 紘一  
報告 産業考古学基礎講座—産業  
考古学とその課題 産業遺産そ  
のものを野外博物館とする試み  
スウェーデンの実施例を中心に  
吉田 修  
第6回理事会の議事概要／第7回理  
事会の議事概要  
博物館シリーズ(13) 我が国の宇  
宙を開いたペンシルロケット 小野田良智  
新刊紹介 『輝く技術光る企業  
世界に誇る東京のモノづくり』  
東京都産業労働局 2013年10  
月 非売品 多田 統一  
茨城県龍ヶ崎市の赤煉瓦建築物(1)  
「旧諸岡邸の赤煉瓦門柱と塀」 八木 司郎  
◆練馬郷土史研究会会報  
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31  
吉越正博方 Tel.03-3996-4454  
1956年創刊  
◇348 2013.11 A4 4p  
豊島氏関係史料を読む(17) 尾崎  
大膳家の相続問題と宮城四郎兵  
衛尉 伊藤 一美  
東京市養育院と彼のひとびと(後  
篇7)—児玉花外・島崎こま子・  
長谷川利行・物集高量 日向康三郎  
初めてのロシア、シベリア鉄道の  
旅 沖 武人  
◆練馬古文書研究会会報  
〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603  
鈴木方 Tel.03-3920-3627 1985年創刊

www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/  
◇51 2013.12 B5 4p  
「竹下新田」の歴史と“謎” 鈴木 義範  
古文書を通してみる山(木)の伐採  
から撤出 羽鳥 孝明  
戸外学習講座 拷問処刑具の凄さ  
と古文書の輝き 中村 澄雄

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4  
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264  
年2500円 1987年創刊

◇105 2013.12 B5 6p  
第106回例会 太田道灌の「江戸  
河越通路」—消えた江戸五口の  
上州道 下島 邦夫  
第15回地名談話会 西武鉄道に新  
駅(新桜台)を開設させる、ため  
について 鈴木 曹元  
第18回地域観察会  
白子川上流を歩く (飯塚)

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学日本常民文化研究所内  
TEL045-481-5661 年5000円  
www.soc.nii.ac.jp/nmg/

◇148 2013.10 B5 120p

特集 第37回日本民具学会新潟大  
会シンポジウム「鉄と民具—モ  
ノをつくる・ひろめる・つかう」

基調講演

生活からみる近代金物誌 朝岡 康二  
報告

三条鍛冶職人の今

—その継承と受容 香月 節子

鍛冶をとりまく現況 日野浦 司

貸鋏からみた鋏の変化—登録有

形民俗文化財の瀬下資料から  
三井田忠明

流通民具の形態美と規格化—大阪

府枚方市の踏車を素材に 橋本 貴明

二枚棚構造とオモキ造り—富山湾

周辺地域のテントに見る造船技

法 廣瀬 直樹

日本海沿岸地域にある近代の石見

焼 阿部 志郎

近世農書から見た農具の使用事例

—その(1) 唐箕 桂 眞幸

ひろば

第135回日本民具学会研究会報

告「民具研究のいま—それぞ

れの模索—」 松本 美虹

第136回日本民具学会研究会報

告「民具整理と保管体制のこ

れからを考える」 磯本 宏樹

書評 小川直之監修 こどもくら

ぶ編『シリーズ昔の農具』①—

③ 加藤 隆志

展示批評

横浜市歴史博物館「千歯扱き—

倉吉・若狭・横浜—」 榎 美香

埼玉県立歴史と民俗の博物館

特別展「職人のわざとカタ—

商品の誕生—」 玉井 幹司

埼玉県富士見市立難波田城資料

館「ベッドタウンの制服史」大藪 裕子

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部 大日方研究室内

1962年創刊

◇86 2013.12 B5 78p 1500円

《特集 声と文字の近世メディア》

特集にあたって 民衆史研究会委員会

『歎異抄』はなぜ「親鸞の言葉の

記録」として疑われなかったか

—文字による学びと教義の確立

塩谷 菊美

心学教化の声と文字 高野 秀晴

上武両国における文政改革の展開

と『教諭書』 児玉 憲治

書評

藤田和敏著書『近世郷村の研究』

鈴木 直樹

外村大著『朝鮮人強制連行』 佐川 享平

◆MUSEUM EYES 明治大学博物館

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1

TEL03-3296-4448 1995年創刊

www.meiji.ac.jp/museum/

◇61 2013.10 A4 16p

特集 2013年度明治大学博物館特

別展「天平の華 東大寺と国分

寺」2013年10月19日(土)~12

月12日(木)

延岡藩内藤家文書交流事業 作文

コンテスト&講演会/作文コン

テスト受賞者一覽

展示&リサーチ 神代雄一郎が構

想したデザイン・サーヴェイ 青井 哲人

市民レクチャー 縄文の貝輪と身

体装飾 阿部芳郎/河端歩/星真朱

学芸研究室から 内藤家文書研究

の促進及び旧領延岡市との交流

事業—「譜代大名内藤家文書の

素顔」展から 日比佳代子

韓国公州市石社里博物館開催の特

別展に岩宿遺跡出土石器(重要

文化財)を出品しました

MUSEUM EYES

収蔵室から

山陰の民衆と民衆運動 海塚 有里

南山大学協定通信

◆明治維新史学会だより

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒

澤大学第一研究館 文学部歴史学科 小泉

雅弘研究室 2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇20 2013.10 B5 12p

2013年度明治維新史学会秋期大会

の案内

〈2013年度明治維新史学会秋期大会報告要旨〉

幕末の御親兵—その制度と役割 野村 晋作

文久元・二年における長州藩士の

海外渡航 山田 裕輝

板垣退助岐阜遭難事件再考—新聞

・顕彰運動・『自由党史』(仮) 中元 崇智

2013年度第43回明治維新史学会大

会記事/2013年度大会総会記事

〈2013年度第43回明治維新史学会大会

討論要旨〉

清水裕介氏「明治維新と在村文芸

—南多摩郡多摩村における和歌

を中心に—」 吉岡 拓

金澤裕之氏「万延・文久期の海軍

建設—艦船・人事・経費—」 神谷 大介

田崎公司氏「民権家「婦人」の近

代—首都民権と激化事件—」 西澤 直子

中山一幸氏「明治十年代における

旧藩主家と士族銀行—柳河第九

十六銀行を事例に—」 寺尾 美保

布施賢治氏「育英事業と同郷会・

旧藩団体・将官養成会・郡—米

沢有為会と米沢教育会における

育英観と人材観を事例として—」

宮間 純一

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学第一研究館 文学部歴史学科

小泉雅弘研究室 2004年創刊

www.ishinshi.jp

◇10 2013.10 B5 78p  
賤民廃止令の史料論的考察 滝島 功  
明治初期における行政警察の形成  
湯川 文彦  
台湾出兵における大久保利通一  
つの評議と北京談判を中心とし  
て 後藤 新  
書評  
矢部洋三著『安積開墾の展開過  
程』 落合 功  
中村文著『信濃国の明治維新』上條 宏之  
新刊紹介 犬塚孝明著『海国日本  
の明治維新一異国船をめぐる一  
〇〇年の攻防』 岩下 哲典

◆郵便史研究 郵便史研究会  
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7  
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円  
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp  
◇36 2013.12 B5 58p 2000円  
イギリス草創期の外国飛脚につ  
いてーヨーロッパ大陸との書簡通  
送の歩み 星名 定雄  
日中両国の近代化と郵便主権の確  
立ー外国郵便局に注目して 麦力開色力木  
特別報告  
郵政博物館の誕生について 井上 卓朗  
資料紹介 旧刊紹介(10)  
『日通十五年史』 鈴木 克彦

◆小田原史談 小田原史談会  
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18  
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円  
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp  
◇235 2013.10 A4 32p  
美声を欲せんとすれば佐奈田館 原 義照  
鷹三代、高橋組 高橋 元治  
平塚天徳寺と真田與一公 三浦 玄苗

初代佐奈田館本舗のはなし 剣持 芳枝  
三代目辻村甚八郎と吉田島村(下)  
藤平 初江  
小田原の街角写真今昔(1)(岡部忠  
夫先生のアルバムより) 植田 士郎  
小田原の郷土史再発見 町田村願  
成寺と久野村神山権現社の創建  
秘話 石井 啓文  
小田原大秘録(巻一から巻三まで  
の読み下し文) 第五回巻二の二  
鳥居泰一郎  
小田原藩浅田兄弟の敵討  
『孝貞義鑑』散策(17) 鈴木 好

◆神奈川県立公文書館だより  
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1  
TEL045-364-4456 1994年創刊  
www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/

◇30 2013.11 A4 8p  
表紙 20年の変わらぬ決意  
収蔵資料から見る神奈川の歴史  
ー検証・過去の震災記録  
公文書館20年のあゆみ  
神奈川県立公文書館一開館20周年  
記念事業のご案内 開館20周年  
記念特別展示「記録は時を越え  
てーかながわのアーカイブズ」、  
開館20周年記念特別講演「近現  
代史研究とアーカイブズ(仮  
題)」加藤陽子氏  
公文書館資料徹底利用法ーアーカ  
イブズ講座で取り上げた事例  
公文書館設立20周年を迎えて 古藤 哲朗  
開館20周年記念事業

◆神奈川県立歴史博物館だより  
〒231-0006横浜市中区南仲通5-60  
TEL045-201-0926 1967年創刊

ch.kanagawa-museum.jp  
◇195 (19-3) 2013.12 A4 8p  
表紙 高取袖渡蟹水盤(部分) 初  
代宮川香山作 大正5年 田邊  
哲人コレクション  
明治、横浜の花 眞葛焼の魅力  
特別陳列「眞葛焼ー田邊哲人コ  
レクションと館蔵の名品ー」に  
寄せて 小井川 理  
コレクション展示 アメリカ人女  
性が巡った明治の日本 嶋村 元宏

◆かまくら女性史の会 Newsletter  
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10  
NPOセンター鎌倉気付  
メールボックス26  
◇1 2013.5 A4 2p  
ごあいさつ 横松佐智子  
文書館設置の要望書について  
◇2 2013.6 A4 2p  
『かまくら今昔抄60話 第三集』  
発行 清田 昌弘  
◇3 2013.7 A4 2p  
日本国憲法とベアテ・シロタ・ゴ  
ードン 郡司 春乃  
パヴロバ関係資料の保存に関して  
◇4 2013.9 A4 2p  
小町通り喫茶店「門」の閉店 曾原 糸子  
雨の中パヴロバ姉妹関係資料を移  
転  
◇5 2013.10 A4 2p  
エリアナ・パヴロバの没後展 鈴木真紀子  
「聞き書き」…記憶を記録する  
◇6 2013.12 A4 2p  
『かまくら女性史』出前朗読会  
みんなで語るかまくらの今昔 西 弘子  
「ファンタスティック☆ライブラリ  
ー」を終えて パヴロバ姉妹の

展示会&上映とトーク

◆神・人・自然 「神・人・自然」研究会  
〒259-1132神奈川県伊勢原市桜台2-7-17  
TEL0463-95-3831  
◇3 2013.10 A5 63p  
《特集 草木虫魚》  
特集にあたって 佐藤 智敬  
三角の形として考える「伝承」 田中 宣一  
ことばと草木虫魚ー民俗学的方法  
としての「考証」再考 加藤 秀雄  
トピックス 福島県大沼郡三島町  
西方の虫送り 佐藤 智敬  
庄内地方稲荷探訪記ー稲荷信仰の  
把握に向けて(1) 白狐山と冷  
泉寺の稲荷 佐藤 智敬  
諸国通信 カドに立つ人 亀井 好恵  
書誌紹介  
亀井好恵著『女相撲民俗誌ー越  
境する芸能』 宮田 妙子  
丸尾依子他編著『やまなしの道  
祖神祭りーどうぞじん・ワン  
ダーワールドAGAINー』佐藤 智敬  
丸尾依子編著『おふどうと名乗  
った家ー豪商大木家の350年  
ー』 佐藤 智敬  
篠崎茂雄、宮田妙子編著『昭和  
のおもかげー暮らしのなかの  
風景ー』 亀井 好恵  
◆市史通信 横浜市史編集室  
〒220-0032横浜西区老松町1 横浜市中  
央図書館地下1階 TEL045-251-3260  
2008年創刊  
www.city.yokohama.lg.jp/somu/housei/sisi/  
◇18 2013.11 A4 12p  
東京オリンピックと横浜(1) 松本 洋幸  
昭和初期、中区火災保険団 百瀬 敏夫

モダン横浜のマッチラベル 羽田 博昭  
資料紹介

「互楽荘」案内パンフレット 百瀬 敏夫  
開架資料紹介 『汐見台ニュース』  
羽田 博昭

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会  
〒231-0021横浜市市中区日本大通3  
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169  
年2000円

◇62 2013.10 B5 4p

研究例会 第89回例会／研究例会  
第90回例会

情報ネットワーク 新刊情報／展  
覧会情報／講演会・シンポジウ  
ム情報 第9回地域史シンポジ  
ウム「明治維新と茨城の歴史」

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-  
19-104 寺田兼方 1980年復刊

◇133 2013.12 B5 28p

「考古学」の興味にふれてみて 梶山 昇  
円形と方形の考古学

—今和次郎と認知考古学 桜井 準也  
大和市宗昌寺所蔵の遺物 伊藤 郭

さば神社を考える(20)  
4.7 鉄をつくる(4) 西村堅一郎

心の考古学まで(6) 古要 祐慶  
諸先生の想い出

平成25年度 夏の勉強会 「大庭地  
区の遺跡について」を聴く 菅野 博仁

歴史フォーラム「発掘された東海  
道藤沢宿」に参加して 川副すみ江

グループ活動の記録(8) 「澁谷城  
址」長後説の原典を探る(第10  
回活動報告) 永山 鶴一

「北越雪譜」(秋山の古風)から考え

る—縄文的な暮らし 染谷 七恵

◆全国地名研究交流誌 地名談話室

日本地名研究所  
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10  
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106  
www8.ocn.ne.jp/~timeiken/

◇28 2013.11 B5 10p

「地名は大地に刻まれた人間の過  
去の索引である」 谷川 彰英  
市民が取り組む「古い地名」調査

『亀井戸』という地名 竹松 亨  
日光例幣使道の設定と十三宿場の

機能について 茂木 晃  
鉦山と「鬼」伝承 中平 勝

長良川の鵜飼について 土屋 一  
メドツ河原 嶋脇 芳勝

◆扣之帳 扣之帳刊行会  
〒250-0021神奈川県小田原市早川60

青木良一方 TEL0465-22-8852  
年2500円 2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇42 2013.12 A5 110p 500円

江戸城下を建設した小田原出身者  
たち—江戸小田原町小史と『小  
田原橋』の高欄の小田原移設を

めぐって 田代 道彌  
二人のマルチ文化人

—鷗外と堤清二 岸 達志  
ボクの映画館(22) ビターナイギ

リス・コメディ『マダムと泥棒』  
平倉 正

備中伊勢氏の御家老の家系「笠原  
晁氏」(その3 新九郎薬師) 今川 徳子

桜町の百姓金治 あらため仲右衛  
門 尾上 武

小田原箱根の句碑

—現代俳句の句碑を巡る 佐宗 欣二  
—日本人の生命観 間中 喜雄

世界の海を行く(上) 本多 博  
お堀端の桜並木 とく山たかし

樸々先生逝く 井上 敬雄  
詩二編(樸々先生追悼) 野瀬 綾子

「郷土文化」新聞の頃(2) 青木 良一  
始まりの人(7) 藤原惺窩(上) 茂木 光春

おけいのデンマーク遊学日記(5) 山浦 敬子

◆民具マンスリー

神奈川県日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊  
◇548 (46-8) 2013.11 A5 24p 350円

特集号 テーマ「日記」  
特集「日記」座談会(後)

井上攻／佐藤広／永島政彦  
／増田昭子／安室知／コー  
ディネーター 鈴木通大

キザミタバコ 点火・喫煙にまつ  
わる民具—富山県南砺市(旧上

平村)楮、西赤尾の場合 森 俊  
民具短信 丸窓唐箕

—「明治の農具絵図」と民具 桂 眞幸  
◇549 (46-9) 2013.12 A5 24p 350円

上越地方の曲身踏鋤の伝来と展開  
(上)—地域の民族構成とルーツ

復原の試み 河野 通明  
民具短信 私のおしゃもじ考(5)

—明治22年のフィールドワーク  
『居宅ノ戸口ニ掲出セル魔除厭

勝ノ類』その1 加藤 節男  
書籍紹介 『偽文書・由緒書の世

界』山本直孝・時枝務編 時枝 務

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)  
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31

TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊  
◇133 2013.10 A5 112p 680円

《特集 延喜式の布》  
エッセイ 「国宝 大神社展」をふ

りかえて 池田 宏  
『延喜式』の「布」の種類 竹内 淳子

幣帛と祓えの料としてのヌサ 茂木 貞純  
大神宮式と紡績具 石垣 仁久

伊勢神宮の神衣祭 藤森 馨  
延喜式神名帳に見る織物の神 嵐 義人

小論文  
『延喜式』にみる染織 藤井 健三

延喜式の度量衡 新井 宏  
口絵解説 神社本庁蔵・殿内調度

及び御神宝裂地資料について 神保 郁夫  
八幡宮紹介 釧路八幡神社(北海

道釧路郡釧路町)  
新刊紹介 『事典 神社の歴史と

祭り』岡田莊司・笹生衛編／『日  
本の神話と神様手帖 あなたに

つながる八百万の神々』秦まゆ  
な著

◆歴史よこはま 横浜歴史研究会  
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21

加藤導男方 1984年創刊  
◇69 2013.11 B5 52p

平成25年上期行事を終えて 加藤 導男  
《特集 道》

武田信玄の軍用道路「棒道」論争  
について 高野 賢彦

竹内街道 間瀬二三夫  
徳川家康の新東海道建設、天下を

制す 横山 忠弘  
熊野古道伊勢路をあるいてきまし

た 齊藤 宗久  
 神奈川歴史研究会創立30周年記念  
 式典・祝賀会報告 (加藤)  
 横浜郷土史団体連絡協議会 第8回  
 定期大会報告  
 江戸の歴史研究会主催 第4回研究  
 会報告  
 足利一族の名門吉良氏の興亡録  
 (前) 竹村 紘一  
 推理で楽しむ古代史第4回 蛭田 喬樹  
 『皇運美翼』 山本五十六の想い 加藤 導男  
 ヤマト史観雑考(1) 間瀬二三夫  
 不比等の出生伝承をめぐって(5) 石川 勝義  
 会員のひろば  
 歴史一口メモ(30) 華族の巻(9)  
 前部 謙蔵  
 平成25年度・春の歴史散歩「根  
 岸森林公園周辺のかくれた歴  
 史を探訪する」  
 エッセイ 私と四国遍路(7) 齊藤 宗久  
 横浜歴史研究会講演「三遊亭歌  
 奴師匠の落語を楽しむ会」開  
 催の報告  
 横浜歴史研究会監修 ヴェジュア  
 ル版「神奈川県の歴史」刊行  
 について  
 住まいの歴史 齊藤伊三郎  
 保科正之 清水 漢  
 ご家門大名「栄転への道」 長尾 正和  
 鎌倉戦乱シリーズ(1) 山崎 宣晴

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会  
 〒950-2022新潟市西区小針6-29-1  
 鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊  
 www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/  
 ◇389 2013.10 A5 94p  
 《新潟県民俗学会創立60周年記念特集》

新潟県民俗学会初代 小林存  
 小林存先生の思い出 蒲原 宏  
 ジャーナリストとしての小林存  
 と『高志路』創刊の頃 岩野 邦康  
 「編み衣」のアンギン発掘者 小  
 林存—「アンギン考」を読み解  
 いて 陳 玲  
 昭和三十年代の『高志路』を語る  
 私の入会したころ 佐藤 和彦  
 雑誌『高志路』に育てられて 高橋 実  
 会の事務所が新潟大学農学部  
 にあった頃 大沼 淳  
 八木神社の太々神楽 近藤 忠造  
 メガネウサギ(眼鏡野兎)考  
 一野兎の異名・特殊名(1) 天野 武  
 続・植物を求める旅—富山県下新  
 川郡朝日町羽入のジュンレイマ  
 ツ・オウレン採取習俗 森 俊  
 旧山古志郷の山村塩谷区の一族結  
 束の民俗 広井 忠男  
 近世文書でよむ蒲原山間村の生  
 活(3) 室谷村の山稼ぎ夫食借  
 用願い 中村 義隆  
 越後路の柳田國男 鶴巻 武則  
 ◇390 2013.12 A5 65p  
 脱化と塵界—良寛と菅真澄 松本三喜夫  
 「さるすべり」の方言  
 一コチヨコチヨノキ発掘の道 柄澤 衛  
 小林存の中魚沼探訪旅行と「編み  
 衣」のアンギン発掘の道 陳 玲  
 神社合祀  
 一十日町市川治地区の場合 金田 文男  
 妙見信仰資料 佐藤 和彦  
 芸人の世界の民俗—噺家、講師、  
 色物芸の世界 広井 忠男  
 ツヤメッコ(野兎の異名)など  
 一野兎の異名・特殊名(2) 天野 武  
 「高志路」六十周年記念特集号

表紙を飾った二百号記念写真 高橋 実  
 越後路の柳田國男補遺 鶴巻 武則  
 松浜稲荷神社祭礼見学 高橋 郁子

◆長岡あーかいぶす

長岡市立中央図書館文書資料室  
 〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20  
 長岡市立互尊文庫 2階 TEL0258-36-7832  
 2005年創刊  
 www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/  
 ◇13 2013.10 A4 4p  
 文書の虫—「北越新報」に見る公  
 会堂の歴史 桜井奈穂子  
 災害と文書資料室(8)  
 災害アーカイブの現状と課題  
 田中洋史/下玉利紀子/田中祐子  
 長岡の碩学(13)  
 高頭仁兵衛(1877~1958) 金垣 孝二  
 文書資料室ホームページ  
 全面リニューアル! 下玉利紀子  
 新たに公開した所蔵資料一覧  
 史料保存こぼればなし(5) 石井 順子

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会

〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2  
 TEL025-688-5335 1998年創刊  
 ◇16 2013.11 B5 196p  
 表紙解説 鯉図 棟方志功  
 新潟県文人研究 既刊号目次  
 鈴木虎雄と故郷 中野目 徹  
 和刻本「六書略・七音略」(鄭樵撰)  
 について 高橋 良政  
 忘れられた墨竹画の名手・関口雪  
 翁(2)—美作津山藩への出仕と  
 江戸における足跡 杉本 欣久  
 平野秀吉の偉業と会津八一につ  
 いて 榎田 善衛  
 ノーベル平和賞を受賞した小千谷

市出身の医学者 横山正松博士  
 中村 忠夫  
 村山半牧の落款(雅号)の変遷につ  
 いて 羽賀 吉昭  
 鈴木其一笔《亀田鵬斎像》(亀田  
 家蔵)について—東京芸術大学  
 蔵《亀田鵬斎像》と関連して 竹林 佐恵  
 新潟における赤峰瀬一郎について  
 田宮 覺  
 著述家 阪口五峰(2) 穂刈 隆  
 古野秀雄歌碑建立の周辺 旗野 博  
 丸山正三先生を偲んで 鈴木 仁  
 越後柏崎の寺社額、石碑、看板等  
 について(2) 高橋 克衛  
 井上文昌の事績 齋藤 倫示  
 會津八一関係の最近情報 池内 力  
 『春城八十年の覚書』に棹さして  
 會津八一の素顔 李 銘宗  
 阪口五峰著『新潟才人詩』分析の  
 一端 田 春 娟  
 『相馬御風宛書簡集』について(8)  
 一澤田政広 金子善八郎  
 御供掛帳にみる新発田藩溝口家旧  
 蔵の書画 宮武 慶之

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050  
 新潟大学人文学部史学研究室内  
 TEL025-262-6830 1968年創刊  
 ◇70 2013.10 A5 84p 1000円  
 町村合併と林野統一  
 一新潟県六日町地域の場合 芳井 研一  
 近代国際条約としての韓国併合と  
 前近代の礼観念—王冊立におけ  
 る席次 新城 道彦  
 資料紹介 昭和初期のトキ保護活  
 動—川上家所蔵写真帖・芳名録  
 を手がかりに 池田 哲夫

動向 文化財レスキューのネクスト・ステージを模索する一岩手県山田町で地元の郷土史研究会との交流研究集会を開催して 齋藤 瑞穂 書評・新刊紹介

矢田俊文・新潟県立歴史博物館編『虎勢道中記 越後編』『図版『虎勢道中記』越後を旅する』 原 淳一郎

永木敦子・井村哲郎編『古厩忠夫文庫目録—新潟大学附属図書館所蔵—』刊行に寄せて

永木敦子／井村哲郎

松本彰著『記念碑に刻まれたドイツ—戦争・革命・統一—』石田レイ子  
矢田俊文・長岡市立中央図書館文書資料室編『震災避難所の史料—新潟県中越地震・東日本大震災—』 吉川 圭太

◆まきの木 巻郷土資料館友の会  
〒953-0041新潟県西蒲区巻甲3069-1  
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇99 2013.10 B5 24p  
菱巻湖(2) 磯島 達典  
史料紹介 村送り状(2) 亀井 功  
古墳時代の須恵器甕について 細井 住浩  
春の研修旅行—米沢 山賀 誠  
巻郷土資料館だより／巻郷土資料館 平成25年度前期企画展

◆日本学研究  
金沢工業大学日本学研究所  
〒921-8501石川県石川郡野々市町扇が丘  
7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊  
◇16 2013.12 A5 240p  
中世前期における白山信仰日吉信仰全国伝播についての一考察

(1)—北陸を中心として 平泉 隆房  
伝統産業振興と地域活性化の関係性について 東 俊之  
近世・近代の伊勢講と参宮—埼玉県内の二・三の事例を通じて 石川 達也  
占領期「宗教法人法」の起草過程に関する一考察 清水 節  
史料 熱田神宮編年史料(稿本) 中世八 藤本 元啓

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所  
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145  
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇66 2013.10 A4 4p  
第11回飯田市地域史研究集会を開催しました 特集 古代の交通と地方社会—イナ・シナノとその周辺／研究報告・関連展示  
歴史研2013受賞者コメント 奨励賞 下條歌舞伎保存会編『下條歌舞伎保存会設立40周年記念誌』(会長 下嶋昭二さん)、堀親郎著「飯田藩主堀氏分知堀家の系譜考」(『伊那』1008号)

歴史ゼミ紹介—古代史／歴史ゼミ紹介—近世史  
飯田アカデミア第69講座 古代シナノの原像をさぐる—古典学の再生と地域史の方法を求めて／飯田アカデミア第70講座  
歴史研究所出前講座 美術博物館 歴史文化講座／定例研究会

◇67 2013.12 A4 4p  
旧南信濃村行政文書調査が終了しました／平沢清没後40周年ワークショップ「平沢史学を学び直す」を開催しました  
『飯田・上飯田の歴史』に想うこと

吉村 利文

歴史ゼミ紹介—近代史／歴史ゼミ紹介—満州移民研究  
飯田アカデミア第70講座 災害と歴史学、山村を見直す—地域史料調査の中から／歴史研究所出前講座 美術博物館企画展「お金の博物誌」講演会「下伊那の町村札・商品札」  
定例研究会／東野公民館連続講座

◆伊那 伊那史学会  
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
TEL0265-22-6017 年5500円

◇1026 (61-11) 2013.11 A5 78p 500円  
《市村咸人没後50周年記念特集》  
口絵 紫綬褒章を受賞された市村咸人先生 山内 尚巳  
市村咸人先生の学問とその遺産 今牧 久  
祖父 市村咸人とその家族 山村 陸人  
没後五十年 咸人の生涯 市村 建人  
市村先生 沢山の出会いからいくつか 神村 透  
市村咸人先生五十年祭にちなんで 一思い出すまに、市村文庫の写真乾板 宮澤 恒之  
市村咸人先生と学生時代の私 岡田 正彦  
『伊那』生みの親、市村先生 岡田 正彦  
市村咸人先生の蔵書印 林 登美人  
市村咸人先生著作・編著目録 市村咸人先生略年譜  
◇1027 (61-12) 2013.12 A5 50p 500円  
口絵 林芋村の二つの歌碑 原田 望  
香山莊栗里亭

日夏耿之介疎開の址 竹村 道生  
大正期における三宮殿下の天龍川下航記録(3)—郡を挙げて歓迎した朝香宮殿下 鎌倉 貞男

下伊那の青年たちが招いた講師  
—大正後期から昭和初期(3) 清水 迪夫  
思い出の講師(1)—水上勉(作家) 大原千和喜  
史蹟を尋ねて緑の旗は行く  
海外交流西の玄関 北九州玄界灘沿岸と筑紫の旅 今牧 久  
「万葉の島」志賀島 熊谷 英彦  
北部九州を旅して 丸山 俊一  
旅行の感想と印象に残った場所 高田 禮次  
旅行の感想と印象に残った場所 伊藤 芳久

伊那 第61巻総目次  
2013.1より2013.12まで  
◇1028 (62-1) 2014.1 A5 50p 500円  
《民俗特集》  
口絵 市村咸人先生が撮影した中馬の写真と村民たちの記念写真 櫻井 弘人  
市村咸人と民俗学—柳田国男・折口信夫・渋沢敬三との関わりを中心にして 櫻井 弘人  
南信州の十王信仰と十王堂(上) 岡田 正彦  
大勢の中で人成ったちゅうこと—飯田市龍江の明治生まれの語りから 大原千和喜  
河原乞食の正体 久保田安正  
木曾宮越宿の屋号について 神村 透  
七十年ほど前の矢高っ原 古川 清司  
“トヨさ”と剥製 原田 望  
各市町村史学会の動き  
第454回郷土巡礼 千代の歴史と地名を訪ねて

◆伊那路 上伊那郷土研究会  
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2  
TEL0265-78-6719 年5000円  
◇682 (57-11) 2013.11 A5 40p 500円

奪われた山林  
 一手良沢山の官有林奪回運動 宮原 達明  
 名工伝 守屋貞治(2)  
 一守屋家石工三代100年の足跡 田中 清文  
 小説「紫雲英の中で」 青山榛三郎  
 故赤羽篤先生に捧げる「『吾妻鏡』  
 における菅冠者討伐一件の歴史  
 的意義について」補遺(2) 赤羽 義章  
 高山の植物(14) タカネピランジ  
 南アルプスで見かけた植物(2) 田中 茂  
 文化短信 長野県の大変な教育遺  
 産である「公民館」の活用・充  
 実を 矢澤 静二  
 師匠の背中(2)より(61) 茸採り 若林 徹男  
 ◇683 (57-12) 2013.12 A5 48p 500円  
 《広域特集号》  
 第38回上伊那歴史研究会県外実地  
 踏査報告「茨城県と上伊那と  
 のつながりを探る」  
 実地踏査の概要 田村 栄作  
 水戸浪士の足跡を下仁田を訪ね  
 て 新井 幸徳  
 回天神社・筑波山神社と天狗党  
 福澤 浩之  
 弘道館と水戸学 北原 利雄  
 満蒙開拓青少年義勇軍内原訓練  
 所の跡を訪ねて 渡辺 弘行  
 県外踏査に参加して 北原 斉  
 大山守 大場家 郷土屋敷 池上 和子  
 霞ヶ浦と水戸藩南領の関連考 池上 昭  
 「満蒙開拓青少年義勇軍」と「上  
 伊那教育会」・「少年の塔」 矢澤 静二  
 名工伝 守屋貞治(3)  
 一守屋家石工三代100年の足跡 田中 清文  
 日本の子育て(6) 真の私 大槻 武治  
 糞虫(連作短歌3) 有賀 功  
 高山の植物(15) ヒロハユキザサ  
 南アルプスで見かけた植物(3) 田中 茂

文化短信  
 「ハソン」するは修繕すること 矢島 信之  
 古文書の窓(114)  
 鍼治秘伝に関する「神文之事」池上 正直  
 師匠の背中(2)より(62)  
 冬ごもり 若林 徹男  
 『伊那路』第57巻総目次  
 ◇684 (58-1) 2014.1 A5 40p 500円  
 明けましておめでとございます  
 「古筆要用集」から見た高遠藩の  
 御觸書 竹松 清文  
 名工伝 守屋貞治(4)一守屋家石  
 工三代100年の足跡 田中 清文  
 故赤羽篤先生に捧げる「『吾妻鏡』  
 における菅冠者討伐一件の歴史  
 的意義について」補遺(3) 赤羽 義章  
 短歌 破袋大黒柱鬼の首(4) 野溝 直人  
 “翻刻”『祖翁二百年回建碑録』—  
 明治期の伊那俳諧人が催した時  
 雨忌の記録 竹入弘元／翁悦治  
 文化短信 高遠石工「守谷家三代  
 100年の足跡」高遠地区石仏見  
 学会 山本 勝  
 考古あれこれ(23)  
 若森社遺跡出土の銅錘 米山 妙子  
 師匠の背中(2)より(63)  
 子供の稼ぎ(薪採り) 若林 徹男  
 ◆伊那民俗  
 柳田国男記念伊那民俗学研究所  
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
 年3000円 1990年創刊  
 ◇95 2013.12 B5 8p  
 表紙 下栗「中の観音」石仏／井  
 戸端の秋葉・金毘羅碑 今井 啓  
 路傍の神仏が担うもの一飯田市上  
 村文化財神祠碑等調査から 今井 啓

入門講座第Ⅱ期 柳田国男入門  
 (第1回)「柳田国男の生涯と民俗  
 学」 福田アジオ所長講演要旨  
 (2013年9月11日) 今井 啓  
 民俗調査報告書『飯田・上飯田の  
 民俗1』の頒布を開始しました  
 伊那谷の四季(冬)  
 ドンド焼きと小屋掛け 北原いずみ  
 報告 2013年度民俗芸能学会飯田  
 大会 今井 啓  
 ◆伊那民俗研究  
 柳田国男記念伊那民俗学研究所  
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
 年3000円 1990年創刊  
 ◇21 2013.12 A5 95p  
 柳田国男の博物誌的思考  
 一民俗と生物地理 篠原 徹  
 講演録 2011年度 柳田国男記念  
 伊那民俗学研究所総会記念講演  
 会 アカデミック民俗学の50年  
 福田 アジオ  
 資料紹介 「民俗の宝庫〈三遠南  
 信〉の発見と発信」新資料の紹  
 介(2) 南信新聞等にもみる柳田  
 国男の新野の盆踊り調査 櫻井 弘人  
 インタビュー 生物学者の語る父  
 ・柳田国男—柳田為正氏へのイ  
 ンタビュー 篠原 徹  
 特別寄稿 喜談書屋を飯田市に寄  
 贈するまでの心の記録 柳田富美子  
 「柳田国男館」宛 寄贈図書を一覧  
 伊那民俗学研究所 活動記録  
 ◆信 濃 信濃史学会  
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
 TEL0263-36-1785 年8400円

www.shinano-shigakukai.jp  
 ◇766 (65-11) 2013.11 A5 84p 900円  
 満州小特集Ⅱ  
 満蒙開拓青少年義勇軍と信濃教  
 育会覚書き 伊藤 純郎  
 大林作三『終戦の記』原本発見  
 の意義 青木 隆幸  
 赤報隊関係者の贈位請願運動—そ  
 の請願・決定過程を中心に 岩立 将史  
 書誌紹介 林英一著『近代火葬の  
 民俗学』 福澤 昭司  
 ◇767 (65-12) 2013.12 A5 82p 900円  
 中世特集「院政期の信濃」  
 院政期信濃守と武士 元木 泰雄  
 信濃国伊賀良莊光明寺と二つの  
 経筒(上) 佐藤 全敏  
 木曾義仲の発給文書 長村 祥知  
 考古学でみた信濃の院政期 原 明芳  
 長野県東筑摩郡麻績村福満寺に  
 所在する「賓頭盧尊者」の造  
 像銘について 福島 正樹  
 書誌紹介 丸島和洋著『戦国大名  
 の「外交」』 村石 正行  
 『信濃』第65巻総目次  
 ◇768 (66-1) 2014.1 A5 80p 900円  
 《民俗学特集号》  
 石川県小松市における獅子舞の系  
 譜と伝播 高久 舞  
 雨乞いとして空儀礼が行われる理  
 由—一葬送儀礼の視点からの解釈  
 林 英一  
 ある農家の年越し  
 一都市移住に伴う変化の様相 倉石 美都  
 研究の窓 長野県栄村での「第二  
 回・民具大移動」 寺島 宏貴  
 報告 信濃史学会セミナーをふり  
 かえる 原 良通

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024長野県上田市大手2-7-13  
上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊  
◇154 2013.10 A5 69p  
上田川西地区の中世を歩く(4)  
小泉氏の城砦群 尾見 智志  
日本の昔の竜巻 樋口 和雄  
小島の軽井沢  
一北佐久郡小沼村から考える 柳沢 賢次  
沖繩戦、積徳高女看護隊を救った  
小池軍医(2)一池勇助のあゆみ・その後 白田 明  
窓 第7回  
古地図から歴史に興味を 小林 収  
連載講座  
古文書解説講座 第145回 阿部 勇  
地区だより  
白田地区 出浦 晃彦  
東御地区 宮下 知茂  
上田地区 和根崎 剛  
坂城地区 柳澤 哲  
更埴地区 牧 忠男  
扉写真と解説  
社宮司遺跡六角木幢について 牧 忠男

◆長 野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7  
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/  
◇292 2013.12 A5 48p 500円  
須坂市上中町法然堂の「孝子善之  
丞感得御絵伝」のその後 小林 玲子  
念願のお絵解き「孝子善之丞感得  
御絵伝」 佐藤 政世  
福井県の百例目の善光寺仏と近県  
の善光寺仏の報告 北村 市朗  
信濃の挿花宗匠・松雲斎一鶴 村上 昭彦

夏目漱石と信州(7)  
漱石を慕った女性(上) 中田 敬三  
小林計一郎の原点(15)  
渡辺敏先生伝(13) 小林計一郎  
北村俊治氏を悼む 小林 一郎  
「長野」創刊号～第292号発行年月  
一覧

◆長野県民俗の会会報

〒390-0851長野県松本市島内3427-45  
小原稔方 年5000円 1978年創刊  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇35 2013.11 A5 122p  
講演記録 灯火風流の展開一松明  
・灯笼・提灯 三田村桂子  
「弥三郎婆」伝説と奪衣婆一弥彦  
村・宝光院の妙多羅天を事例と  
して 松崎 憲三  
春彼岸の神送り行事 三石 稔  
昆虫の薬用利用とその変遷一売薬  
「イボタの蟲」を事例に 山口 拓  
須々岐水神社の御柱祭 太田 真理

◆長野県民俗の会通信

〒390-0851長野県松本市島内3427-45  
小原稔方 年5000円  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇238 2013.11 B5 8p  
西善寺の本尊 木下 守  
須々岐水神社御柱祭関係用語集 太田 真理  
第187回例会報告 事務局(小原・木下)  
葉書でつぶやくコーナー  
島岡吉郎氏と光澤毅氏のサイン  
ボール 伊藤 友久  
大熊先生の訃報に思う 伊藤 友久

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園

内 TEL058-265-0010 1985年創刊  
◇85 2013.11 A4 8p  
企画展「ちょっと昔の道具たち」  
2013.12.10(火)～2014.3.2(日)  
企画展「タイムスリップ!大昔の  
くらし」 2014.3.25(火)～2014.  
5.25(日)  
加藤栄三・東一記念美術館「生命  
の尊厳 栄三・東一と生き物た  
ち」 2013.12.10(火)～2014.4.20  
(日)  
博物館ニュース 信玄公の金箔瓦、  
岐阜市重要文化財に指定される  
!金色に輝く復元品も完成!  
研究ノート たたり、これに在り—  
江戸時代に織田塚を供養する 望月 良親  
館蔵資料紹介 紙本墨画 鷹岡  
曾我二直庵風

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
〒438-0086静岡県磐田市見付3532  
TEL0538-32-3546 2007年創刊 年2000円  
www4.tokai.or.jp/child-c.j/  
◇78 2013.11 A4 4p 300円  
鹿島踊のいろいろ その1 吉川 祐子  
◇79 2013.12 A4 6p 300円  
鹿島踊のいろいろ その2 吉川 祐子  
寄贈資料紹介

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8529静岡市駿河区大谷836  
静岡大学人文社会学部 橋本誠一研究室  
TEL054-238-4544 年4000円 1979年創刊  
◇38 2013.10 B5 102p 1500円  
特集 維新期の静岡  
新居勤番組の名簿から読み取れ  
ること 樋口 雄彦

幕末期の遠州横須賀藩における  
郷宿仕法替え 岡村 龍男  
明治10年代前半静岡裁判所にお  
ける刑事司法手続一国立公文  
書館所蔵内閣文庫『府県史料  
(静岡県)』を手がかりに 橋本 誠一  
資料紹介 明治学校開校願及び  
規則書、雇用定約書 高木 敬雄  
中部電力浜岡原子力発電所と浜岡  
町財政 竹内 康人  
磐田市福田地区の繊維産業の一様  
相 松下 夏子  
写真が語る歴史のひとつ  
静岡県にあった日輪兵舎 加藤 善夫  
紀行文 スペインでの歴史の記憶  
と過去の清算 竹内 康人

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836  
静岡大学人文社会学部 橋本誠一研究室  
年4000円  
◇422 2013.11 B5 4p 200円  
11月例会レジュメ 神戸市民救援  
会議の救援運動一1969年発足か  
ら1980年代を中心に 船津かおり  
『静岡県近代史研究』第38号  
発刊!  
第36回総会開催さる  
会報の内製化について 小池 善之  
◇423 2013.12 B5 4p 100円  
11月例会報告 戦前昭和期の選挙  
と選挙民一岐阜大二区を中心と  
して 樋田 友直  
民藝運動と浜松 小池 善之  
県史編さん担当になって(2) 川上 努  
◇424 2014.1 B5 4p 100円  
戦後史の転換点に際会して 橋本 誠一  
1月例会レジュメ 静岡市文化財

資料館企画展「駿府で愛された  
お菓子—扇子屋と駿府・静岡—」  
調査報告会にあたって  
岡村龍男／増田亜矢乃  
菓子商「扇子屋」と駿府・静岡の  
町方社会 岡村 龍男  
駿府城と城下町の構造  
—絵図の分析を通して 増田亜矢乃

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101  
web.thn.jp/s-folklore/  
◇149 2013.10 A4 4p  
水窪・上村の霜月祭り 伊藤久仁俊  
第1回例会(第1回富士山見学会)の  
ご案内  
シリーズ食(26)  
ヤマイモ(自然薯) 今村 純子  
静岡の民俗語彙・方言短信 チン  
チン／ゴゼン／コテショ／オツ  
ケ 今村 純子

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55  
篠原旭方 TEL054-286-8659  
◇138 2013.11 B5 16p  
遷宮ひと足お先に 6月30日(日)・  
7月1日(月) 一度は行きたい伊  
勢参り 一泊二日史跡見学会 大川 誠一  
9月1日(日) 第101回研究会  
森田幸雄氏の「世界自然遺産・  
小笠原諸島の歴史」の概要／鶴  
藤満夫氏の「銃後の守り」の概  
要／望月茂氏の「海を渡った日  
本の城—『倭城』の築城とその  
後—」の概要  
一万歩で各史跡を楽しんだ 11月  
3日(日) 静岡歴史発見ウォー

ク 日帰り史跡めぐり 大川 誠一

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1  
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp  
◇240 2013.10 A5 24p  
熱田社の和歌と文学(最終回) 柴  
屋軒宗長『宗長手記』の場合／  
某氏『千種日記』の場合／著者  
不明『やうきき物語』の場合／  
蟠龍子『広益俗説弁』の場合／  
まとめ 八木意知男

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会

〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜  
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内  
TEL0569-65-2880 1966年創刊  
◇96 2013.11 A5 80p 500円  
住吉大社内海船寄進常夜灯と「天  
明六年えびす講定書」にみる戎  
講の成立背景(2) 丸山 専治  
前野小平治家の家紋余話 大岩 義昌  
川本信三著作『尾張知多半島海岸  
案内』—南知多の内容を中心に  
(明治～大正初期の図会・写真集  
紹介2) 永田 文夫  
知多地名譚(3) 地名の消息 加藤喜代吉  
戦国武将の日常(常滑藩主水野三  
代にみる) 村田 修  
江戸時代長尾村へやって来た「物  
乞い」たち 文政七年「諸勤進  
并合力頼る覚帳」長尾村庄屋よ  
り 永田 久則  
日露戦争(明治三十八年戦役)(1)  
—内海町からの出生兵士の記録  
より 松本 亀男  
南十字星(6)完  
ハルマヘラ島従軍記 内田 白花

兵隊二年(1) 内田 辰男  
南知多町の挨拶運動について 内田 恒助  
南知多町の人口減少と懐かしい商  
店を想う 大岩 隆  
平成25年度 南知多町師崎におけ  
る総会並びに研修会 山本 嘉秀  
もんじろぎつね 南知多町誌  
辨天池へおひな流し 野間町史  
南知多の人 荒木力 中村 祥

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒441-1305愛知県新城市武広字信玄原552  
新城市設楽歴史史料館内 湯浅大司気付  
TEL0536-22-0673 年10000円 1968年創刊  
◇378 2013.12 A4 68p 1000円  
《日本銃砲史学会創立50周年》  
日本海軍における丁字戦法に関す  
る一考察 堤 明男  
幕末福岡藩と孔中八角銃身火縄銃  
安田修／峯田元治  
別添 長溥公御遺事児嶋精功氏談  
話(抄)  
解題 艦砲射撃の命中率に関する  
黨論文について(前) 堤 明男  
再録 日本海軍艦砲射撃の命中率  
の変遷(前)(後) 黨 治夫  
附録 砲術に関する用語の説明  
例会発表  
第391回例会報告 幕末福岡藩  
黒田長溥の西洋流導入の内実  
—孔中(銃腔)八角銃身の火縄  
銃の存在(安田修・峯田元  
治)／銃弾から見た日本の銃  
砲変遷以上(磯村照明)  
第392回松本例会報告 松本城  
の花器仕様(青木教司)／天正  
十年松本小笠原鉄砲衆につ  
いて(市川恵一)／ふたたび鉄

砲伝来論—村井氏の批判に  
応える(宇田川武久)  
文献紹介  
『日本の弾薬 1886-1945 (Japan  
ese Ammunition 1886-  
1945)』 須川 薫雄  
黛治夫『海軍砲戦史談』 名古屋 貢

◆東海近代史研究 東海近代史研究会

〒482-0044岩倉市宮前町2-75 西形久司方  
TEL0587-66-7569 1979年創刊  
◇34 2013.11 B5 112p  
巻頭言 不断の研究 西形 久司  
特集 自由民権家と憲法  
自由民権家の明治憲法体制観—  
植木枝盛と島田三郎の場合を  
中心に 稲田 雅洋  
植木枝盛憲法草案の「残害」と  
「浸害」—愛知大学名古屋図書  
館所蔵「日本憲法」鈴木安藏  
筆写本の意義 田村 貞雄  
シリーズ・地域に根ざし平和を語  
りつぐ(4) これからの生きる  
世代に向けて 中島 裕子  
歴史の小径  
歴史(又はフィクション)の中の  
女性像 秦 達之  
会津藩の惨敗 田村 貞雄  
三重県の津波碑を訪ねて 西形 久司  
BOOKS 工藤洋三・金子力『原  
爆投下部隊』／名古屋市守山区  
編『守山区誌』

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001  
TEL052-935-2173 1980年創刊  
housa.city.nagoya.jp  
◇87 2013.10 A4 8p

平成25年9月28日(土)～11月4日  
(月・休) 展示室1・2 徳川美術館 秋季特別展 歌仙一王朝歌人への憧れ

平成25年11月9日(土)～12月13日  
(金) 展示室1・2 「河内本源氏物語」全巻カラー影印完結記念 源氏物語の世界

平成26年1月4日(土)～2月11日  
(火・祝) 展示室1 旅をつづる／展示室2 名所図会の世界

平成26年2月14日(金)～4月6日  
(日) 展示室1 ひなの世界／展示室2 大名家の礼法—小笠原家伝書

徳川園に大須文庫?—幻の大須文庫移転案をめぐって 木村 慎平  
表紙 近衛信尹筆「河内本源氏物語筆者目録」

◆まつり まつり同好会  
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
TEL0567-37-0441 年5000円 1961年創刊

◇75 2013.12 A5 87p 1800円  
《特集 地芝居の今》  
地芝居考—江戸時代元禄期の地芝居・地役者をめぐって 中村 規  
神奈川県における地芝居の「復活」について 館野 太郎  
道と地芝居の担い手たち—三遠南信と東濃を結ぶ街道筋から 蒲池 卓巳  
沖縄のスーマチ(1)—南西諸島のサークル・ダンス 坂本 要

◆まつり通信 まつり同好会  
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
TEL0567-37-0441 年5000円

◇568 (53-6) 2013.11 B5 6p 600円

11・12月の予定／新刊紹介 新修  
豊田市史15別編 民俗I 山地のくらし 新修豊田市史編さん委員会編

茨城・向井町の散々楽 石川 博司  
名古屋市博物館企画展紹介  
奥三河のくらしと花祭・田楽 まつり同好会事務局

表紙写真のこぼれ  
阿波(あば)八幡神社花祭り 渡辺 良正  
全国農協観光協会の行事案内 第25回民俗芸能と農村社会を考える会 奈良県曾爾村『曾爾の獅子舞』

◆織豊期研究 織豊期研究会  
〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577  
三重大学教育学部 日本史研究室内  
TEL059-231-9218 1999年創刊

◇15 2013.10 B5 120p 1500円  
誠仁親王の立場 金子 拓  
太閤検地の土地把握と計算・記述能力(下) 今野 真  
研究ノート 豊国社成立後の豊臣家と徳川家—『舜旧記』による一試論 北川 弘紀  
戦場をあるく—戦場調査ガイド 因幡鳥取城攻めと太閤ヶ平本陣 谷本 進

書評  
池上裕子著『人物叢書 織田信長』 柴 裕之  
服部英雄著『河原ノ者・非人・秀吉』 河内 将芳  
黒田基樹著『敗者の日本史10 小田原合戦と北条氏』 竹井 英文

◆史料 皇學館大学史料編纂所報  
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6462 年1000円 1978年創刊

◇240 2013.12 B5 12p 300円  
式内社丹生川上神社鎮座地考(下) 白井伊佐牟  
史料編纂所公開講座「奈良時代史を描きなおす—続日本紀からみえる世界—」の開催 桐田 貴史  
いにしへの伊勢(17)—絵葉書・古写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

◆大黒屋光太夫だより  
大黒屋光太夫顕彰会会報  
〒510-0224三重県鈴鹿市若松中1-1-8  
TEL059-385-3797

◇39 2013.10 A4 4p  
神昌丸と若宮丸の漂流民が出会うとき 大島 幹雄  
鈴鹿市観光事業功労表彰 金五満 当会前理事が受賞  
宗谷と神昌丸『船頭の立場』  
光太夫顕彰会に期待すること 鈴木 良一  
記念館からのお知らせ 魅力ある『すずか文化』の創造 古川 滋  
知っていますか こんなところにも光太夫が! 松阪市指定文化財「旧長谷川邸」と光太夫、福井県小浜市 中川淳庵の「薬草園」オープン

### 近畿

◆彦根城博物館だより  
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1  
TEL0749-22-6100 1988年創刊  
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/

◇103 2013.12 A4 4p  
資料紹介 橘井桁紋付弓籠手

当館蔵 古幡 昇子  
展示案内 12月～3月 テーマ展  
11/29～12/22 展示室1 橘と井桁—彦根藩主井伊家の家紋／1/1～1/28 展示室1 湖東焼—鳴鳳と赤絵金彩／1/31～3/4 展示室1 雛と雛道具／3/7～4/8 展示室1 直弼発見! 井伊直弼と相州警衛  
催し 入門講座 美術編 第2回 湖東焼の魅力—一手に取るように分かる鳴鳳の水指、歴史編 彦根藩の歴史—井伊家と家臣たち／スケジュール  
研究余録 金亀玉鶴 高木 文恵  
絵師・張月樵の画風

◆民俗文化 滋賀民俗学会  
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊  
sigaminzoku.fc2web.com

◇602 2013.11 B5 12p 400円  
七と十一の文化(12) 信長と秀吉と十一 長谷川博美  
百八の経塚—横浜市金沢区 大喜多紀明  
近江東浅井・坂田郡の式内社(1) 一浅井町・虎姫町 馬場杉右衛門  
湖北万葉集の歌枕(2) 馬場杉右衛門  
一晚中家を叩いた狐 大塚 久雄  
お百度石について 粕渕 宏昭  
「押絵」について—坂田郡山東町 粕渕 宏昭  
行火(あんか)について 粕渕 宏昭  
講師 旭堂南陵(二代目)の聞き書き一代記(31) 菅沼晃次郎

◇603 2013.12 B5 12p 400円  
庶民の生活と民俗(1) 菅沼晃次郎  
七と十一の文化(13) 謎の天正十一年と戦国の7と11 長谷川博美

湖北万葉集の歌枕(3) 馬場杉右衛門  
 出庭村の争論 奥山 芳夫  
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
 書き一代記(32) 菅沼晃次郎  
 ◇604 2014.1 B5 14p 400円  
 霊仙祭りとお池—米原市下丹生 江竜 喜之  
 七と十一の文化(15)  
 『信長公記』の七不思議 長谷川博美  
 この世の事柄とは… 田中 春二  
 昭和初期に書かれた精神衛生のた  
 めの書籍にみられる「神隠し」  
 の事例—中村古峽による文献を  
 中心として 大喜多紀明  
 旅で拾った民俗について 粕渕 宏昭  
 ポン菓子について 粕渕 宏昭  
 「九九消寒法」で春を待つ 西浦 左門  
 講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
 書き一代記(33) 菅沼晃次郎  
 民俗文化 第592号～603号(6833  
 ～6976頁)総目次(49)

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会  
 〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る  
 松蔭町138-1 京都市歴史資料館内  
 TEL075-241-4312 1999年創刊  
 city.kyoto.jp/somu/rekishu/  
 ◇47 2013.12 A4 8p  
 京都市長川上親晴の選出過程につ  
 いての一史料—上野捨次郎宛大  
 浦兼武書簡 鈴木 栄樹  
 『京都市政史』第2巻を読んで 前川 宗博

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96  
 仏教大学文学部 八木透研究室気付  
 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊  
 ◇30・31 2013.11 A5 220p

特別寄稿 学会と民俗学の三十年  
 芳井 敬郎  
 南河内の新旧村落における墓制の  
 成立過程—墓標調査と墓制研究  
 の接点 市川 秀之  
 平野郷夏まつりの現状と課題 濱田 時実  
 災害伝承・伝説の意味をめぐって  
 —「島」の海没伝承・伝説から 林 英一  
 神事舞太夫と梓神子の近代—明治  
 前における民間宗教者の展開 中野 洋平  
 髯籠と目籠  
 —依代説と魔除け説の再検討 武笠 俊一  
 ムラの盆行事とイエの盆行事の再  
 構成—三重県志摩地方の事例か  
 ら 湯 紹玲  
 会津漆器産地における「手挽き轆  
 轤」の一系譜 木村 裕樹  
 アイヌの子守歌(イヨンルイカ)  
 についての一考察—心性が継承  
 される直接的なプロセス 大喜多紀明  
 粟田祭における剣鉾と鉦町 宮野ともみ  
 京都市中心部における伝統行事の  
 運営システム 野口 奈那  
 書評  
 中嶋奈津子著『早池峰岳神楽の  
 継承と伝播』 橋本 章  
 小松和彦著『いざなぎ流の研究  
 —歴史のなかのいざなぎ流太  
 夫—』 斎藤 英喜

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル  
 上生洲町221 キトウビル303  
 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊  
 www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/  
 ◇203 2013.10 B5 158p 1800円  
 《創立50周年記念号》  
 白澤王(伯太王)の系譜

—絵画・説話 付荒平舞 田口 和夫  
 熊野三山と芸能—『修明門院熊野  
 御幸記』を中心に 山路 興造  
 『風姿花伝』奥義篇書き替えの経  
 緯再考—田楽本座の役者—忠の  
 記述及び能の名望論について 重田 みち  
 見られ聞かれる連歌  
 —連歌張行の本質 鶴崎 裕雄  
 小川の筆屋木内弥二郎と猿楽  
 —16世紀京都市民の芸能事情 五島 邦治  
 足利義輝の祇園会見物について—  
 天文17年6月14日をめぐって 河内 将芳  
 近世初期能楽界の動向—『万治  
 三年大蔵主馬能伝書』の『役者  
 評』をめぐって 天野 文雄  
 近世田楽法師の世襲と退転—京都  
 泉原氏、紀州坂本氏を中心とし  
 て 吉村 旭輝  
 大坂千日前「竹林寺」の創建につ  
 いて 村上 紀夫  
 明治初期の東京府による舞夫・梓  
 女の統制—習合神道神事舞太夫  
 家の近代 中野 洋平  
 例会発表要旨  
 古田織部の連歌とその周辺 鶴崎 裕雄  
 『熊野御幸記』にみる芸能と熊  
 野三山の芸能 山路 興造

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島粟田町22  
 中村修方 FAX075-392-3743  
 年4000円 1995年創刊  
 www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/  
 ◇74 2013.12 A5 64p 1500円  
 巻頭言 日本史を造った渡来民 半沢 英一  
 延喜式内社「奴奈川神社」のその  
 後と再構成 内田 正俊  
 方位論再考(3)

—畿内の場合と尾張氏論補遺 尾関 章  
 会員ひろば(小休止)  
 アンデス通信(27) 市木 尚利  
 書評 中村修著『海民と古代国  
 家形成史論』 西川 寿勝  
 早川二郎とその古代史 山中 光一  
 秦政明さんを偲びて 蘆田 東一  
 悲濤の人・福本正夫(3) 中村 修

◆古代文化 古代学協会

〒604-8205京都市中京区三条通高倉西入ル  
 菱屋町48 TEL075-252-3000 年8000円  
 kodaigaku.org  
 ◇594 (65-3) 2013.12 B5 162p 2500円  
 平安貴族社会における養子の展開  
 —10・11世紀を中心に 澤田 裕子  
 特輯 古墳時代から律令時代への  
 祭祀の変遷(上)  
 特輯「古墳時代から律令時代へ  
 の祭祀の変遷」(上)に寄せて 大平 茂  
 古代祭祀の形成と系譜—古墳時  
 代から律令時代の祭具と祭式 笹生 衛  
 古墳時代祭祀遺構から神社遺構  
 への変遷 穂積 裕昌  
 伊場遺跡群における古代祭祀の  
 変遷 鈴木 一有  
 律令制成立期の神社政策  
 —神郡(評)を中心に 小倉 慈司  
 古墳時代から律令時代における  
 神社成立の諸相 黒田 龍二  
 縄文時代中・後期における中部高  
 地の遺跡立地と石器組成の変化 柳原 麻子  
 正倉院宝物を十倍楽しむ(1) 山本 忠尚  
 図版解説 静岡県磐田市  
 明ヶ島古墳群出土土製品 竹内 直文

書評 須田勉・佐藤信編『国分寺の思想』思想・制度編、組織・技術編(全2冊) 中島 正

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3  
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇741 2013.12 B5 6p

「明智藪」の名称は近年の新造語  
で「蛇端藪」が正式名である 塩見 昭吾  
北近畿における法然の伝承 嵐 光激

◇742 2014.1 B5 6p

北近畿での信州善光寺廻国開帳に  
ついて 嵐 光激

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
西大路町146 中西ビル内  
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊

◇839 (83-9) 2013.11 A5 34p 915円

佐川田喜六昌俊について(2)―佐  
川田喜六の交友関係と墨跡(上) 村上 泰昭

日本の塔百選(19)

四天王寺五重塔 中西 亨  
人を馬にする話―口承類話の研究 寺本 健三

滋賀県甲賀市水口町岩坂最勝寺宝  
塔の被害について 山路 裕樹  
第988回例会

藤の木古墳と法隆寺 東 暲

◇840 (83-10) 2013.12 A5 34p 915円  
聚楽第の石垣(2) 加藤 繁生  
日本の塔百選(20) 金剛寺多宝塔 中西 亨

佐川田喜六昌俊について(2)―佐  
川田喜六の交友関係と墨跡(中) 村上 泰昭

「がんど高瀬川二条苑」の庭園 矢ヶ崎善太郎  
2013年度(下半年)「石造美術勉強  
会」報告 品角阿止美

第83輯(831-840号)総合目録

◇841 (84-1) 2014.1 A5 34p 915円

口絵 平成25年6月例会 鬼の伝  
説の岡山県吉備津を訪ねて  
熊本県北部、鎌倉時代造立五輪塔

様式の変遷について(上) 佐藤 誠  
日本の塔百選(21) 慈眼院多宝塔 中西 亨

989回例会 滋賀・甲賀町の仏像 岩崎 幸一  
990回例会 鬼の伝説の岡山県吉備  
津を訪ねて 藪田 夏雄

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3  
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇740 2013.11 B5 6p

平成25年度福知山史談会 秋の例  
会(研究発表)報告 近代産業と  
神社―大原神社を中心に 青木  
友里氏、旧平野家について 岡  
垣清己氏 大槻 伸

◆丹波 丹波史談会

〒622-0066京都府南丹市園部町栄町3-3-2  
上野栄三方 1999年創刊

◇15 2013.10 A5 94p 1000円

農牧学校跡碑  
賢治の学友・小菅健吉 奥村 覚  
杉村光徳寺文書を読む 浅井 義久

鞍馬口花御所 東寓寺が京丹波町  
和知に移転の由緒 上野 栄二  
『寺社類集』にみる小牧山観音 河原 信之

丹波綾部道路沿線の中世城郭―最  
終編 瑞穂町内西側の域 若江 茂  
納豆餅と鯖街道 湊 友三郎

明智伊勢千代丸の行方 小島 寛  
河岸段丘と水利について  
京丹波町炭地区の水資源確保 齋藤 治  
「美学」初年度の取組と課題 小畑 弘

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15  
糸井通浩方 TEL0774-44-7636  
年3000円 2002年創刊

www.geocities.jp/Kyotochimei/  
◇45 2013.11 A4 8p

第36回京都地名フォーラム報告  
京・祇園祭、大津祭、長濱曳山  
祭のタベストーリー(つづれ織り)

から浮かび上がる古代ギリシア  
の地名(山壽泰正)／宇治と菟道  
稚郎子(石田天祐)／京都盆地の  
災害地名(綱本逸雄)

京都地名研究会主催特別事業 丹  
後建国1300年紀記念講演会「地  
名でたどる丹後の地名」旧丹  
波からの但馬、丹後の分国(水  
野孝典)／丹後王国から丹後国  
へ(三浦到)／木簡出土状況と地  
名研究(糸井通浩)／棟札に記さ  
れた地名(小山元孝)／地名の示  
す範囲の変化(新谷勝行)

第37回地名フォーラム案内 忘れ  
られた言語学者藤岡勝二―京都  
が生んだ泰斗とそのローマ字表  
記をめぐって(柿木重宣)、旧丹  
波からの但馬、丹後の分国(水  
野孝典)、木簡出土状況と地名  
研究(糸井通浩)

地名随想  
寺の名の付いた町名(6)

阿弥陀寺町 清水 弘  
西高瀬川掘削のこと 梅谷 繁樹

会長日記抄録(平成25年6月～25年  
8月) 吉田 金彦

◆土車 古代学研究所だより

〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル  
菱屋町48 TEL075-252-3000 kodaigaku.org  
◇126 2013.11 B5 8p

『経信卿記』  
―「三舟の才人」の日記 古藤 真平  
セインズベリーと日本考古学 中村 大  
あの頃の長崎・大分―昭和30年代

の考古学界と古代学協会 鈴木 忠司  
随想(7) ことばの小径  
杜撰な考古学者用語 角田 文衛  
解説 山田 邦和

平成25年度公開講演会 マヤ文明  
の神秘的ペールをはぐ 石器の  
都市文明の実像に迫る

第3回角田文衛古代学奨励賞 中  
村耕作「土器カテゴリ認識の形  
成・定着―縄文時代前期後半に  
おける浅鉢の展開と儀礼行為」

◆初音 古代学協会年報  
〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル  
菱屋町48 TEL075-252-3000  
2011年創刊 kodaigaku.org

◇3 2013.10 B5 98p  
研究報告 石蒸し調理実験記録  
2012―凝灰岩・石英斑岩による  
石蒸し調理実験をめぐって  
鈴木忠司／竹内直文／  
磯群調理実験グループ

受講者研究発表 『小右記』4月13  
日条の検討―『小右記』講読に  
参加して 山本みなみ

◆やましろ 城南郷土史研究会

〒619-0204木津川市山城町上狛南野田芝29  
中津川方 TEL0774-86-3262 1953年創刊  
◇27 2013.12 B5 150p 1200円  
《特集 南山城水害・台風十三号災害60年》  
特集にあたって 中津川敬朗  
木津川水害史概説 田中淳一郎  
南山城水害誌(高麗村にみる記録) 大西 康允

解説 上  
一執筆・編集過程を中心に 赤塚 康雄  
澤村吉兵衛日記にみる南山城水害 梅原恭仁子/橘尚彦編  
六十年前のこと一水害の思い出 小川 許子  
玉川の陸橋へ家族で避難(井出) 土砂で埋もれた国鉄トンネル(棚倉) 梅原恭仁子  
関西本線の土手が決壊(大河原) 大仲 清子

子どもたちに語り伝える南山城水害  
十四歳の記憶 棚倉小学校でのお話 中西 佳子  
中西さんのお話を聴いて 三年生児童の感想  
命とふるさとを守る学習 大仲 順子  
井出町の子どもたちに伝えたい  
南山城水害 宮本 敏雪  
南山城水害から学んだ自然の猛威と人間の力 井戸野佐知子

宇治市における昭和二十八年に關する碑について 吉永 利明  
南山城水害慰霊碑・記念碑調査報告 中津川敬朗/田辺英夫/橘尚彦  
南山城水害・台風十三号災害文獻目録  
子どもたちの地域史(シリーズ(9))

子どもたちと見つめた木津川 田中実知世  
知られざる天誅組騒動 上狛からの鎮圧動員と大和・河内の水争い 浅田 周宏  
宇治文学碑廻り(2) 小西 亘

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより  
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
TEL075-465-8151 1993年創刊  
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/

◇60 (21-2) 2013.12 A4 20p  
スポット ミュージアムの所蔵品(57) 『作業日誌』  
巻頭つれづれ 福島が2歳児が「人生初散歩」 安斎 育郎  
館長だより 移行期の激変と平和研究拠点形成 モンテ・カセム

ここが見どころ 被爆死した父の形見、ベルトの留め金と『消えた広島 ある一家の体験』 山根 和代  
ミュージアムおすすめの一冊 オリバー・ストーン、ピーター・カズニック著 大田直子ほか訳  
『二つの世界大戦と原爆投下』(早川書房 2013年4月刊) 藤岡 惇  
ミニ企画展 開催報告(2013年7月～10月)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報  
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇311 2013.11 B5 14p  
お菊の嫁ぎ先山口家の大坂夏の陣「山口喜内興廃実録」から(下) 樋野 修司  
江戸中期の泉州佐野浦食野家代々(2) 井田 寿邦  
和泉の中世城郭(24) 井田 寿邦

◇312 2013.12 B5 14p  
2013年度 夏の研修旅行「明智大正村、岩村重伝建地区と岩村城跡、瑞浪超深地層研究所」(上) 勝矢 寛雄

江戸中期の泉州佐野浦食野家代々(3) 井田 寿邦  
和泉の中世城郭(25) 井田 寿邦

◇313 2014.1 B5 12p  
秀吉の和泉・根来攻め直後の日根野弘就 廣田 浩治  
2013年度 夏の研修旅行「明智大正村、岩村重伝建地区と岩村城跡、瑞浪超深地層研究所」(中) 勝矢 寛雄  
和泉の中世城郭(26) 井田 寿邦

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所  
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2  
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333  
1980年創刊

www.oml.city.osaka.jp/hensansho/  
◇81 2013.11 A5 126p 700円  
戎橋筋商店街百周年 画像に見る戎橋・戎橋筋 古川 武志  
『浪華勝榮帖』と大坂代官竹垣直道一在坂武士の文化交流 内海 寧子  
みおつくし 特別市制 松岡 弘之  
大坂代官竹垣直道の文事交流 松本 望

近刊紹介 『大阪の歴史』第80号  
／近日刊行予定 『新修大阪市史 史料編』第15巻 近代Ⅱ行政2  
史料紹介 大阪地方世話部「陸軍墓地ニ関スル書類綴」について(上) 横山 篤夫

座談会 藤本篤氏とその時代  
北崎豊二/小西萬知子  
／金田稔/堀田暁生

藤本篤さんの思いで  
藤本篤前所長を偲んで 植木 佳子  
藤本先生への追悼文 佐古 立子  
藤本所長と私 田中 豊  
藤本先生が遺したこと 野高 宏之  
藤本先生の思い出 前田 豊邦  
藤本さんを偲んで 三輪 泰史

「奉畏候」  
一藤本篤先生とのある日 渡邊 忠司  
新刊図書紹介  
飯倉洋一著『上田秋成一絆としての芸文一』 松本 望  
除本理史・林美帆編著、宮本憲一・森脇君雄・小田康徳監修『西淀川公害の40年一持続可能な環境都市をめざして一』 川内 淳史  
松永和浩編著・大阪大学総合博物館叢書8『ものづくり上方“酒”ばなし一先駆・革新の系譜と大阪高等工業学校醸造科一』 生駒 孝臣



\* 昨年5月に85歳で逝去された、前大阪市史編纂所長 藤本篤氏を偲ぶ小特集。同氏はアメリカ・シアトル市生れで、山口大学に学び、日本民家集落博物館などを経て、昭和37年に大阪市史編纂室に勤務した。57年に所長、62年に定年退職となるが、非常勤嘱託所長とし

て引き続き市史編纂事務と後進の指導に当たった。この間、『昭和大阪市史 続編 全8巻』(1964-69)、『大阪編年史 全27巻』(1967-79)、『新修大阪市史』(1988)を編集・刊行している。同市史以外にも、大阪府史、貝塚市史、箕面市史、豊中市史などに関わり、自治体史編さんの実務と方法論をまとめた有坂隆道との共著『地方史の研究と編集』(ミネルヴァ書房、1968)の功績も大きい。また、初学者のための入門書『古文書への招待 1、2』(柏書房、1979-80)には筆者もお世話になった。この他にも、山川出版社「県史シリーズ」の第一冊目となった『大阪市の歴史』(1971)などの著書がある。

本号では「藤本篤氏とその時代」として、現大阪市史編纂所長の堀田暁生氏の司会で、市史編纂委員会、市立中央図書館、編纂所で交流のあった三名の座談会と、市史編纂所所員、市史料調査会調査員として同氏のもとで、古文書解読や整理などを学んだ7名の思い出の記を収録する。座談会では、全27巻に及ぶ『大阪編年史』は、実質的に社会経済史研究者として著名な黒羽兵治郎氏と藤本氏によって完成されたもので、具体的な作業や毎日最低でも60数余の原稿作りは藤本氏が一人でこなしていたことなど、自治体史編集の超エキスパート振りが紹介される。

#### ◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223大阪府阪南市光陽台4-5-25  
林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊  
www.eonet.ne.jp/~minshushi/

◇68 2013.12 A5 178p 1000円

神戸女学院生の治安維持法犠牲者と仲間たち 第一部(続) 田中 隆夫  
第二次世界大戦大阪における戦争孤児の生活と教育(下)一大阪市立郊外学園を中心に 赤塚 康雄

山本憲の大隈重信に宛てた書簡 呂 順長  
箱作黄金松に秘められたメッセージー  
ジ―『稲むらの火』に語られなかった未来への教訓 白岩 昌和  
八十五年の追憶(上) 村上 忠士  
表紙きりえ 川田屋(徳島脇町) 田宮 勝美  
グラビア 三ツ山大祭(姫路市) 林 耕二

#### ◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ  
イクショップー兵内 TEL06-6931-1081  
年5000円 1984年創刊  
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/

◇351 (30-11) 2013.11 B5 12p

巻頭言 古文書苦楽部より(10)  
お詫びと訂正 寺井 正文  
第326回例会報告 演題「お城の石垣」―織豊期以前、近江を中心に 青地一郎氏/会員講座(第12回) 講演「神道入門」安田建一先生 (真野)  
11月見学会報告 生玉から天王寺七坂から愛染さんを訪ね 川村一彦氏 (川村)  
会員特別報告 「歴史研究会」第29回全国肥後熊本大会 川村 一彦

◇352 (30-12) 2013.12 B5 8p

姫路城大天守修理見学 井川 光正  
11月例会報告(第327回) 平成25年11月17日(日) 演題「軍師黒田官兵衛の有岡城幽閉」豊田正義氏 (中澤)

古文書苦楽部 「家の譲り状一札について」 寺井正文氏 (寺井)

◇353 (31-1) 2014.1 B5 8p

継続は力なり 松坂 定徳  
第329回例会案内/見る・聞く・学ぶ/会員の動き/会からのお

知らせ

12月例会報告(第328回) 平成25年12月15日(日) 演題「秀吉・家康と伊達政宗―生き残りを懸けた政宗の4策動」 渡辺武氏 (磯崎)  
年末特別企画「第二回活動資金支援交流会」 (磯崎)

#### ◆かいづか文化財だより テンパス

貝塚市教育委員会  
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1  
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇51 2013.11 A4 8p

表紙 つげ櫛/貝塚市イメージキャラクター つげさん  
貝塚市の特産品 “つげ櫛”  
古文書をひも解く  
改修前と改修後―2枚のため池図  
古文書講座「江戸時代のため池と池普請」/古文書講座43(通算202回~206回)開催のお知らせ

テーマ「江戸時代の山の利用と争論」  
孝恩寺の仏像一菩薩(1) 弥勒菩薩  
重要文化財 木造弥勒菩薩坐像 1軀  
平成25年度貝塚市歴史展示館企画

展「貝塚市の70年写真展」開催中/『貝塚市の70年』販売中

◇別冊4 2013.11 A4 8p

貝塚御坊願泉寺本堂の二十四孝彫刻

#### ◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家  
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
年5000円 1981年創刊  
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇56 2013.10 B5 101p 1500円

紀州湯河荘司とその同族諸氏(下) 宝賀 寿男  
神官安原氏系図について 安原 繁俊  
珍姓のルーツ(21) 中田みのる  
真説津軽為信物語(後の4)―大石内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤か、時慶卿記の真実 佐藤 博  
コラム ここでちょっとコーヒーブレイク  
田沼意次の家系 馬原 浩一  
大熊朝秀の子孫 馬原 浩一  
姓氏の源流を遡る趣味の話 富田 茂  
肥前の相良氏について(3) 相良 一夫  
墓を訪ねて三千基(2) 馬原 浩一  
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話  
刀鍛冶の里(4) 浪平 博司  
神仏習合と廃仏毀釈の謎 川村 一彦  
表紙家紋「丸に葛の花」 馬原 浩一

#### ◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家  
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
年5000円 2002年創刊  
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇46 2013.10 B5 8p

偶 感 川崎 大十  
家系研究協議会 平成25年度夏の例会報告 平成25年8月3日(土)  
「近江源氏・佐々木氏の発生」 宝賀寿男氏 (馬原)  
珍名さんいらっしゃい(43) 眞野 幹也

#### ◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
TEL072-251-2586 年2400円

◇355 2013.12 A5 20p 200円

祢々子(ネネコ)の話(1) 和田 寛

◇356 2014.1 A5 20p 200円  
祇々子(ネネコ)の話(2) 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円

◇768 2013.11 A4 8p 300円  
松阪・津周辺の仏像 赤川 一博  
大和国中に「弥生の都」を訪ねる  
—唐古・鍵遺跡とその周辺 森下 恵介

◇269 2013.12 A4 8p 300円  
百舌鳥三陵の谷の古墳 一瀬 和夫  
南山城の古社寺と遺跡を訪ねて  
—木津川右岸を中心に 泉森 皎

◇770 2014.1 A4 8p 300円  
伊勢の大神宮と式年遷宮 岡田 登  
京都における民藝運動と建築 川島 智生

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会

〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5  
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊

◇14 2013.11 A4 4p  
環境変化の中の内水面漁撈  
—淀川と巨椋池の漁業から 伊藤 廣之  
平成25年度総会報告 田中 明

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28  
平川大輔方 TEL06-6652-4511  
web1.kcn.jp/kojyo\_tomonokai/

◇539 2013.11 B5 22p  
近江 小堤城山城、星ヶ崎城を探  
訪します(12月・第602回例会の  
ご案内)

平成26年1月・第603回例会の予告  
／セミナーなどのご案内  
10月・第600回例会の報告

播磨 鶴居城 周藤 匡範  
播磨 鶴居城の鳥瞰図(川端義憲  
氏作画、引用縄張図 星野直哉  
氏)

会員通信 近畿周辺一大名陣屋と  
その町その村(承前) 4 近江三  
上陣屋／5 播磨安志陣屋 上田 正和  
新聞記事紹介

◇540 2013.12 B5 22p  
総会・講演会(1月・第603回例会)  
のご案内／平成26年2月・第604  
回例会の予告(総会提出原案)／  
セミナーなどのご案内

創立50周年記念式典・祝賀会(11  
月・第601回例会)の報告 木下 修二  
会員通信 伊賀の陣城 増山 政昭

新聞記事紹介  
◇541 2014.1 B5 20p  
平成25年度の例会(概要報告)  
2月・第604回例会の予告／3月・  
第605回例会の予告／セミナー  
などのご案内

12月・第602回例会の報告 近江  
小堤城山城、星ヶ崎城 中西徹／川端義憲  
会員通信

総州佐倉城へ行きました 水品 弘樹  
尾原隆男氏所蔵写真から  
淀城天守台石蔵調査風景  
新聞記事紹介

◆摂津市市史編纂だより

摂津市総務部市史編さん室  
〒566-0023摂津市正雀4-9-25 摂津市民  
図書館内 TEL06-6319-0587 2012年創刊

◇1 2012.11 A4 4p  
慶応4年の大洪水 片山 早紀  
摂津国を襲った災害  
—仁和大地震と正平大地震 曾我部 愛

◆つどい 豊中歴史同好会  
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
月1000円 1988年創刊  
homepage2.nifty.com/toyonakarekish/

◇310 2013.11 B5 16p  
桜塚古墳群から桜井谷窯跡群へ  
—古墳時代豊中の激動を読む 福永 伸哉  
文化財講演会(豊中市教育委員会  
共催) 桜井谷窯跡群の最新の  
発掘成果について 陣内 高志  
城陽市の古代遺跡を訪ねる 小川 滋  
訃報 山端研三氏

◇311 2013.12 B5 16p  
「倭の五王」陵と百舌鳥・古市古  
墳群—古代東アジアの国際関係  
を通して 坪井 恒彦  
古市古墳群東北部を訪ねる 山口 久幸

◆枚方市史年報

枚方市教育委員会文化財課市史資料室  
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1  
枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154  
1996年創刊

◇16 2013.10 B5 70p  
百済の国王から百済王氏へ 山下 剛司  
枚方のミズグルマ(踏車) 橋本 貴明  
平成24年度市立枚方宿鍵屋資料館  
購入の朝鮮通信使関係史料2点  
金子真由美／片山正彦

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
神戸大学文学部地域連携センター気付  
TEL078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp

◇74 2013.12 A4 8p  
巻頭言 史料ネット事務局員にな

るにあたって 加藤 明恵  
シンポジウム「大災害における文  
化遺産の救出と記憶・記録の継  
承—地域コミュニティの再生の  
ために」参加記 小野塚航一  
第8回地域史卒論報告会の記録  
地域史卒論報告会参加記 柴谷 慶  
地域史卒論報告会参加記 大樫 美奈  
地域史卒論報告会に参加して 田中 光  
2013年度歴史資料ネットワーク総  
会・シンポジウムの記録 吉原 大志

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12  
TEL079-442-0658 1986年創刊

◇62 2013.11 B5 6p  
古代加古川河口の歴史的環境 清水 一文

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要

〒660-0881兵庫県尼崎市昭通通2-7-16  
総合文化センター7階 TEL06-6482-5246  
1971年創刊  
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp

◇113 2013.11 A5 193p 850円  
小特集 宝珠院文書から見る中世  
後期の尼崎  
小特集にあたって 市沢 哲  
細川氏内衆の存在形態 古野 貢  
三好氏と長洲荘 天野 忠幸  
戦国期の長洲荘支配における下  
代益富氏 村井 良介  
舟屋法眼元恵と法華堂・長洲荘 伊藤 啓介  
戦国期に奈良から尼崎を旅した  
僧侶たちの記録 大村 拓生  
貞治四年「野地前田田数目録」  
に見える人名と寺院について 小橋 勇介

軍事拠点としての近世兵庫城と尼崎の再検討—天正年間の織豊城郭遺構伝存の意義 大国 正美  
兵庫津の歴史を調べてみよう—兵庫城石垣の発見にふれて 河野 未央  
史煙 歴史とイメージ—大阪製麻株式会社のケース 辻川 敦  
誌上レファレンス 地域研究史料館  
史料紹介 『雲漢集』 田中 敦  
小川弘幸氏撮影写真アルバム 井上衛／小川弘幸  
尼崎藩家臣団データベース「分限」の公開について 地域研究史料館  
史料紹介 『撰津名所図絵』尼崎関係場面(解説版) 地域研究史料館

◆西宮文化協会会報  
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321  
◇548 2013.11 B5 8p  
旧中山道(多賀大社、六波羅軍終焉の蓮華寺)への誘い 山下 忠男  
ご報告 山下 忠男  
今月の観月祭  
橘曙覧「独楽吟」 田邊 竹雄  
◇549 2013.12 B5 8p  
昔・むかし西宮の迷信・天気予報言葉 堀内 陽光  
イグアス・ナスカ・クスコ・マチュピチュ紀行(4) 二宮 健  
万葉集と西宮 木村 紀男  
西宮神社境内の石造物「用水」／西宮神社の絵葉書  
◇550 2014.1 B5 8p  
今年(うま)歳 堀内 陽光  
西宮の忠霊塔の行方 藤田卯三郎  
尼崎城「関城」の心得と本文 室谷 公一

「西宮」保存箱、玉手箱—  
—情報公開課資料より 豊田 みか  
人格形成に寄与する「鑑賞」教育—西宮神社の子ども教室 森村 暁子  
平成26年1月～3月 美術館・博物館等展示の御紹介

◆LINK 地域・大学・文化  
神戸大学大学院人文学研究科  
地域連携センター年報  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
TEL078-803-5566 2009年創刊  
www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/  
◇5 2013.11 B5 174p  
(特集Ⅰ 地域の歴史性・重層性と市民主体のまちづくり—新たな共同性を求めて)  
特集にあたって 坂江渉／板垣貴志  
「もやい直し」と「あるもの探し」—災害復興を支える共同性 遠州 尋美  
「大字誌」の限界と地域史編纂—中近世の本庄地域の「主体」をめぐって 大国 正美  
(特集Ⅱ 工藤敬一氏インタビュー—歴史学は地域とどう向き合うか)  
このインタビューについて 市沢 哲  
インタビューによせて  
工藤敬一氏の中世史学と九州・地域 廣田 浩治  
工藤敬一氏の研究と地域 村井 良介  
姫路藩における版籍奉還への政治過程—(本領安堵・家名存続)論の延長としての版籍奉還建白 前田 結城  
『播磨国風土記新考』の著述とその助力者について—井上通泰研究・序説 井上 舞  
史料紹介 明石市立文化博物館所蔵 黒田家文書「慶応元年乙丑年日記」(上) 前田 結城

フィールドレポート  
阪神・淡路大震災時の淡路における史・資料救出活動 海部 伸雄  
地域の歴史文化遺産を継承するたびに—香美町「ふるさとガイド」の取り組み 石松 崇  
LINKを読む  
地域資料としての「被災資料」そして学校資料 大平 聡  
地域の災害を記録すること・伝えること・認識すること—アスベスト問題との関わりから考える 松田 毅  
時評・書評・展示評  
松平家・黒田家旧蔵資料受贈記念速報展「明石藩の世界」 河野 未央  
奥村弘著『大震災と歴史資料保存』 西村慎太郎  
活動報告  
人文学研究科地域連携センターを中心とした特別研究プロジェクト 坂江 渉  
神戸市文書館企画展「戦時下に起こった阪神大水害」 吉原 大志  
郷土史の裾野を広げるために—朝来市との連携事業をふりかえって 添田 仁  
人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(2) 木村 修  
人文学研究科古文書室収蔵文書一覧(2012-13年度購入分) 板垣 貴志

◆歴史と神戸 神戸史学会  
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4  
田中印刷出版内 TEL078-871-0555  
年3000円 1962年創刊  
◇301 (52-6) 2013.12 A5 49p 600円  
《特集 淡路の近世史》

神戸御用邸の概観 高橋 健司  
伊能忠敬の「伊能図」と淡路 大江 恒雄  
文政三年から天保十年迄廿年間須本藩士等の賞罰事例についての一考察 北山 學  
鎌倉末期の兵庫下庄田畑数惣目録 木南 弘  
地名研究(104) 桑津(伊丹)と桑原(三田)佳名と地名 渋谷 武弘  
動乱期の青少年教育史話 ああ筒台の辺に—戦中戦後を生きた中高生の記録(12) 森田 修一  
新聞地域版を読む

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館  
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2  
TEL0745-62-5588 1999年創刊  
www.l.mahorobane.jp/~suihei/  
◇16 2013.10 A5 62p  
第13回企画展「奈良県水平社運動—普遍性と独自性—」を開催して 佐々木健太郎  
第16回特別展「部落の歴史をまなぶ—差別ってなんだろう?—」を開催して 駒井 忠之  
報告  
公開講座 2012年度 第2回公開講座「高野弁護士と私」 三森 輝久  
公開講座 2012年度 第3回公開講座「全国水平社創立大会宣言—受け継がれたところ・伝えられた魂」 守安 敏司  
第4回(2013年度)奈良県人権文化選奨表彰  
2013年度「おもいやりショートレター」／各部門受賞者決定

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207  
 桑原康宏方 TEL0739-22-0483  
 年2000円 1985年創刊  
 ◇52 2013.11 B5 24p  
 絵葉書に見る熊野風景百年(3) 中瀬古友夫  
 『雑糞風土記』を追う  
 一本宮地区の石像物再調査 堀 敏実  
 蟻通明神について  
 一『神道集』を中心として 橋本 観吉  
 日本サッカー創始者 中村覚之助  
 のひとつとなり 田中 弘倫  
 覚え書き(2) 近世の王子社と九十  
 九王子社参詣一聖護院門跡と三  
 宝門跡の軌跡 桑原 康宏  
 谷川健一氏を悼む 桑原 康宏

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3  
 濱岸宏一方 TEL0739-25-0657  
 年3000円 1969年創刊  
 ◇145 2013.12 A5 79p  
 《創立50周年記念号》  
 結成50周年を迎えて 濱岸 宏一  
 近世田辺領の今高制・上ヶ知制、  
 上ヶ米制序説(2) 芝 英一  
 幕末に熊野地方で流行した疱瘡 廣本 満  
 熊野に棲息する妖怪たち(1) 宮本 恵司  
 平成22年度 田辺祭り栄町町内会  
 長日記(抄) 橋本 観吉  
 研究会50年のあゆみ  
 『くちくまの』第101～129号、『熊  
 野』第130号～145号 総目録 編集部  
 郷土関係新刊紹介 有馬皇子関係  
 文献目録／近代地域社会の教育  
 願望と学校

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1  
 新宮市役所商工観光課 山本殖生  
 TEL0735-23-3333 年3000円  
 ◇191 2013.10 B5 2p  
 御船祭の研究・見学会／那智田楽  
 へのいざない／遠州の熊野三山  
 と三保松原見学ツアー／『図説  
 地獄絵の世界』／「近い飛鳥」と  
 「遠い飛鳥」  
 ◇192 2013.11 B5 2p  
 御船祭の研究・見学会は来年に／  
 世界遺産の富士山を知る講演会  
 ／『お伊勢参りと熊野詣』／『熊  
 野信仰の世界』／『修験道と児島  
 五流』

中国・四国

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1  
 稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円  
 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp  
 ◇177 2013.12 B5 68p  
 野見宿禰神社創建 出雲 大社  
 野見宿禰と相撲 品川 知彦  
 出雲弁よもやま話一意地出しう庵 村上 清子  
 大社観光史研究(2) 稲佐海水浴場の創設(遺稿) 石部 満  
 大社観光史研究(3) 明治・大正期  
 の大社参詣のための交通機関の  
 変遷と繁華街の形成 廣澤 將城  
 大社観光史研究(4) 出雲大社の昭  
 和遷宮と神国博覧会 村上 清子  
 大社観光史研究(5) 甘味処が生み  
 出す縁一神門通りの新風 岩成 俊策  
 大社観光史研究(6) コラム 日御  
 碕神社の諸国勧化 山崎 裕二

『出雲国風土記』記載の山辺神社  
 と方位 岩谷 肇  
 菱根村・修理免村の山境をめぐる  
 争論と杵築大社の関わり 斎藤 一  
 消えゆくもの(42)一初午 春木 芳子  
 検証!北山山中への一式陸上攻撃  
 機墜落事故 森本 紀彦  
 日置風水の紀行文  
 『隠岐のすさび』を読む(3) 山崎 隆司  
 日本海運史料(8) 出雲国鷺浦船問  
 屋讃岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴  
 企画展「隠岐之國 島々の歴史と  
 文化」 古代出雲歴史博物館  
 アテンダントのご縁物語(2)一お  
 もてなしミュージアム 飯塚典子／高橋桂  
 手銭記念館の四季  
 初代館長の思い出 佐々木杏里  
 出雲弥生の森博物館ギャラリー展  
 「神門寺」の発掘にみる人々の  
 交流一「神門寺発掘30年」展よ  
 り 出雲弥生の森博物館  
 読者コーナー 編集部  
 平成25年7月～9月出雲市大社町年  
 表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28  
 光珍寺内 TEL086-222-2028  
 年2000円 2002年創刊  
 ◇48 2013.10 A4 10p  
 朝鮮の役の結果 市川 俊介  
 拾遺宇喜多氏伝(2) 矢吹 壽年  
 宇喜多秀家「役」を担って 佐藤 貴洋  
 「おふくの方さま顕彰碑」建立に  
 寄せて 奥田亜紀子  
 物語直家記伝 乙子の城  
 第19回 伴侶(4) 山重十五郎  
 会員サロン

宇喜多氏関連遺跡の写真展(1) 津下 誠治  
 宇喜多秀家卿と徳川家の関係 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺2-6-36  
 村上岳方 TEL086-942-6156  
 年1500円 1986年創刊  
 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm  
 ◇131 2013.12 B5 58p  
 歴史随想 「日記」資料に寄せて 在間 宣久  
 岡山藩の神職組織と祭祀について 次田 元文  
 近世後期の寺院頼母子と檀家一備  
 中国後月郡の寺院を題材に 東野 将伸  
 岡山地域史研究文献目録(総説)

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田  
 早稲田大学文学部 紙屋研究室内  
 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwasedq/  
 ◇71 2013.11 B5 16p  
 〈第21回総会の記録〉  
 報告要旨 大坂落人と近世武家社  
 会一『池田光政日記』所収、木  
 村重成感状一件を題材に 堀 智博  
 参加記 堀智博報告「大坂落人と  
 近世武家社会一『池田光政日記』  
 所収、木村重成感状一件を題材  
 に一」参加記 深谷 克己

◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14  
 難波俊成方 年4000円 1949年創刊  
 okayamaminzokugakkai.web.fc2.com  
 ◇234 2013.12 B5 70p  
 吉岡銅山の概要 歴史と遺構 小西 伸彦  
 民俗事象の身体化一岡山県高梁市  
 備中町平川地区の事例 鶴 理恵子

たばこ神社考 加原奈穂子  
農耕技術民俗調査アンケート(昭和46年)の内容について 吉原 睦

#### ◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14  
難波俊成方 年4000円  
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

◇211 2013.11 B5 8p

本会ホームページの試験公開について 吉原 睦  
学会記事

臨時役員会開催 吉原 睦

7月例会報告 7月例会発表要旨  
千歳楽唄の保存・伝承の現状について 住宅 正人

厳島神社の管弦楽と伝播 井上 靖子  
福武教育文化振興財団助成金贈呈式、成果発表及び交流会 難波 俊成

9月例会報告 9月例会発表要旨  
『記紀神話』と『風土記』の黄泉の国—現世と来世—古代日本人の死生観 今木 義法

温羅伝承に関する若干の考察 古市 秀治

11月例会報告

11月例会発表要旨(次号)  
第43回岡山民俗学会賞について 吉原 睦

#### ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL084-953-6157 bingohistory.net

◇174 2013.10 A4 22p

偽文書の話 田口 義之  
山名是豊の備後守護補任時期を廻って 木下 和司

写真で視る郷土探訪(田尻町) 田口 由実  
備後史談 庄屋矢田重宗 根岸 尚克

郷土探訪 郷土料理「うずみ」について思うこと 岡田宏一郎  
例会報告

ぶら探訪の「ぶらぶら地名考」佐藤 光範  
おら、ぶら探訪行ってきたんじや 探訪マニア

行事案内 秋の一泊旅行 泉南と河内の史跡めぐり  
古墳部会便り 11月バス例会『芸北路に新発見の古墳を訪ねる』

御案内 湯川 勝彦  
城郭部会便り

「中世後期の武家と民衆」について聴講した感想 岡田宏一郎  
福山城御用米蔵—五千石蔵に収められた一万石の謎 中西タイチ

歴史研便り「近世福山を読む」第6・7回要旨 高木 康彦  
山城レポ 新高山城探訪 末森 清司

随想 続 くらわんか舟 熊谷 操子  
大分便り

戦国武将とKY(危険予知) 後藤 匡史  
◇175 2013.12 A4 24p

聞き書き「蛇円山物語」 田口 義之  
古墳講座 古墳の謎を解剖する—古墳は誰のためのものか 網本 善光  
福・山珍道中

「石成庄上村武守名内即分田畠坪付」文書考察 坂本 敏夫  
中世石造物の調査報告 篠原 芳秀

研究レポ 勝成入封時の福山湾の地形 高木 康彦  
備後史談 遍照閣顛末記 根岸 尚克

郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」(5) 新田  
を潤した上井出川と下井出川 種本 実

福山の郷土料理「うずみ」につ

いて・その後 岡田宏一郎  
ぶら探訪「春日池周辺を歩く」

に参加して 原田由紀恵/古谷秀子  
絵手紙だより 寺内町散策 小川 直子  
例会だより 11月バス例会「芸北路に新発見の古墳を訪ねる」を終えて 湯川 勝彦

城郭部会学習会便り  
山城レポ

加越国境の山城 櫛山城探訪 末森 清司  
大分便り 吉良公墓参 後藤 匡史

#### ◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島  
大学大学院文学研究科日本史学研究室内  
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇287 2013.12 A5 32p

大内義隆の安芸国支配 中司 健一  
動向

歴史講座「広島県の歴史」の記録 第3回「二宮就辰と広島城」(講師 光成準治)/第4回「近世たたら製鉄業と地域社会—生活を支えた鉄山稼ぎ—」(講師 笠井今日子)

広島県の地方史研究  
伊予史談会交流報告

芸備掲示板 芸北 むかしのはき  
もの展 芸北民俗芸能保存伝承館

史跡をあるく 光海神社・煙草碑 石田 雅春

#### ◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂  
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753  
1987年創刊

◇92 2013.12 A4 12p

「鎮魂」追伸 別所 智子

資料紹介 溜池の築造 立畑 春夫  
新出の二つの史料 新祖隆太郎

三次盆地の前方後円墳(7)  
西谷第一号古墳—調査報告 加藤 光臣

三次浅野藩に関わる家譜 長治公  
生誕から三次浅野家廃絶まで、  
110年間の人々(2) 富士原昌宏

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円

◇272 2013.11 B5 12p 100円  
今月の各地 風太郎日記  
川柳との出会い 野村 賢悟

大化前代における備後・安芸の「国界」地域(1) 大本 静人  
檜崎氏と三原(2) 大谷 和弘

事務局より 鈴木 健次  
◇273 2013.12 B5 12p 100円  
今月の各地

婚外子の復権と、民俗の継承 下西 勝彦  
秋の研修旅行  
竹田城跡と生野銀山の旅 林 寿彦

レキカン秋の研修旅行に行つて 長田 洋子  
平成25年レキカン秋の研修旅行に参加して 行武 郁子

大化前代における備後・安芸の「国界」地域(2) 大本 静人  
◇274 2014.1 B5 12p 100円

今月の各地 新年のご挨拶 上田 嘉信  
湯河原町土肥会との交流会報告 鈴木 健次  
膝栗毛 事始め 福岡 幸司

#### ◆伊予史談 伊予史談会

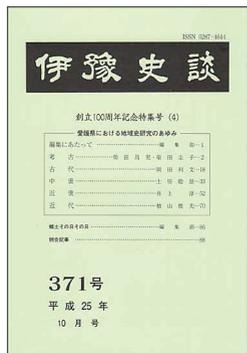
〒790-0007愛媛県松山市堀之内  
愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇371 2013.11 A5 91p 715円  
《創立100周年記念特集号(4)》

愛媛県における地域史研究のあゆみ

編集にあたって	編集部
考古	柴田昌児／柴田圭子
古代	岡田 利文
中世	土居 聡明
近世	井上 淳
近代	柚山 俊夫
郷土その日その日	編集部

例会記事 第1177回 近世伊予の魚食 多田仁氏、民話でたどる村の記憶 太田由美子氏／第1178回 四国の姥捨山伝説とその周辺 渡邊裕二氏、赤い旧石器を求めて一肱川流域の旧石器文化 沖野新一氏／第1179回 キリスト教の四国伝道と今治教会の設立について 越智真次氏、愛媛県内の紀年銘の残る宝篋印塔 長井数秋氏



\* 地方史研究団体で最も歴史を重ねているのが、明治38年創立の神戸史談会で、大正3年の伊予史談会はそれに次ぐ。景浦稚桃、西園寺源透、曾我部松亭3氏の発起で「伊予ニ関スル歴史地理ヲ探究スル」歴史同好会の第1回例会が開催されたのが大正3年5月10日、それから例会は1170回を超えた。100年と言う

のは大変な歴史である。同会の一つの特徴は、地元財界や教育界、行政、篤志家からの支援が得られたこと、即ち、地域との結びつきが強固であることが挙げられるのではなからうか。昭和初期に、県会の建議と旧藩主、実業家らの寄付金で開始された「伊予編年史」編纂事業に伴って収集された古文書、古記録、絵図などが「伊予史談会文庫」として、その後、県立図書館に収蔵されて一般利用に供されていることはその典型である。現在、史談会の事務局も同図書館内に置かれている。史談会の主要メンバーは県史や、松山市誌などの編集、執筆に積極的に参加してきている。

この長い歩みを、「伊予史談」の平成25年1月号、4月号、7月号と、この10月号の4回に亘って特集する。なお、本号では、「愛媛県における地域史研究のあゆみ」として、考古、古代、中世、近世、近代に分けて振り返っている。何はともあれ祝賀と、次代に向けての継続、発展を祈念したい。

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより  
〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26  
TEL088-873-0406 2000年創刊  
www.i0.ocn.ne.jp/yamauchi/

◇41 2013.10 A4 10p  
一番御掛硯 藤田 雅子  
長宗我部元親の法要 渡部 淳  
特設展紹介 「記す・つむぐ・伝える—山内家の古文書アーカイブ—」(藤田雅子)／特集コーナー 吉祥(尾本師子)

特設展関連行事報告  
山内家資料修理説明会「文化財修理の現場—掛軸『隅田川之図』を事例に」 田井東浩平  
「四季を描く」関連行事 和菓

子作りの会「四季を味わう」

	藤田 雅子
「土佐藩歴代藩主展」関連行事	
特別講座「江戸時代における長宗我部元親の法要について—靈蹟寺蔵 元親二百年忌・二百五十年忌文書の紹介—」	渡部 淳
小中学生向けワークシート	中屋 真理
御道具根居をよむ(2)	
「隣の宝の数え書」	尾本 師子
新 研究の手引 絵図を調べる	渡部 淳
整理と保存(41)	
肌裏紙の多彩な役割	田井東浩平
古文書への招待 お雇い外国人	古賀 康士
土佐史の人々	
岩崎弥太郎(1835~1885)	古賀 康士
古文書基礎知識 絵図の色	渡部 淳
土佐の○ 地域とともに	
博物館における「学び」	中屋 真理
お世話になった人々	
—四万十町大正地区の皆さん	筒井 聡史
まなびのひろば 高知城御台所伝承梅漬けの会／夏休み工作教室	
教室①伝統建築に学ぶ！折りたみイスをつくってみよう！、	
教室②伝統染織を体験！型染で風呂敷を染めてみよう	中屋 真理
山内資料館のホームページ	大平 悦子
受付だより	
入館割引制度のご紹介	大平 悦子
路傍の歴史 高床式の建物	
吾川郡いの町枝川	

◆秦史談 秦史談会  
〒780-0023高知市東秦泉寺283  
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊  
◇176 2013.11 B5 63p  
《30周年記念特集》

表紙説明

秦泉寺城址、城山(東秦泉山)	松下 政司
グラヴィア 表紙(松下氏画)集	
長宗我部元親と本能寺の変	朝倉 慶景
秦の昔話(31) 愛宕山の巻 愛宕	
山の怪(万堂様) (「こうち童話」から)	永野美智子
30周年記念に寄せて	
次郎よ—教育の一断面	毛利 俊男
物部川流域の歴史散歩	広谷喜十郎
三谷・山の神 雑録(2)	松本 紀郎
永国先生の「土佐路の野口雨情」	
関連(6)	溝淵 匠
永国さん	松本 紀郎
秦・史跡めぐり余滴(3)	
—小笠原三兄弟の墓	(松本)
私の戦後	広谷 雅子
楠瀬大枝の周辺(10)	
山本家のことなど	和田 豊子
享受館 戸部良熙と谷真湖	鍋島 静一
戦史18 中国残留孤児	
陽子は中国人に売られた	毛利 俊男
平成25年度秦ふれあいセンター市民講座 案内／高知新聞「声ひろば」から 望郷歌「梅と兵隊」(溝淵匠)、高知家と高知姓(原田英祐)	
土御門上皇と四国路(6)	溝淵 匠
夏の陽ざしの中で(3)	松本 紀郎
「高新生生文化事業助成金」「秦史談会三〇年のあしどり」(『高知新聞』より)	
秦史談会のあしどり (H25年10月末現在)	
30周年記念アンケートから	
アンケート特別寄稿	
鍋島静一／笹原保博／小松巖／松本紀郎／岡林長富／三谷萬佐雄／	

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ  
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊

◇119 2013.10 A5 224p 1238円

巻頭言 考古学の曲り角

《特集 考古学の曲り角》

古墳などの年代遡上論は成立しな

い 元日本考古学協会会長・大

塚初重氏の見解例を検証する 安本 美典

なぜ、「考古学的には畿内説」が

成立するのか、その論拠がさっ

ぱりわからない

新・邪馬台国東遷説 安本 美典

日本出土の景初四年銘三角縁神獸

鏡再論 王仲珠／平松健・訳

『俾弥呼』と『和田文書』 齋藤 隆一

海の民 宗像(6)―玄界灘の守り神

太神 美香

九州古代紀行(21) 大和の故地

(?) 大己貴神社を往く 加藤 哲也

ブッダへの道(5)―法顕が見た五

世紀初頭のアジア 河村 哲夫

世界遺跡巡り(1) クロマニヨン

人たちのふるさと 井上 修一

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1

TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇196 2013.12 B5 20p

自然石種子板碑(しゅじいたび)

志佐 惲彦

再考 東北アジア四段階農耕化の

中で菜畑に水田稲作が伝来する

まで 堀川 義英

旧大島邸に知る歴史的な絆(1)

―「敬日庵」の絆、興義(おきよ

し)と宗寿尼 中里 紀元

浦川内山神社の祭典 嶺川 隆敏

秋の史跡探訪 六〇年に一度の大

遷宮出雲大社と山陰の名勝・史

跡を訪ねる旅 松本 知典

トピックス 近松寺本堂の灯籠―

志摩守二百回忌に御船手中より

寄贈 山田 洋

考古学における地方史研究の成果

土製(滑車型)耳飾(2) 田島 龍太

打上熊野皇神社とくち奉納相撲

熊本 典宏

史料で読み解く虹の松原一揆の実

像(4) 山田 洋

サイザ(才治)がすゑ(子孫)にあへ

(逢)るあや 式島 若彦

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市松山町604-10

筑田俊夫方 TEL0559-74-2667

◇96 2013.11 A5 162p

御礼 叙勲授受の栄誉に感謝 中尾 郁子

故里「父ガ岳」登山挑戦の試み 山田恵美子

私が感動した短歌(20) 佐々木祥一

全国河童サミットに参加して 出島 勝馬

五島歳時記『魚津ヶ崎』 武羅井 高

画家と春蟬と 坂口 進

「フィトゥハ、ナサキ」

―「人は情」 石田ちとえ

故郷回顧(7)「おチュニッさん」

のこと―「チュウゲンマチ」 谷

川家の親族懇親会 山中 彦昭

きゆう資料の里帰り 五島歴史資

料館に寄贈を終えて 筑田 俊夫

評伝「石城会」追想シンフォニ

―(序章・明治・大正・昭和・

平成・無終章) 才津 玉樹

史料にみる古代の五島(2)

―五島の土蜘蛛私考 櫻井 隆

ローマのヨハネ五島とツバキ 比留木忠治

旧五輪教会の建築棟梁・平山亀吉

―その時代と生涯をたどる 内海 紀雄

◆石の証言

「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0951宮崎市大塚町西ノ後3376-1

土岐宗春方 TEL0958-52-5014 年2000円

◇52 2012.11 B5 8p

石の証言 湖南佐野部隊(湖北省

崇陽県城壁の石)、中支木島部

隊(江西省武寧県城壁の石)

「牡丹江省尾高部隊」からの献石

について―「上京龍泉府・東京

城」・尾高亀蔵・長鼓峰事件 野崎 眞公

戦争の記憶と語りの政治学(1)―

「終戦五〇年決議」をめぐる 杉尾 宏

トピックス

韓国で見た「八紘一字」の碑 河野富士夫

◇53 2013.1 B5 8p

石の証言 河北省本間部隊(北支

河北省河間県城本間部隊)

新年のあいさつ 税田啓一郎

「牡丹江省尾高部隊」からの献石

について―「上京龍泉府・東京

城」・尾高亀蔵・長鼓峰事件(2)

野崎 眞公

戦争の記憶と語りの政治学(2)―

「中国帰還者連絡会」の活動を

めぐって(1) 杉尾 宏

◇54 2013.3 B5 8p

石の証言 南洋庁

沖縄中部戦跡ガマ巡り、沖縄戦か

ら平和教育を考える―第35回日

教組九州ブロック「2.11平和教

育研究集会」 迫立 敏弘

トピックス

大邸の小学校で植民地時代の石

碑発見 河野富士夫

来住新平さんからの提言／最近

の会の活動／“3・10宮崎いの

ちの広場”に2000人

国是となった「八紘一字」―その

具体的国策は何であったか(1) 税田啓一郎

◇55 2013.5 B5 8p

石の証言 第六師団司令部

熊本城

「八紘一字」の塔を考える会

2013年度定期総会のために 税田啓一郎

国是となった「八紘一字」―その

具体的国策は何であったか(2) 税田啓一郎

第13回宮崎平和のための戦争展

◇56 2013.7 B5 8p

石の証言 満州国阿部部隊

「八紘一字」の塔を考える会

2013年度総会から

トピックス ドキュメンタリー

DVD 全編50分 完成! Allen

Nelson「9条を抱きしめて」

憲法改悪を許さないために 佐川 嘉正

国是となった「八紘一字」―その

具体的国策は何であったか(3) 税田啓一郎

第13回 宮崎 平和のための戦争展

◇57 2013.9 B5 8p

石の証言 海龍県公署

第23回ウォッチング「平和の塔」

に130名が参加しました! 土岐 宗春

戦争の記憶と語りの政治学(2)―

中国帰還者連絡会の活動をめぐ

って(2) 杉尾 宏

軍法会議と石破発言

佐川 嘉正

勇気をもらう 河野富士夫

◇58 2013.11 B5 8p

石の証言 蘇州日本居留民団

緊急シンポジウム 守られる「秘密」、守られない私たちの自由—民主主義と市民生活をおびやかす特定秘密保護家法案を斬る／特定秘密保護法案に歴史学者ら反対

戦争の記憶と語りの政治学(2)—中国帰還者連絡会の活動をめぐって(その2の続き) 杉尾 宏

日本の右翼が村山談話に反発して建てた「侵略の塔」 山口 隆

第12回 日向・平和のための戦争展／「八紘一宇」の塔を考える会例会

◆鹿兒島民俗 鹿兒島民俗学会  
〒890-0056鹿兒島市下荒田4-1-18  
阿多利昭方 TEL099-253-1775  
年4000円 1950年創刊

◇144 2013.12 B5 110p  
表紙写真解説 太鼓踊の地域の特徴—南薩地方 所崎 平

「ホトケバアサン(仏婆様)」を母とする「隠れ念仏」—シャーマンと「ウチノニューサン(内の如様)」(4) 森田 清美

みんぞく・かわらばん 柴屋(しばや) 所崎 平

熊本藩内当道座における祖神伝承 緒方 晶子

潤沢な慈雨を願う大御幣—阿久根市波留の南方神社をめぐって 牧 民郎

みんぞく・かわらばん オシエの魚 所崎 平

家船と文部省唱歌『我は海の子』徳留 秋輝

みんぞく・かわらばん 方言「様へ(サメ)」「のさん」 所崎 平

「第18回かごしま郷土芸能」の報

告(平成25年10月20日) 所崎 平

みんぞく・かわらばん 肌着の着替え 牧 民郎

伊集院での蛇の話覚書 一出遭いの記 本田 碩孝

みんぞく・かわらばん 手車(テイグマ)=大八車 所崎 平

徐福伝説再考—冠嶽権現の“変化”と徐福伝説 白井 和樹

霧島修験 空順法印日記について(14)—阿久根の火留め祈願「御日待」と「空順講」—「火の神祭り」の修験と民俗(後) 森田 清美

資料 鹿兒島の昔話(8) 一薩摩の昔話から 下野 敏見

みんぞく・かわらばん 「じょじょん・じょん」 「へんげのげん」 所崎 平

講演録 対馬海流に沿って—海から見た南九州 北見 俊夫

資料 安永二年 次渡日帳 川邊郷 前床 重治

◆季刊 沖繩 (財)沖繩協会  
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9  
エー・ゼットキユウビル5階  
TEL03-5803-2341 1996年創刊  
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/

◇45 (18-3・4) 2013.10 A4 52p 300円

離島への移住を巡る現状と諸問題 斎藤 潤

亜熱帯沖繩の木や森や里山(5)—育み育まれる里山のえにし(上) 新里 孝和

南大東島—大地(ウフジ)と離(ハナレ)の琉球史(5) 高良 倉吉

沖繩県のへき地教育の現状と課題—船浮小中学校の取組を通して

松原 健蔵  
長嶺 爲泰

私のボリビア移民体験 「第9期沖繩平和祈念堂大使」に娘を参加させてみて 田島さつき

Topics／沖繩協会だより／沖繩覚書

◆宮古郷土史研究会会報  
〒906-0013沖繩県平良市下里1223-8  
下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
1977年創刊

◇199 2013.11 B5 8p  
11月定例会レジュメ 近代宮古の「育英制度」について 仲宗根將二

12月定例会レジュメ 稲村賢敷の宮古歌謡研究 上原 孝三

「八月踊り」と「タラマユ—」 一9月定例会を終えて 下地 和宏

多良間島の「抱護」から見える資源管理と利用形態—10月定例会のまとめ 三輪 大介

人頭税廃止110年 人頭税関係史跡めぐり—第8回市民総合文化祭・郷土史部門 下地 和宏

特別展示「平成23・24年度 新収蔵品展」 國仲 香織

第7回博物館講座・講演会「平成24・25年度発掘調査速報」 久貝 弥嗣

国指定史跡、有形文化財(美術工芸品)への取り組み—無土器期遺跡群・浦底遺跡出土遺物 久貝 弥嗣

第3回郷土史講座・史跡めぐり 一大浦・島尻・狩俣を歩く 下地 和宏

「沖繩史を考える」の著者 新里恵二弁護士逝く 仲宗根將二

◆青森県立図書館所蔵「滝屋文書」書状関係資料集 みちのく双書56  
青森県文化財保護協会(〒030-0111 青森県青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 TEL017-739-4211) 2013年3月 A4 246頁  
江戸時代後期、青森の廻船問屋として名をとどろかした滝屋こと伊藤善五郎家の資料『滝屋文書』の書状関係資料集。寛政4年から寛政6年(1792~94)まで、三代・四代目伊藤善五郎時代の89点の書状を、影印版・解説文にて収録する。序文(盛田稔)／解題(鈴木幹人)／文書整理番号176／文書整理番号177／文書整理番号178／文書整理番号179

◆小川一真関係資料目録  
行田市郷土博物館収蔵資料目録  
行田市郷土博物館編・刊(〒361-0052 埼玉県行田市本丸17-23 TEL048-554-5911) 2013年3月 A4 88頁  
万延元年(1860)に忍藩士原田庄左衛門の次男として生まれ、近代を代表する写真家の一人となった小川一真について、平成12年秋の第14回企画展「百年前にみた日本 小川一真と幕末・明治の写真」の資料を中心にまとめる。刊行にあたって(大山能則)／収集の経緯・凡例／小川一真年譜／目録編 小川家寄託資料、小川一真宛名士書簡集、郷土博物館収蔵資料／論考編 行田市郷土博物館収蔵小川一真関係資料の概要について(研谷紀夫・添野勉)、岡部長職関係書簡にみる小川一真と岡部長職の交流と人脈(研谷紀夫)、写真史家松尾樹明と行田市郷土博物館収蔵小川一真関係資料—「小川一真物語」を手がかりに(添野勉)

◆小室小学校日誌—大正2年4月~大正9年3月 伊奈叢書V  
伊奈町教育委員会編・刊(〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493 TEL048-721-2111) 2013年3月 A5 327頁  
『伊奈叢書II 小室小学校日誌—明治32年5月

寄贈図書紹介

～大正2年3月～(2005年3月)に続き、「小室尋常高等小学校日誌」(伊奈町役場保管)の大正2年度から同8年度(大正2年4月～同9年3月)分を翻刻する。児童生徒の出欠表も記録されるなど、大正期の小学校の日常生活・学校行事・世相等が克明に記され、当時の子どもたちを取り巻く社会環境を垣間見ることが出来る。発刊によせて(野川和好)／発刊のことは(坂井貞雄)／解説(油井原均)／大正二年度 小室尋常高等小学校日誌／大正三年度 小室尋常高等小学校日誌／大正四年度 小室尋常高等小学校日誌／大正五年度 小室尋常高等小学校日誌／大正六年度 小室尋常高等小学校日誌／大正七年度 小室尋常高等小学校日誌／大正八年度 小室尋常高等小学校日誌

#### ◆吉川市史 資料編 現代

吉川市史編さん委員会編 吉川市 (〒342-0055 埼玉県吉川市吉川1-21-13 吉川市教育委員会生涯学習課市史編さん係 TEL048-984-3563) 2013年3月 B5 564+39頁  
1997年から始まった『吉川市史』(全7巻)の第5回。昭和20年(1945)から平成8年(1996)までの吉川史域に関係する資料370点を収録する。序(戸張胤茂)／刊行にあたって(木村弘子)〔都市化への変貌(現代)〕 戦後改革と農村社会の変化(概説、敗戦後の農村社会、地方自治法下の町村政、再出発した地域経済、江戸川の濁水と県営二郷半領用水改良事業、カスリン台風の被害と対応、敗戦と新教育の発足)／新吉川町の誕生(概説、三か町村の合併と町政の新展開、土地改良事業と商工会、道路・橋梁の整備と武蔵野線の建設、江戸川濁水対策の進展、水環境の変化と水防対策、新教育の再編と学校施設の整備)／吉川駅の開設と都市化の進展(概説、計画経済の推進とまちづくり、都市化と生活環境の整備、都市化にともなう産業の多様化、二郷半領用水と利根中央事業、校舎の新改築と保育等の充

実)／吉川市の成立と発展(概説)／年表(資料編現代)／索引

#### ◆いっぽくを彩った工艺品

たばこをとりまく協役たち  
たばこと塩の博物館編・刊 (〒150-0041 東京都渋谷区神南1-16-8 TEL03-34776-2041)  
2013年5月 A4 8頁  
2013年5月25日から7月15日まで開催の企画展パンフレット。1999年に所蔵資料となった旧「世界のたばこ工芸館」コレクションから、喫煙形態それぞれに関連した工艺品を紹介する。旧「世界のたばこ工芸館」コレクション／パイプ喫煙の協役たち／葉巻(シガー)喫煙の協役たち／紙巻たばこ(シガレット)喫煙の協役たち／たばこ文化の協役たち

#### ◆インドネシア民話の世界

一民話をとおして知るインドネシア  
百瀬侑子著 つくばね舎(千葉県柏市豊四季379-7 TEL04-7144-3489) 2013年5月 B6 287頁 1700円  
シンデレラ話、羽衣伝説、海彦山彦話、因幡の白ウサギ話など、世界各地や日本の民話に共通する話が多いインドネシアの民話について、その歴史・地理から考究する。テーマをとおして考えるインドネシア民話の特徴(森の民話、鳥の民話、民話の中の家族、老人力と存在感、親孝行の報い)／世界の民話・日本の民話とつながるインドネシアの民話(稲の民話—作物起源を語る民話、羽衣伝説、シンデレラ、猿田彦、海幸彦・山幸彦、わらしべ長者、子引き裁判、呪的逃走譚、豆鹿カンチル)

#### ◆川口地区の今 写真集2012

川口地区の今 写真集2012編集委員会編 八王子市・川口地区町会自治会連合会 (〒193-0801 東京都八王子市川口町3838 川口やまゆり館) 2013年3月 A4 205頁  
昭和30年(1955)に合併した八王子市の北西部

に位置し、豊かな自然と歴史に育まれた川口地区(楢原町、犬目町、川口町、上川町、美山町)のさまざまな風景や文化財などを収めた写真集。I 自然(川の部、山の部、台地の部、谷戸の部、公園の部、道路の部、古道の部、樹木の部、野草の部、昆虫の部、野鳥の部、両生類の部、景色の部)／II 歴史(寺院の部、神社の部、名所旧跡の部、観音堂などの部、石仏などの部、芸能・遺物の部、遺跡・出土の部)／III 町会・自治会／IV 学校・公共施設(学校の部、公共施設の部)／索引／参考文献／世帯数及び人口

#### ◆記憶・記録を伝承する一災害と無形の民俗文化 第7回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL 03-3823-4927) 2013年3月 A4 109頁  
2012年10月26日に開催された第7回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(宮田繁幸)／趣旨説明 無形民俗文化財と記憶・記録(今石みぎわ)／第一部 報告 つなみから100kmのまちで一ふるさと岩手の芸能と震災(飯坂真紀)、被災地における民俗調査の在り方—震災前の調査と震災後の調査(小谷竜介)、民俗資料・記録の活用に向けて—福島県の被災地から(大山孝正)、被災者と人類のための災害復興アーカイブ—3.11まるごとアーカイブの取り組み(長坂俊哉)、特別報告 記録DVD『3.11 東日本大震災を乗り越えて』について(阿部武司)／第二部 総合討議 コメント(久保田裕道・齊藤裕嗣)、ディスカッション／参考資料 「儀礼文化ニュース」(災害地における『地域の儀礼文化』調査)、「文化芸術による復興推進コンソーシアム」関連資料、「無形民俗文化財記録収集の呼び掛け」、アンケート集計結果

#### ◆空襲を伝えるドイツの都市

#### ドレスデン・ベルリン・ハンブルク

和・ピースリング編 木戸衛一・柳原伸洋制作協力 政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室 (〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631)

2013年2月 A4 51頁

東京大空襲・戦災資料センターにおける2013年度第1回特別展(2013年2月16日～4月7日)及び関連イベントの公式図録。2012年2月に行われたドイツ各都市でのスタディ・ツアーの成果を中心に、空襲被災都市に戦跡についても詳しく紹介する。空襲を伝えるドイツの都市 ドレスデン／二瓶治代さん講演録／展覧会によせて(ノラ・ヤング)／ごあいさつ(マティアス・ノイツナー)／ごあいさつ(ベッティナ・アドラー)／アニタ・ヨーン(Anitq John)さん講演録／空襲を伝えるドイツの都市 ベルリン／平和への一歩(オイゲン・アイヒホルン)／空襲を伝えるドイツの都市 ハンブルク／安野輝子さん講演録／特別な出会い 日本からのハンブルクへの来訪者(リンデ・アベル)／東京／かけがえのない学び(ポーレ・サヴィアーノ)／大阪／ドレスデン空襲資料／ケストナー新聞／映像資料「東京からドレスデンへのメッセージ」／解説

街並みのなかに空襲の記憶を読む(山本唯人)

◆東方社と日本写真公社の防空・空襲被害写真 「戦争末期の国策報道写真資料の歴史的研究—国防写真隊と東方社を中心に—」2011年度科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))」研究成果報告書

山辺昌彦・小山亮・石橋星志著 政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室(同上) 2013年2月 A4 71頁

1941年に陸軍参謀本部の下に設立され、主に対外向けの写真宣伝物を制作していた東方社による空襲・戦災関係写真の寄贈資料を中心

とした報告書2冊目。東方社写真部撮影防空関係写真(山辺昌彦)／東方社写真部撮影空襲・戦災被害写真の追加(山辺昌彦)／日本写真公社撮影防空と空襲被害写真リスト(山辺昌彦)／日本写真公社撮影の空襲写真(石橋星志)／東久瀨宮稔彦の東京空襲体験と視察(山辺昌彦)／「東久瀨宮日誌」と公刊日記における空襲叙述比較(小山亮)

◆千代田の古文書2—御上洛御用留 旗本小笠原家資料他 千代田区文化財調査報告書17 千代田区教育委員会編・刊(〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-1 千代田区立日比谷図書文化館文化財事務室 TEL03-3502-3348) 2013年3月 A4 372頁 『新編千代田区史 通史資料編』(1998年5月)刊行後に新たに蓄積された資料情報の一部を収録した報告書『千代田の古文書』(2008年3月)の2巻目として、幕末・明治期の文献史料をまとめる。

御上洛御用留(神田神社所蔵) 史料／論考1 文久三年将軍家茂上洛の歴史的位置(久住真也)／解題(滝口正哉)

旗本小笠原家史料(小笠原長利氏所蔵) 目録／史料／小笠原三味線堀屋敷絵図／小笠原家系図／解題(滝口正哉)

神田神社明細帳履歴書(神田神社所蔵) 史料／神田神社境内図／解題(滝口正哉)

平河天満宮文書(平河天満宮所蔵) 史料／論考2 明治初年の平河天満宮(滝口正哉)

大井家「諸願書留」(千代田区教育委員会所蔵) 史料／参考「大井譜」／大井家系図／解題(滝口正哉)

「神田橋勤方日記」他(千代田区教育委員会所蔵) 史料／解題(滝口正哉)

影印『東京商店案内』(千代田区教育委員会所蔵) 史料／解題(滝口正哉)

#### ◆八王子市東部地域 由木の民俗

新八王子市史民俗調査報告書2

八王子市市史編集専門部会民俗部会編 八王子市総合政策部市史編さん室(〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 TEL042-666-1511) 2013年3月 A4 357+10頁 市制施行100周年を記念して平成19年度から開始された『新八王子市史』編纂事業の一環として、平成23・24年度に行われた八王子市由木地区における民俗調査報告書。

口絵 多摩ニュータウン以前の由木一堀口進写真ファイルから／合併以前の市町村、由木村略図、昭和26年ごろの由木、現在の由木／刊行にあたって(石森孝志)／由木地区の変貌と民俗—監修にあたって(小川直之)

由木地区の概要／社会生活／生産・生業／住まいと環境／衣食をめぐる暮らし／年中行事／人生儀礼／寺社と民間信仰／民俗芸能／口承文芸／巻末資料『昔むかしの話』一、二について、開発に消えた掘り抜き井戸／関係者一覧／索引

#### ◆武相自由民権運動関係年表

民権ボックス26

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2013年3月 A5 131頁

武相民権運動百年記念実行委員会が編集・発行した『民権史を探る—武相自由民権運動史関係年表—』(1980年)をもとに、色川大吉責任編集『三多摩自由民権史料集』(大和書房、1979年)、町田市立自由民権資料館編『武相自由民権史料集』(町田市教育委員会、2007年)をはじめ、自治体史や新聞・雑誌等から、新たな情報を加えて作成した自由民権運動関係年表。嘉永6年(1883)～明治26年(1893)

◆柳田国男のスイス 渡欧体験と一国民俗学岡村民夫著 森話社(〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-3 TEL03-3292-2636) 2013年1月 B6 393頁 3600円

1921年、柳田国男は国際連盟委任統治委員と

してスイスに赴いた。エスペラントや言語地理学を学び、ジュネーヴ郊外やアルプスを散策しながら南洋群島や移民問題に思いを馳せる……。足かけ三年におよぶヨーロッパ体験は枯れの学問に何をもたらしたのか。プロローグ 柳田国男と私／風景の地政学／言語の地政学／新たな日本へ／エピローグ 柳田国男と日記

#### ◆藤沢山日鑑 別巻 近侍者記録3

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2013年3月 A5 403+101頁 3500円

遊行寺宝物館所蔵の清浄光寺伝来記録「近侍者記録」類の最終巻。嘉永5年(1852)から明治4年(1871)までの4冊の「近侍者日鑑」と、内閣文庫蔵「時宗藤沢遊行末寺帳」等5本の時宗末寺帳により作成した「時宗本末帳所載寺院総覧」(西国編)・同索引を収録する。凡例／近侍者日鑑(嘉永5年正月～安政3年5月)／遊行五十八代人近侍者記録(文久2年3月～5月)／公私近侍者記録(文久4年正月～明治元年11月)／公私近侍者記録(慶応2年10月～明治4年正月)／付表 時宗本末帳所載寺院総覧 西国編(石塚勝綱)／付表 時宗本末帳所載寺院総覧 寺院名五十音順 索引

◆自然と共に生きる作法 水窪からの発信 野本寛一著 静岡新聞社(〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1 TEL054-284-1666) 2012年12月 A5 342頁 1900円

長野県飯田市遠山谷と境を接する遠州最北端の静岡県浜松市天竜区水窪町における伝承知を集める。水窪の座標・峠越えの時空—青崩峠を緒として(はじめに一青崩峠へ、青崩峠を越えた人びと、青崩峠を歩く、むすび)／自然と共に生きる作法(柄をめぐる民俗—共生と分配の思想、栗の総合力—循環の思想、狩猟伝承—資源保全の思想、人と魚と淵—自然と交わる節度、藤と葛—山姥と山の力)／

地形環境と暮らし(山の民の空間概念、耕土保全の呪術儀礼、日照条件の伝承、ウシロダテの神々)／山の民俗拾遺(小動物との相渉、イロリの記憶、年中行事と民俗意匠、西浦田楽寸描)／ムラに学び、ムラを生かす(ムラの変容、山のムラに根ざして生きる、再生への刺激、伝承知の泉、追い書き)

#### ◆新視点 三重県の歴史

毎日新聞社津支局編 三重県史編さんグループ・三重県立博物館学芸員著 山川出版社(〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 TEL03-3293-8131) 2013年2月 B6 283頁 1800円

新県立博物館へ引き継がれる県史編さん関連資料や県立博物館所蔵資料を、2008年8月から『毎日新聞』紙上において紹介した連載「紙上博物館—県所蔵資料で語る三重の姿—」から、103話をまとめた資料からみる三重県の歴史。はじめに一三重県の自然と歴史・文化／発刊によせて(鈴木英敬)／自然／原始・古代・中世・近世／近現代／民俗／地図(三重の地質概略図、三重の地形、中世の主要な城・湊・荘園、近世後期の藩領図、三重県の市町図)／三重県の略年表／あとがき(松本正)

#### ◆続 考古の社会史

伊賀・伊勢・志摩・東紀州考古記録 小玉道明著 光出版印刷(〒515-0044 三重県松阪市久保町1885-1 TEL0598-29-1234)

2012年11月 A5 832頁 5500円(送料500円)

三重県内の遺跡と遺物に直面した人々の動きを、総覧しながら年表風にまとめた『考古の社会史』前編 1004-1967(2006年3月刊)に続き、1968年から1978年までの考古記録を、膨大な年表資料とともに収録する。埋蔵文化財をめぐる(遺跡の一括破壊と広域調査、同時多発緊急発掘調査、文化財保存門刊活動、三重県議会の文化財論議)／地域調査から流域調査(松阪地域と鈴鹿川流域の古墳測量、宮

川流域踏査と成果発表、高校郷土研究クラブの遺跡探査、中世城跡分布調査)／近世文書の考古記録(宝鐸の発掘、本居社中の考古記録、博物誌・採葉記の考古、多度寺資材帳写)／伝来品と遺跡の実像(多度山和鏡群、写経と埋経、瓦経の世界、志摩神島祭祀遺物)／年表 近代以前の考古記録 1184年(補遺)、古器物と旧址古跡 1868年、史跡と埋蔵物 1916年、戦後の考古学調査 1945年、開発時代の埋蔵文化財 1959年、開発指導・規制と埋蔵文化財 1968年～1978年

### ◆三重県史資料叢書7

資料編 中世2 補遺Ⅱ  
三重県編・刊(〒514-0006 三重県津市広明町13 環境生活部文化振興課 県史編さんグループ TEL059-224-2057) 2013年3月 A5 285頁

1984年から開始された三重県史編さん事業『三重県史』資料編「中世1」上・下、「中世2」(2005年)刊行後に進められている県外所在の中世文書の編さん作業によって、新たに確認された三重県内の中世文書を収録する「中世2」補遺編第2集。文書編 伊賀市・菰野町～玉城町(伊山水庫所蔵文庫、石原健哉氏所蔵文書、沖森文庫文書、押坂家旧蔵文書、坂井家文書、『東浅井郡志』所収文書、福岡達雄氏所蔵文書、河村家文書、大西春海氏所蔵文書、潮田均氏所蔵文書、田中好太郎氏所蔵文書、広泰寺文書、個人所蔵文書、本居宜長記念館寄託個人所蔵文書、赤井家文書)／文禄検地帳(古和浦区共有、関谷良男氏所蔵、田中好太郎氏所蔵、中井良宏氏所蔵)／文学資料 連歌懐紙(田中好太郎氏所蔵、松永忠興氏所蔵)／解説(稲本紀昭)／追補(亀山市歴史博物館所蔵文書)

### ◆かめおかの子育て物語

亀岡市文化資料館編・刊(〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1 TEL0771-22-0599)

2013年3月 A4 52頁

亀岡市文化資料館第53回企画展(2013年3月1日～4月7日)の図録。今まで営まれてきた亀岡の子育ての出来事を「いままでのこと」として、さまざまな写真や文献史料などから紹介する。すこやかな育ち／歴史の中の子ども／産婆さんがいた頃／保育のはじまり／子どもの居場所と組織／子どもたちの肖像／子どもの着物と暮らし／信仰と史跡／寄稿 丹波亀山の三年坂旧亀山城下町における子育て関連の旧跡(小林善仁)／コラム 明治の産婆、京都の産婆会のあゆみ、助産師・看護師・保健師の資格、戦前の産婦人科、助産婦の叙勲、亀岡の助産所、「保育所」と「保育園」、0歳児保育のあゆみ、くわの実共同保育所、保育園と幼稚園、学童保育ができる頃

### ◆小出楯重の手紙—石濱純太郎宛書翰集

大阪市史料78  
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2012年12月 A5 207頁 1800円  
石濱家所蔵「石濱家文書」より、大阪府出身の洋画家 小出楯重(1887～1931)が大正10～11年のヨーロッパ留学中に、旧制市岡中学校(現、大阪府立市岡高校)の同級生で東洋史学者の石濱純太郎に宛てて出した書翰20点を中心として、刊行物等により既に判明しているものも含め、現在知り得るすべての石濱純太郎宛小出楯重書翰について翻刻・解説する。解題に代えて 小出楯重の石濱純太郎宛書翰—大正十年、十一年の渡欧を中心に(橋爪節也)／資料編 書翰 20点／参考葉書 31点／小出楯重年譜

### ◆西宮の地蔵 西宮歴史調査団・調査報告書 2 (西宮市文化財資料59)

西宮市立郷土資料館編(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 西宮

市教育委員会刊(〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2013年3月 A5 218頁  
西宮市文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」地蔵調査班と西宮市教育委員会文化財課による平成18年4月から平成23年3月までの西宮市内に祀られている地蔵の調査(平成23年4月から平成25年1月追加調査)をまとめる。第一章『西宮の地蔵』刊行にあたって 調査の目的、調査の経過と概要／第二章 調査成果 西宮地区旧西宮町の地蔵、大社地区(旧大社村)の地蔵、芝地区(旧芝村)の地蔵、今津地区(旧今津村)の地蔵、鳴尾地区(旧鳴尾村)の地蔵、瓦木地区(旧瓦木村)の地蔵、甲東地区(旧甲東村)の地蔵、塩瀬地区(旧塩瀬村)の地蔵、山口地区(旧山口村)の地蔵

◆西宮の前方後円墳—津門稲荷山古墳をさぐる 第29回特別展示展示案内図録  
西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2013年3月 B5 14頁

津門稲荷山古墳の出土遺物を中心に、周辺地域の古墳の様相、墳形や出土遺物を通じて、西宮市域に造営された前方後円墳について紹介する。はじめに／描かれた西宮地域の前方後円墳／津門稲荷山古墳周辺の発掘調査／翠ヶ丘古墳群／長尾山丘陵の古墳／水堂古墳・猪名野古墳群／住吉川西岸の古墳

◆西宮歴史調査団年報 2011年度版  
西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2013年3月 A4 37頁  
西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成23年度における活動記録。平成23年度の経過／石造物の調査／橋梁の調査／現地解説会「西宮歴史調査団と歩く今津・甲子園」／歴史ハイキング「西国街道から大師道」／活動報告会

◆熊野八咫鳥  
山本殖生著 原書房(〒160-0022 東京都新宿区新宿1-25-13 <http://www.harashobo.co.jp>) 2012年12月 A5 310頁 3200円

序章／ルーツを求めて—古代中国の三足鳥(多日神話の宇宙、三足鳥の霊性、三足鳥の意味するもの)／伝承の架橋—朝鮮の三足鳥信仰(朝鮮の建国神話、高句麗壁画古墳と三足鳥、朝鮮の三足鳥信仰の展開)／古代日本の三足鳥(古墳文化にみる三足鳥、美術工芸品中の三足鳥、朝廷の三足鳥信仰)／神武東征と熊野の八咫鳥(神武東征神話、八咫鳥の正体、八咫鳥の原郷 熊野)／熊野三山の八咫鳥伝承(霊場 熊野三山、熊野本宮の八咫鳥伝承、熊野新宮の八咫鳥伝承、熊野那智の八咫鳥伝承、熊野地域の鳥伝承)／熊野牛玉宝印と八咫鳥(熊野牛玉宝印の呪力、熊野三山の鳥牛玉製作、鳥牛玉の広がり)／八咫鳥傳名抄の伝播／第八章 八咫鳥の霊性／あとがき—刊行までの足跡

### ◆フィールドワークガイドブック

平戸・田平・生月れきし再見  
NPO法人長崎人権研究所編・刊(〒850-0048 長崎市上銭座町2-7 TEL095-847-8690)

2013年3月 新書版 31頁  
テーマごとに長崎を歩くフィールドガイドブック平戸編。平戸・田平・生月への招待／サビエルの平戸への道／平戸市街地・田助MAP／①松浦史料博物館／②平戸オランダ商館(復元—石造り倉庫)／③崎方公園／④寺院と教会の見える風景／⑤五峰王直居宅跡／ロレンツォ了齋／⑥天桂寺／⑦焼罪跡公園・田平天主堂／生月MAP／⑧鳥の館(平戸市生月町博物館)／⑨大バエ灯台／⑩山田教会・ガスバル様・だんじく様／カクレキリシタン／川内・根獅子MAP／⑪鄭成功居宅跡・鄭成功廟／⑫平戸市切支丹資料館／⑬紐差教会・ホケ津教会／東北のある被差別部落で話されたこと／「人権のつどい」—田助・妙徳寺など

### ◆阿蘇と草原 環境・社会・文化

九州民俗学叢書4

九州民俗学会編 (〒880-8520 宮崎市船塚  
1-1-2 宮崎公立大学 永松研究室) 鉦脈社  
(〒880-8551 宮崎市田代町263 TEL0985-25-  
1758) 2012年11月 A5 174頁 2000円  
九州民俗学会におけるまとまった研究成果を  
紹介する九州民俗学叢書第4集。

はじめに(永松敦)

〔阿蘇の環境〕 多様な主体がかかわる阿蘇草  
原再生の取り組み(高橋佳孝)／阿蘇の文化が  
危ない—自然を「文化」という側面から一考  
する(高添清)／衛星データを活用したごく勘  
弁な環境モニタリングの事例紹介(音羽一弘)  
／コラム 南阿蘇村の水源(甲斐千尋)

〔阿蘇の社会〕 環境と地域社会の再編(大田  
黒司)／熊本県津森神宮と氏子地域との関わり  
(山田淳一)／統計にみる熊本空港と阿蘇地  
域との関わり(山田淳一)

〔阿蘇の文化〕 阿蘇の歴史・民俗・文化的景  
観と世界遺産—暫定リストの公募は阿蘇に何

を残したか(中村俊介)／阿蘇の卯の日祭り—  
トシガミの巡幸と狩猟、野焼き、田遊び(永  
松敦)／穂坂阿蘇神社と祭礼「泥打祭」(中野  
英治)／資料紹介 田作り祭宅祭り神事(伊  
藤美絵子)

◆宮古島市総合博物館収蔵目録 自然資料編  
宮古島市総合博物館編・刊 (〒906-0102 沖  
縄県宮古島市平良字仲宗根添1166-287

TEL0980-73-0567) 2013年3月 A4 170頁  
1979年(昭和54)に開設された平良市歴史民俗  
資料館、1989年(平成元)11月に平良市総合博  
物館、そして2005年(平成17)の市町村合併を  
経て現在にいたっている宮古島市総合博物館  
に収蔵の自然史資料約2500点の資料目録。目  
録刊行によせて(下里典子)／凡例／図版 (I  
～X X VI) 主な収蔵資料／収蔵資料目録  
地史・地質、植物、鳥類、昆虫類、両生類、  
爬虫類、哺乳類、海洋・水生生物、甲殻類／  
和名索引

#### ◆後記

台風8号による大雨。中学生の命を奪った長野県南木曾町の土砂崩れは痛ましく、残念だ。南木曾町と聞いて咄嗟に、笹本正治著『蛇抜・異人・木霊—歴史災害と伝承—』(岩田書院、1994)が浮んだ。この地に甚大な被害をもたらせた天保9年、同15年、大正12年の蛇抜=土石流災害とそれに関わる伝説から、地域の人々が歴史的に抱いてきた災害原因意識、災害観を分析した労作である。美しい木曾檜で知られる木曾谷。無数の深くえぐれた沢や谷に沿って生活が営まれている。同町与川の伝説。大地に根を張る木を切れば蛇抜が起る、切らなければ生計は成り立たない。白蛇の化身の若い女、樵に過度の伐採を警告し、雨が降ったら山の頂に逃げるよう伝える。白蛇は、災害を知らせる側面と蛇抜を起す主体者の両義性を帯びた神の象徴として人々に意識されていたと笹本氏は述べる。木曾谷の蛇抜が増えるのは、史料で見ると幕末からで、近代に特に多くなる。人口の増加で居住地が危険な場所に拡がったからだ。堰堤、沢のコンクリート化など大規模な河川改修をもってしても自然の力は止められなかった。町には蛇抜を語り継ぐ石碑や地蔵が多く建てられ、住民の防災意識は高かった。行政が避難対応を検討している最中に発生したというのは皮肉だ。データ重視の昨今の気象情報。災害の一月前、気象予報士の南利幸氏が、「もっと空見上げ、五感を大事に」(『毎日新聞』2014.6.13)と語ったのは単なる予感ではあるまい。「蛇抜は必ず起ると想定して生活することが望ましい」(笹本氏)。自然災害は皆同じである。本著の教訓をこれからの日常生活に活かしていかなければならない。改めて、多くの人に是非読んで欲しいと思う。(飯澤)

地方史情報 120 2014年(平成26年)8月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757